

官報

號外

大正十五年二月二十一日

日曜日

內閣印刷局

○第五十一回衆議院議事速記録第十八號

帝國議會

大正十五年二月二十日(土曜日)午後一時十九分開議

議事日程 第十七號

大正十五年二月二十日

午後一時開議

第一 所得稅法中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
第二 大正九年法律第十二號中改正法律案(所得稅法ノ施行ニ關スル件)(政府提出)

第三 地租條例中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
第四 明治三十七年法律第十二號中改正法律案(地租徵收ニ關スル件)(政府提出)

第五 營業稅法廢止法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
第六 營業收益稅法案(政府提出)

第七 資本利子稅法案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
第八 相續稅法中改正法律案(政府提出)

第九 通行稅法廢止法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
第十 酒造稅法中改正法律案(政府提出)

第十一 酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
第十二 麥酒稅法中改正法律案(政府提出)

第十三 醬油稅則廢止法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

第十四 家用醬油稅法廢止法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
第十五 織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

第十六 賣藥稅法廢止法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
第十七 骨牌稅法中改正法律案(政府提出)

第十八 清涼飲料稅法案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
第十九 大正九年法律第五十一號中改正法律案(朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル件)(政府提出)

第二十 地方稅ニ關スル法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
第二十一 明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政府提出)

第二十二 市町村稅地租法案(山本仰二郎君外十三名提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十三 市町村稅地租法ノ施行ニ關スル法律案(山本仰二郎君外十三名提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十四 市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案(床次竹二郎君外十三名提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(粕谷義三君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔書記官朗讀〕
一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
部落問題ノ國策樹立ニ關スル建議案

提出者 有馬 賴寧君 牧野 良三君
建部 遼吾君 山根 儀重君
山口 義一君 荒川 五郎君
岩崎 勳君 田中 萬逸君
清水 長郷君 清瀬 一郎君
沼田嘉一郎君 千葉 三郎君
菊池謙二郎君

未澤日中間鐵道速成ニ關スル建議案
提出者 西方 利馬君 熊谷 直太君
松岡 俊三君 高橋熊次郎君
佐々木春作君 西澤 定吉君
實業補習教育振興ニ關スル建議案

提出者 高橋熊次郎君 青木 精一君
加藤 知正君 長田 桃藏君
山下 谷次君
(以上二月十八日提出)

堺郵便局昇格ニ關スル建議案
提出者 山口 義一君 志賀和多利君
青木 精一君 森 恪君
秋田寅之介君
(以上二月十九日提出)

國稅徵收交付金増額ニ關スル建議案
提出者 八田 宗吉君
市町村吏員優遇ニ關スル建議案
提出者 八田 宗吉君
(以上二月二十日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ
外交方針ニ關スル質問主意書
提出者 松本 君平君

婦人參政ニ關スル質問主意書
提出者 松本 君平君
(以上二月十八日提出)

大阪市立高等商業學校昇格ニ關スル質問主意書
提出者 山本 芳治君 吉津 度君
板野 友造君 山口 義一君
嶋居 哲君 岩崎幸治郎君
(以上二月十九日提出)

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス〕
本月十八日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ如ク變更セリ
四〇五 浦野 謙朗君
四〇六 吉松 忠敬君
一 本月十八日常任委員補選選舉ノ結果左ノ如シ

第一部選出 黑住成章君(松本君平君補闕)
豫算委員 山谷德治郎君(中山貞雄君補闕)

第二部選出 豫算委員 加藤鐵五郎君(中村嘉壽君補闕)

第三部選出 豫算委員 西方利馬君(兒玉右二君補闕)

第四部選出 豫算委員 石井三郎君(前田米藏君補闕)

第五部選出 懲罰委員 岩崎幸治郎君(近藤達兒君補闕)

第七部選出 懲罰委員 熊谷巖君(笠原忠造君補闕)

第八部選出

請願委員 島本信二君(生田和平君補)

一月十八日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

議院法中改正法律案(政府提出)外一件委員

委員長 黑住 成章君

理事 平川松太郎君 山口 義一君

健康保險法中改正法律案(政府提出)外一件委員

委員長 平野 光雄君

理事 宮崎松次郎君 近藤 達兒君

一月十八日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

輸出生絲検査法案委員

飯塚春太郎君 村上 國吉君

菅村 太事君 平沼 亮三君

戸井 嘉作君 青木知四郎君

下元鹿之助君 深井 功君

加藤 六藏君 關矢 孫一君

武藤 金吉君 若尾幾太郎君

川口 義久君 二木 洵君

加藤 知正君 志賀和多利君

高橋能次郎君 隅田 豐吉君

山内 範造君 高木 音藏君

折原巳一郎君 小島 善作君

志村清右衛門君 丹下茂十郎君

前田房之助君 小野 寅吉君

ヲ、教育改善及農村振興基金特別會計法中改正法律案委員今井健彦君中村貞吉君辭任ニ付其ノ補闕トシテ飯村五郎君山田助作君ヲ、明治三十八年法律第十七號中改正法律案委員木戸豐吉君辭任ニ付其ノ補闕トシテ藤澤萬九郎君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

一月十九日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如シ

第四部選出 豫算委員 中村 嘉壽君(柏田忠一君補闕)

第五部選出 請願委員 栗延敬太郎君(佐竹庄七君補闕)

一月十九日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

輸出生絲検査法案(政府提出)委員

委員長 折原巳一郎君

理事 村上 國吉君 志賀和多利君

一月十九日關稅定率法中改正法律案委員佐藤富十郎君佐々木文一君阿由葉勝作君辭任ニ付其ノ補闕トシテ三好榮次郎君竹内友治郎君堤康次郎君ヲ、輸出生絲検査法案委員加藤六藏君辭任ニ付其ノ補闕トシテ岡本實太郎君ヲ、鐵道敷設法中改正法律案委員戸田由美君樋口秀雄君山本厚三君松實喜代太君辭任ニ付其ノ補闕トシテ高木益太郎君中野猪之助君工藤鐵男君西方利馬君ヲ、所得稅法中改正法律案外二十七件委員森澤君武藤金吉君石坂豐一君吉植庄一郎君宮島幹之助君辭任ニ付其ノ補闕トシテ宮島幹之助君青木精一君志賀和多利君西方利馬君森澤君ヲ執レモ議長ニ於テ選定セリ

○議長(粕谷義三君) 是ヨリ會議ヲ開キマ

ス、只今黒住成章君ヨリ成規ノ賛成ヲ得テ、日本醫學專門學校昇格ニ關スル緊急質問ガ提出セラレマシタ、日程ヲ變更シテ之ヲ許スニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(粕谷義三君) 異議ナシト認メマス、政府モ日程變更ニ同意セラレマシタ、仍テ日程ハ變更シテ緊急質問ノ趣旨辯明ヲ許シマス、黒住成章君

日本醫學專門學校昇格ニ關スル緊急質問(黒住成章君提出)

〔黒住成章君登壇〕

○黒住成章君 諸君、議事輻輳ノ際ニ文部大臣ニ對シテ緊急質問ヲセザルベカラザルコトノ起リマシタコトヲ極メテ遺憾ニ存ジマス、事文政上ニ關スル問題デゴザイマ

スルカラ、極メテ徹底スル御答辯ヲ得タイコトヲ切ニ望ンデ置キマス、問題ハ昨十九日國民新聞朝刊第二面ニアリマス、所「中原氏ノ日本醫學專攻如、醫大ニ昇格ス、文部省内部ノ反對ヲ一蹴シテ昨夕文相決裁ヲ了ス」ト題シマシテ、左ノ如キ記事ガアル

ノデアリマス「文部省ハ私立日本醫學專門學校(校長中原德太郎氏)ノ醫科大學昇格ニ關スル申請ニ對シ、昨年來專門學務局ニオ

テ設備内容ニツキ調査ヲ行ハタ處設備不完全内容貧弱ニシテ、到底認可ノ條件ニ副ハズ、且ツ大學設立ニ係ル基金等ニ缺陷ヲ發見シタ結果、ソノマ、暗カラ暗ニ「華タ

トナシ、各校長ハ現内閣ノ設立ヲ絶好ノ機會

信託基金五十萬圓中半額ヲ供託スル等容易

ナラヌ活躍ヲ演ジタ結果、遂ニ文部省内部

ノ實際關係者ノ反對意見ヲ一蹴シテ、遮ニ

無二持廻リ省議ヲ以テ承認ヲ済マシ、十八

日夕刻岡田文相ノ決裁ヲ了シ左ノ如ク決定

シタ、私立日本醫學專門學校ハ大學令ニ依

リ設立ヲ認可ス、ト決裁ヲ與ヘラレタコト

ニナツテ居リマス、事態斯ノ如キ事デアリマ

シタナラバ、我國ノ教育學制ヲ紊スコトニ

於テ、即チ看過シ難イ、文政蹂躪ノ重大ナ

問題デアリト思フデアリマス、如何ナル

問題デアリマシテモ、政府ノ認可ハ極メテ

嚴肅公平デアラナバナラヌコトハ申スマデモ

アリマセヌ、然ルニ事ハ文教ニ關スル場合デ

アリマス、其影響ノ及ボス所甚タ重大デ、

又思想上、社會上、教育上ニ深刻ナル影響

響ヲ及ボスコトデアリマス、斯ノ如キ問題

デゴザイマシテ、事ハ最高學府ノ認定デア

リ、之ヲ爲シマシタル人ハ文政ノ首腦タル

文部大臣ノ仕事デアアルノデアリマス、我

國教育ノ爲メ、又現内閣ノ重大政綱デアリ

マスル綱紀肅正ノ爲ニ、此記事ノ眞否ヲ質

サメルヲ得ナイノデアリマス、極メテ簡單

ニ御同致シマス、此記事中ノ第一ニ御同致

シタイノハ、日本醫學專門大學トスルノ認可

ノ決裁ガアリマシタカ、アリマセヌカ、此

有無先ツ第一ニ伺ヒマス、第二ニ決裁ガア

タト致シマスレバ、日本醫學專門大學當局ニ

於テモ、從來設備内容ガ極メテ不完全デア

ルト云フコトデ、昇格ヲセシメナカッタノ

デアアル、又此事柄ハ世上周知ノ事實デアリマ

ス、而モ本校ニ於キマシテ、最近二設備内

容ノ改善セラレタルモノアルヲ吾々ハ認メ

ナイノデアリマス、此問題ニ付キマシテ、

從來文相ノ態度ヲ少シク研究致シテ見マセ

ウ、大正七年ノ大學令改正ノ際、私立大學

ヲ認メマスルノトキ、將來私立大學ノ認可

ヲ極メテ嚴重ニスルニ非ザレバ學制ヲ紊ル

恐ガアル、サウシテ此事柄ハ極メテ憂慮ス

ベキモノガアル、斯様ナコトヲ岡田サンハ

部當局ハ設備内容不完全ト認メテ昇格セシメナカシモノヲ、突如此際昇格セシメラレタノハ如何ナル理由ニ依ルノデアルカ、日本醫專ハ大學認可ノ重要條件デアル基本金ノ點ガ、最も缺陷ガアルト從來文部省ハ御認メニナリ居タルノデアリマス、是ノ基本金五十萬圓ハ如何ナルモノニ因テ御認メニナリタカ、此點ヲ御伺致シタイノデアリマス、岡田文相ハ此内規ノ出來マシタ際ニ於テモ、寧ろ此五十萬圓ノ基本金ハ、其條件ガ緩慢デアルト時ノ中橋文相ニ頗ル強ク非難攻撃ヲサレテ居ルノデアリマス、斯様ナル御持論デアリマシテ天下ノ問題ニナリテ居リマス此本件ノ學校ニ對シテ、内容設備ノ吾々が見テ改善セラレタリト認ムベキモノハナイニ拘ラズ、御認メニナリマシタノハ如何ナル御事情ニ依ルモノデアリマス、詳細ニ一ツ御説明ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、私ノ調査スル所ニ依リマス、洵ニ訴カシキ點ガ多クアルノデアリマス、御承知ノ如ク日本醫學專門學校ハ財團法人デアル、財政狀態ハドウナリテ居ルカト申シマス、ト「バラック」ノ病院ノアリマス飯田町ノ土地千四百四十坪ト、本郷ノ千駄木町ニ學校ト病院ガゴザイマス、是ハ敷地ガ二千二百坪アリマスガ、借地デアリマス、而シテ此建造物ハ當テ市ノ廢校ニナリマシタ木造ノ小學校ヲ持テ來テ建テタノデアリマス、其價值ハ多ク論ゼズシテ明カデアルト云フコトハ分ツテ居ル、之ニ對シマシテ登記簿本ノ所ニ依リマス、借財ガ十三萬五千圓、常磐生命保險會社ヨリ借りテ居ルノデアリマス、尙ホ此外ニ二、三ノ借金ヲ合併シマスルト云フト、此外二十萬圓以上ノ無擔保ノ借金ガアルノデアリ、此點ニ付キ私ハ世間ト共ニ大ナル疑惑ヲ持ツノデアリマス、何故疑惑ヲ持ツカト申シマスレバ、今回ノ五十萬圓ノ基金問題ニ對シテ執ラレタ態度ヲ仄聞スルニ、最初十萬圓ノ金ヲ文部省ニ御持ニナリマシタ、所ガ其十萬圓ハ學校債デアル、即チ學校關係ノ者ニ持テ貰テ居ル所ノ公債デアル、此公債ハ性質ガ消極的ノモノデ借金デアリマス

ラ、是ハ基本金ニナラヌト云フコトニ於テ拒絕ヲサレテ居ルノデアリマス、然ルニ其後持出シマシタルモノハ何デアアルカト申シマス、ト云フト、甚ダ了解シ難イ問題ガ一ツアル、即チ此拒絕ヲ受ケテ二番目ニ持出シマシタルモノハ、十五萬圓ノ神田鐵藏君ノ經營ニ係ル紅葉屋銀行ノ預金ノ證明書デアアル、私ハ此點ヲ伺ヒタイノデアリマス、御承知ノ如ク財團法人デアアル、財團法人ガ以上述フルガ如キ債務ガ澤山一方ニアリマシテ、而シテ此高利子ノ金ハ拂ハズシテ、安イ利子ノ預金ヲスルト云フコトニナリマシタナラバ、是ハ所謂財團法人ノ代表者タル理事ノ法律上ノ責任ガ起ルノデアアル、左様ナ事ノアル譯ハナイト思フノデアリマス、私ガ世間ト共ニ此預金ニ疑惑ヲ持ツ所以デアアル、第二ノ疑問ハ文部省ニ持ツテ参リマシタル所ノ公債ノ十萬圓、此十萬圓ガ直ニ預金ニ變形セラレタト云フコトニナリマス、ト、縱令預金ニ形ハ變リマシテモ、性質ハ依然借金即チ債務デアリマシテモ、基金タル、性質ニハ變リナイノデアアル、此點ガ頗ル疑ハシイノデゴザイマス、是等ノ點ハ事文政ニ關スル事デゴザイマシテ、一人ノ國民ニ對シテモ疑惑者ナカラシコトヲ努メル爲ニ私ハ質問ヲ致スノゴザイマス、私ハ紅葉屋銀行神田鐵藏君ノ問題アルガ故ニ、免ヤ角ト云フノデハナイ、併ナガラ例ノ「スパイ」事件以來、免角世間ガ現内閣ト連想シテ之ヲ問題視シマスノデ、是ハ我が文教ノ爲ニ明白ニ致シタイノデアリマス、要シマスルニ、私ノ疑問ト致シマスル所ハ、國民全體ノ疑惑ト致ス所デゴザイマセウカラ、此點ニ付キマシテ明白ニ國民ノ疑惑ノ解ケルヤウニ、茲ニ御答辯アラシコトヲ切ニ望ム次第デアリマス

〔國務大臣岡田良平君登壇〕

○國務大臣(岡田良平君) 只今ノ御質問ニ御答ヲ致シマスガ、第一ノ御尋ハ認可ガ既ニ濟シタカドウカト云フコトデアッタヤウデアリマスガ、是ハマダ手續ガ結了致シマセヌ、手續ガ結了致シマスレバ、文部省告示ヲ以テ之ヲ公布致シマスガ、マダ此告示

ニハ出テ居ラヌト云フコトヲ御承知ニナリタイト思フノデアリマス、併ナガラソレゾレ手續ハ運シテ居リマスルカラ、遠カラス中ニ其手續ガ濟ムダラウト考ヘテ居リマス、ソレカラ先年私ガ貴族院ニ於キマシテ、此昇格問題ニ付テ種々ニ論議致シタコトヲ御引用ニナツタノデアリマス、又其節ニ此供託金ノ五十萬圓モ尙ホ足ラヌト云フコトヲ私ガ申シタト云フコトモ御引用ニナツタノデアリマス、私ガ當時其説ヲ唱ヘタニ相違ナイノデアリマス、併ナガラ其後ニ文部省ノ取扱ハ如何ニ致シタカト申シマスルト云フト、文部省ニ於キマシテハ、其後ニ二十校ニ近イ所ノ私立學校ヲ新大學令ニ依テ認可ヲ致シタノデアリマス、デ私ハ假令自分一個トシテ如何ナル説ヲ持ツテ居リマシテモ、今日此局ニ當リマシテ、二十校ヲ認可シタル其例ニ違ハズ嚴酷ナル方針ヲ以テ認可スルト云フコトハ、認可ノ上ニ非常ナ不公平ヲ生ズル虞ガアリマス、故ニ從來此二十ノ學校ヲ認可致シマシタル同ジ標準ニ基イテ、私ハ認可ヲ致シタルノデアリマス、デ基本金五十萬圓ヲ供託シタルヤ否ヤ、此五十萬圓ヲ二十五萬圓ニ減額シタ云々ト云フヤウナ新聞ノ記事モ御讀ミニナリマシタガ、是ハ單リ此學校ノミデハナイノデアリマス、供託金ハ五十萬圓ヲ標準ニ致シテ居リマス、之ヲ分納スルコトヲ許シテ居ルノデアリマス、即チ第一回ニ於テハ二十五萬圓ヲ供託致シマシテ、爾後年々相當ナ金額ヲ供託致シマシテ、金額五十萬圓ニ滿ツルト云フコトヲ條件ニ致シテ居ルデアリマシテ、此二十五萬圓ヲ供託致シタト云フコトニ付テ、何等特別ノ取扱モ何モ致シテ居ラヌノデアアル、ソレカラ又校舎ガ不完全デアルト云フヤウナコトヲ御述ニナリマシタ...

〔發言スル者多ク議場騒然〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○國務大臣(岡田良平君) (續)ソレデ二十萬圓ノ金額ハ、公債證書其他確實ナルモノヲ以テ供託ヲ許スノデアリマス、校舍其他ノ設備ニ於テ種々不完全ナル點ガアルト云

フ御話デアリマシタガ、此點ニ付キマシテハ、現在ニ於テハ不完全ナル點ガアルニ相違ナイノデアリマス、是ハ何レモ皆完全ニ致ス計畫ヲ立テマシテ、其計畫ニ基イテ認可ヲ致シテ居ルノデ、是ハ單リ此學校バカリデハナイ、從來許シテ居ル所ノ二十バカリノ此大學ト云フモノハ、皆現在ノ設備ヲ抑ヘテハナイ、將來改善シテ立派ナ大學ト爲シ得ルト云フ見込アルモノハ、皆許シテ居ルノデアリマス、即チ一定ノ條件ヲ附シテ之ヲ許シテ居ルノデアリマス、而シテ此學校ニ——日本醫專ニ付キマシテハ、私ガ何カ突然認可デモ致シタヤウナ意味ノ御話ガアッタ、其教員ノ反對ニ拘ハラズ認可致シタト云フヤウナコトデアリマシタガ、是ハ全ク事實ニ相違ヲ致シテ居リマス、此學校ヲ認可スルニ付テハ、非常ナ鄭重ナ手續ヲ致シマシタ、文部省ノ督學官及醫學上ノ專門家ヲ派遣致シマシテ、周密ニ學校ヲ取調ベタノデアリマス、而シテ此督學官及專門家ハ、此學校ヲ認可シタルベシト云フ報告ヲ致シテ居ルノデアリマス、是等ノ報告ニ基イテ私ハ認可ヲ致シタルデアアル、決シテ御話ノヤウナ特別ナ取扱ハ致シテ居リマセヌ

○議長(粕谷義三君) 黒住成章君

〔發言スル者多ク議場騒然〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○黒住成章君 文部大臣ノ御方針ガ從來ヨリ變タト云フコトヲ私ハ看取スル者デアリマス、然ラバ更ニ御尋ヲ致シタイ、大阪ノ市立高等商業學校ノ昇格問題ハ如何デゴザイマス、既ニ六十二萬圓ノ現金ヲ準備致シ、設備等モ極メテ完全デアアルニ拘ラズ、今日尙ホオヤリナラヌ、是ハ如何ナル理由デアアルカ、一方ハ非常ニ寛大ニ、將來ノ希望條件ヲ附シ許サユナ御方針ノ御話モ爲サルケレドモ、大臣ノ執ラレテ居ル仕事ハ頗ル區々ニナリテ居ル、是ハ如何ナル御考デアアルカ、私ハ此問題ノ性質上、病院ヤ學校ノ信用ヲ傷ケザラン程度ニ於テ言フ慎シデ質問致シテ居ルノデアアルガ、學制ヲ審リ

文政ヲ蹂躪スルト云フガ如キコトハ、今迄前代未聞デアルト思フ、近來文部大臣ノ此議場ニ現レタ行動ハ、私ハ遺憾ナ點ガ多イ、或ハ法規ヲ蹂躪シテ居ル問題、或ハ院議ヲ無視シテ居ル問題、或ハ今回ノ如キ即チ世間全體ノ疑義ヲ受ケテ居ル問題ノ生ジタルコトハ、我ガ教育ノ爲ニ悲ムベキコト、思フデアリマス(拍手)

○國務大臣岡田良平君登壇

○國務大臣岡田良平君 只今ノ御尋デアリマスガ、大阪ノ高等商業學校ヲ何故昇格ヲサセズニ置イテ、此日本醫專ト云フモノヲ昇格サセルカト云フノガ御尋ノ要點ト思フ、チ居リマス、大阪ノ高等商業學校ハ御承知ノ通りデアリマスガ、市立デアリマス、即チ大阪市デ設立シテ居ル學校デアルノデアリマス、今日ノ大學令ニ於キマシテ、市立ノ大學ト云フモノハ認メヌコトニナッテ居ルノデアリマス、市立大學ヲ設立スルト云フコトハ、今日ノ大學令デ許シテ居ラナイ、隨テ設備ノ完全、不完全、資金ノ有無トカ云フ問題デハナイ、併シ此大學令ノ改正ハ是非致シタイト云フ考ヲ持テ居ルノデアリマスガ、マダ其手續ノ済マヌ先ニ、如何ニ設備ガ完全ニナリマシテモ、是ハ規定上昇格ハ出來ナイノデアリマス

○議長(粕谷義三君) 文部大臣ノ答辯ニ對シテ質疑ノ申出ガアリマス、是ハ先例モアリマスカラ許シマス、土屋清三郎君

ナカッタノデアリマス(拍手) 私ハ此所デ文部大臣ニ御尋ヲ致シタイノハ、文部大臣ハ日本醫學專門學校ニ對シテハ、何等監督ヲ致シテ居ラナイノデアルカドウカ、此所ニ私ハ現ニ起テ居ル所ノ一例ヲ指摘シテ、文部大臣ノ答辯ヲ求メヤウト思フデアリマス(此時發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○土屋清三郎君(續) 專門學校令ノ規定ニ依リマスレバ、中學校ヲ卒業シ、若クハ專門學校入學檢定試驗ニ合格シタル者ニ非ザレバ入學スルコトヲ得ナイノデアリマス、然ルニ日本醫學專門學校ハ、昨年度ニ於キマシテ中學校ヲ卒業セズ、又專門學校檢定試驗ニ合格セザル所ノ、而シテ臺灣ノ醫學專門學校、即チ專門學校令ニ依ラザル所ノ臺灣ニ於テノ醫學專門學校ヲ與ヘラレテ居ル所ノ臺灣醫學專門學校ノ卒業生七名ヲ無試験デ入學致サセマシテ、內務省ハ之ニ對シテ内地ノ醫師免狀ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、更ニ本年度ニ至リマシテ昨年ノ十二月中、同ジク臺灣ノ學生二十二名、本年一月ニ至リマシテ十名、之ヲ全部無試験入學サセテ居ルノデアリマス、而シテ是等ハ中學卒業生ニアラズ、又專門學校檢定試驗合格者デハアリマス、而シテ日本醫學專門學校デハ二等專門學校ニ入學資格ノ無キ臺灣學生ニ對シテ、入學料ノ名ノ下ニ二十五圓ヲ取リ、更ニ編入試驗ノ名ノ下ニ二十圓及三十圓ヲ二回ニ取り、更ニ又校債ノ名ヲ以テ即チ學校ノ借金ノ名ノ下ニ百五十圓宛ヲ讓出サセ、更ニ……(發言スル者アリ)

○土屋清三郎君 只今黑住君ハ日本醫學專門學校ノ昇格ニ關シテ、文部大臣ニ質問ヲ致サレマシタ、之ニ對シテ文部大臣ハ御答辯ガアッタノデアリマス、私ハ此文部大臣ノ御答辯ニ關聯シテ、茲ニ御尋ヲ致シマス、近來文政ノ紊亂ハ朝野ヲ舉ゲテ深愛ニ堪ヘナイ所デアリマシテ(「ヒヤ」)(拍手)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○土屋清三郎君(續) 更ニ試驗料トシテ——卒業ノ試驗料トシテ百五十圓ヲ出サセ、卒業後學士會ノ會員ニスルト云フ豫約ノ下ニ百圓ヲ讓出サセルコトニ致シテ居ルノデアリマス、即チ資格ノ無キ所ノ臺灣人ヲ無試験ヲ以テ入學セシメ、之ニ種々ナル名目ノ下ニ合計四百六十五圓宛ヲ讓出サセテ居ルノデアリマス、入學既ニ專門學校令ニ違反シテ居ルノデアル、此卒業生ニ對シテ無試験ヲ以テ醫師免狀ヲ交付スルト云フ

コトハ、之ヲ交付シタル所ノ內務大臣亦醫師法ヲ無視シタルモノト謂ハナケレバナナイノデアリマス、斯ノ如ク專門學校令ヲ無視シテ無資格ノ者ヲ入學サセ、種々ナル名目ノ下ニ氣ノ毒ナル新附ノ臺灣人カラ金ヲ出サセテ居ル所ノ、此日本醫學專門學校ニ對シテ何等監督ヲ爲サナイト云フコトハ、ドウ云フ譯デアリマスカ、而シテ是ガ大學昇格ノ資格アリトシテ、此昇格ヲ認容セントスルニ至ッテハ、文政ノ紊亂是ヨリ甚シキハナイト思フデアル、況ヤ校長中原德太郎君ハ同校ノ教員ニシテ憲政會ノ黨員デアル、治安警察法ニ依テ明ニ彼ハ違反デアリマセヌカ、政府與黨ノ力ヲ恃ンデ法規ヲ犯シテ居ル所ノ此日本醫學專門學校令ヲ無視シテ居ル所ノ此日本醫學專門學校ニ向テ何等ノ監督權ヲ及ボサズ、昇格當然ナリト云フニ至ッテハ、何事デアリマスカ、私ハ此點ニ對シテ文部大臣ノ明白ナル御答辯ヲ求ムルノデアリマス

○國務大臣岡田良平君登壇

○國務大臣岡田良平君 日本醫學專門學校ハ勿論文部省デ監督ハ致シテ居リマス、併シ如何ナル生徒ヲ入學サシタカト云フコトマデハ、私只今承知致シテ居リマセヌノデ、又取調ベテ後日御答ヲ致ス機會モアラウカト思ヒマス

○議長(粕谷義三君) 是ヨリ日程ニ入リマス、日程第一乃至第二十四ハ同一委員ニ付託シタル議案デアリマスカラ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第一、所得稅法中改正法律案外二十三件ヲ一括シテ其第一議會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長元田肇君

コトハ、之ヲ交付シタル所ノ內務大臣亦醫師法ヲ無視シタルモノト謂ハナケレバナナイノデアリマス、斯ノ如ク專門學校令ヲ無視シテ無資格ノ者ヲ入學サセ、種々ナル名目ノ下ニ氣ノ毒ナル新附ノ臺灣人カラ金ヲ出サセテ居ル所ノ、此日本醫學專門學校ニ對シテ何等監督ヲ爲サナイト云フコトハ、ドウ云フ譯デアリマスカ、而シテ是ガ大學昇格ノ資格アリトシテ、此昇格ヲ認容セントスルニ至ッテハ、文政ノ紊亂是ヨリ甚シキハナイト思フデアル、況ヤ校長中原德太郎君ハ同校ノ教員ニシテ憲政會ノ黨員デアル、治安警察法ニ依テ明ニ彼ハ違反デアリマセヌカ、政府與黨ノ力ヲ恃ンデ法規ヲ犯シテ居ル所ノ此日本醫學專門學校令ヲ無視シテ居ル所ノ此日本醫學專門學校ニ向テ何等ノ監督權ヲ及ボサズ、昇格當然ナリト云フニ至ッテハ、何事デアリマスカ、私ハ此點ニ對シテ文部大臣ノ明白ナル御答辯ヲ求ムルノデアリマス

○國務大臣岡田良平君登壇

○國務大臣岡田良平君 日本醫學專門學校ハ勿論文部省デ監督ハ致シテ居リマス、併シ如何ナル生徒ヲ入學サシタカト云フコトマデハ、私只今承知致シテ居リマセヌノデ、又取調ベテ後日御答ヲ致ス機會モアラウカト思ヒマス

○議長(粕谷義三君) 是ヨリ日程ニ入リマス、日程第一乃至第二十四ハ同一委員ニ付託シタル議案デアリマスカラ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第一、所得稅法中改正法律案外二十三件ヲ一括シテ其第一議會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長元田肇君

- 第三 地租條例中改正法律案(政府提出)
 - 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第四 明治三十七年法律第十二號中改正法律案(地租徵收ニ關スル件)(政府提出)
 - 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第五 營業稅法廢止法律案(政府提出)
 - 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第六 營業收益稅法案(政府提出)
 - 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第七 資本利子稅法案(政府提出)
 - 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第八 相續稅法中改正法律案(政府提出)
 - 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第九 通行稅法廢止法律案(政府提出)
 - 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十 酒造稅法中改正法律案(政府提出)
 - 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十一 酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案(政府提出)
 - 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十二 麥酒稅法中改正法律案(政府提出)
 - 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十三 醬油稅則廢止法律案(政府提出)
 - 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十四 家用醬油稅法廢止法律案(政府提出)
 - 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十五 織物消費稅法中改正法律案(政府提出)
 - 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十六 賣藥稅法廢止法律案(政府提出)
 - 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十七 骨牌稅法中改正法律案(政府提出)
 - 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十八 清涼飲料稅法案(政府提出)
 - 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十九 大正九年法律第五十一號中改正法律案(朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル件)(政府提出)
 - 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十 地方稅ニ關スル法律案(政府提出)
 - 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十一 明治四十一年法律第三十七

號中改正法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)
第二十二 市町村稅地租法案(山本梯二郎君外十三名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)
第二十三 市町村稅地租法ノ施行ニ關スル法律案(山本梯二郎君外十三名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)
第二十四 市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案(床次竹二郎君外十三名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)
第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書
一所得稅法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年二月十九日
所得稅法中改正法律案(政府提出)
案(政府提出)委員長
元田 肇

報告書
衆議院議長粕谷義三殿

一所得稅法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正九年法律第十二號中改正法律案(所得稅法ノ施行ニ關スル件)(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年二月十九日
大正九年法律第十二號中改正法律案(政府提出)委員長
元田 肇

報告書
衆議院議長粕谷義三殿

一所得稅法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年二月十九日
地租條例中改正法律案(政府提出)委員長
元田 肇

報告書
衆議院議長粕谷義三殿

官報號外 大正十五年二月二十一日

(別紙)

(小字及一八委員會修正)

地租條例中左ノ通改正ス
第一條中「田畑 地價百分ノ四箇五」ヲ「田畑 地價百分ノ三箇五」ニ、「田畑 地價百分ノ三箇二」ヲ「田畑 地價百分ノ二箇五」ニ改ム

第四條中「郡」及第三項ヲ削ル
第十三條ノ二 前條ノ規定ニ依リ地租ヲ納ムヘキ者(法人ヲ除ク)ノ「同一市町村及其隣接
村內ニ於ケル田畑地價ノ合計金額其ノ同居家族ノ分ト合算シ二百圓未滿ナルトキハ畑。其ノ田畑ノ地租ヲ徵收セス但小作ニ付シタル
シ其ノ住所以外ノ市町村ニ於ケル田畑ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
附則
本法ハ大正十五年分地租ヨリ之ヲ適用ス

報告書
一明治三十七年法律第十二號中改正法律案(地租徵收ニ關スル件)(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年二月十九日
明治三十七年法律第十二號中改正法律案委員長
元田 肇

報告書
衆議院議長粕谷義三殿

一營業稅法廢止法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年二月十九日
營業稅法廢止法律案委員長
元田 肇

報告書
衆議院議長粕谷義三殿

一營業收益稅法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年二月十九日
營業收益稅法案委員長
元田 肇

報告書
衆議院議長粕谷義三殿

一相續稅法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年二月十九日
相續稅法中改正法律案委員長
元田 肇

報告書
衆議院議長粕谷義三殿

一通行稅法廢止法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年二月十九日
通行稅法廢止法律案委員長
元田 肇

大正十五年二月十九日
營業收益稅法案委員長
元田 肇

報告書
衆議院議長粕谷義三殿

一資本利子稅法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年二月十九日
資本利子稅法案委員長
元田 肇

報告書
衆議院議長粕谷義三殿

一相續稅法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年二月十九日
相續稅法中改正法律案委員長
元田 肇

報告書
衆議院議長粕谷義三殿

一通行稅法廢止法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年二月十九日
通行稅法廢止法律案委員長
元田 肇

報告書
衆議院議長粕谷義三殿

一酒造稅法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年二月十九日
酒造稅法中改正法律案委員長
元田 肇

報告書
衆議院議長粕谷義三殿

一酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年二月十九日
酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案委員長
元田 肇

候此段及報告候也
大正十五年二月十九日
酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案委員長
元田 肇

報告書
衆議院議長粕谷義三殿

一麥酒稅法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年二月十九日
麥酒稅法中改正法律案委員長
元田 肇

報告書
衆議院議長粕谷義三殿

一醬油稅則廢止法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年二月十九日
醬油稅則廢止法律案委員長
元田 肇

報告書
衆議院議長粕谷義三殿

一自家用醬油稅法廢止法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年二月十九日
自家用醬油稅法廢止法律案委員長
元田 肇

報告書
衆議院議長粕谷義三殿

一織物消費稅法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年二月十九日
織物消費稅法中改正法律案委員長
元田 肇

報告書
衆議院議長粕谷義三殿

一酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

大正十五年二月十九日
酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案委員長
元田 肇

四六一

報告書

一賣藥稅法廢止法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
大正十五年二月十九日

衆議院議長柏谷義三殿
元田 肇

報告書

一骨牌稅法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
大正十五年二月十九日

衆議院議長柏谷義三殿
元田 肇

報告書

一清涼飲料稅法案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
大正十五年二月十九日

衆議院議長柏谷義三殿
元田 肇

報告書

一大正九年法律第五十一號中改正法律案
(朝鮮ニ移出スル物品ノ内國稅免除ニ
關スル件)(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
大正十五年二月十九日

衆議院議長柏谷義三殿
元田 肇

大正九年法律第五十一
號中改正法律案委員長
元田 肇

報告書

一地方稅ニ關スル法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
大正十五年二月十九日

地方稅ニ關スル法律案委員長
元田 肇

衆議院議長柏谷義三殿

報告書

一明治四十一年法律第三十七號中改正法
律案(地方稅制限ニ關スル件)(政府提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノ
ト議決致候此段及報告候也
大正十五年二月十九日

明治四十一年法律第三十
七號中改正法律案委員長
元田 肇

衆議院議長柏谷義三殿

(別紙)

(小字及ハハ委員會修正)

明治四十一年法律第三十七號中左ノ通改
正ス
第一條第一號中「其ノ他ノ土地地租百分
ノ八十三」ヲ「田畑地租百分ノ百七
ノ八十三」ヲ
其ノ他ノ土地地租百分ノ八十

三「其ノ他ノ土地ニ在リテハ百分ノ
八十三」ヲ「田畑ニ在リテハ百分ノ百七、
其ノ他ノ土地ニ在リテハ百分ノ八十三」
ニ改ム

同條第二號中「其ノ他ノ土地地租百分ノ
六十六」ヲ「田畑地租百分ノ八十五
六十六」ヲ
其ノ他ノ土地地租百分ノ六十六

六「其ノ他ノ土地ニ在リテハ百分ノ六十
六」ヲ「田畑ニ在リテハ百分ノ八十五、其
ノ他ノ土地ニ在リテハ百分ノ六十六」ニ
改ム

第二條中「營業稅附加稅ヲ課スルノ外營
業稅ヲ納ムル者」ヲ「營業收益稅附加稅ヲ
課スルノ外營業收益稅ヲ納ムル者」ニ、
「營業稅百分ノ四十一」ヲ「營業收益稅百
分ノ四十三」ニ、「營業稅百分ノ六十一」

ヲ「營業收益稅百分ノ六十三」ニ改ム
ニ左ノ一項ヲ加フ
營業收益稅附加稅ノ賦課ニ付テハ營業收益
稅法第十條第二項ノ規定ニ依ル資本利子稅
額ノ控除ヲ爲ササルモノヲ以テ營業收益稅

額ト看做ス
第三條第一項ヲ左ノ如ク改ム
北海道、府縣ハ所得稅百分ノ二十四以
内ノ所得稅附加稅ヲ課スルノ外所得稅
ヲ納ムル者ノ所得ニ對シ課稅スルコト
ヲ得ス

北海道府縣以外ノ公共團體ハ府縣費ノ
全部又ハ一部ノ分賦ヲ受ケタル場合ヲ
除クノ外所得稅ヲ納ムル者ノ所得ニ對
シ課稅スルコトヲ得ス

戶數割ヲ賦課シ難キ市町村ニ於テハ前
項ノ規定ニ拘ラス内務大臣ノ許
可ヲ受ケ所得稅附加稅ヲ課スルコトヲ
得但シ其ノ賦課率ハ所得稅百分ノ七ヲ
超ユルコトヲ得ス

所得稅附加稅ノ賦課ニ付テハ所得稅法第二
十一條第二項ノ規定ニ依ル第二種ノ所得稅
額ノ控除ヲ爲ササルモノヲ以テ第一種ノ所
得稅額ト看做ス

附則
本法ハ大正十五年分ヨリ之ヲ適用ス但
シ第三條第一項ノ改正規定中第四項ノ規定
シ。第一條及第二條ノ改正規定ハ大正十
五及附則第二項ノ規定ハ

額ト看做ス

第三條第一項ヲ左ノ如ク改ム
北海道、府縣ハ所得稅百分ノ二十四以
内ノ所得稅附加稅ヲ課スルノ外所得稅
ヲ納ムル者ノ所得ニ對シ課稅スルコト
ヲ得ス

北海道府縣以外ノ公共團體ハ府縣費ノ
全部又ハ一部ノ分賦ヲ受ケタル場合ヲ
除クノ外所得稅ヲ納ムル者ノ所得ニ對
シ課稅スルコトヲ得ス

戶數割ヲ賦課シ難キ市町村ニ於テハ前
項ノ規定ニ拘ラス内務大臣ノ許
可ヲ受ケ所得稅附加稅ヲ課スルコトヲ
得但シ其ノ賦課率ハ所得稅百分ノ七ヲ
超ユルコトヲ得ス

所得稅附加稅ノ賦課ニ付テハ所得稅法第二
十一條第二項ノ規定ニ依ル第二種ノ所得稅
額ノ控除ヲ爲ササルモノヲ以テ第一種ノ所
得稅額ト看做ス

附則
本法ハ大正十五年分ヨリ之ヲ適用ス但
シ第三條第一項ノ改正規定中第四項ノ規定
シ。第一條及第二條ノ改正規定ハ大正十
五及附則第二項ノ規定ハ

六年度分ヨリ之ヲ適用ス
營業稅法廢止法律ニ依リテ免除セララル
營業稅額ハ大正十五年分營業稅附加稅
ノ賦課ニ付テハ免除セラレサルモノト看
做ス

本法公布ノ日迄ニ北海道、府縣其ノ他ノ
公共團體ク地租附加稅又ハ段別割ニ付制
限外課稅ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テハ
其ノ制限外ノ賦課率又ハ賦課額ハ之ヲ本
法ニ依リテ許可ヲ受ケタル制限外ノ賦課
率又ハ賦課額ト看做ス

報告書
一市町村稅地租法案(山本悌二郎君外十
三名提出)
右ハ本院ニ於テ否決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
大正十五年二月十九日

市町村稅地租法案(施行ニ關スル法律案
(山本悌二郎君外十三名提出)
右ハ本院ニ於テ否決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
大正十五年二月十九日

市町村稅地租法案ノ施行ニ關スル法律案
ニ關スル法律案委員長
元田 肇

衆議院議長柏谷義三殿
元田 肇

報告書
一市町村義務教育費國庫負擔法中改正法
律案(床次竹二郎君外二十三名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノ
ト議決致候此段及報告候也
大正十五年二月十九日

市町村義務教育費國庫負擔
擔法中改正法律案委員長
元田 肇

衆議院議長柏谷義三殿
元田 肇

(別紙)
(小字及ハハ委員會修正)

市町村義務教育費國庫負擔法中左ノ通改
正ス
第二條中「四千萬圓」ヲ「八千萬圓」ニ改ム
附則
本法ハ大正十五年四月一日ヨリ之ヲ施行
ス

(元田肇君登壇)
○元田肇君 昨ハ異ニ付託サレマシタル、
所得稅法中改正法律案外二十七件ノ委員會
ノ經過及結果ヲ御報告申上ゲマス、委員會ハ
受命ノ後ニ、委員長理事ヲ選舉シタルコト
ハ、既ニ速記録デ御報告ニナリ居リマス
カラ略シマス、其後引續キ質問ヲ致シマシ
テ、本月三日ヨリ十五日マデ繼續致シテ、
質問ヲ續行致シマシタガ、其終了ニ當リマ
シテ、何分ニモ二十八件ニ互ル議案デアリ、
此中ニハ五ニ相錯シテ居ル案件ガ尠カラ

スノデアリマスルカラシテ、小委員會ヲ設
ケテ、出來得ルナラバ一致點ヲ見出シテ、
之ヲ本會ノ討議ノ便ニ供シタラ宜カラウト
云フ動議ガ起リマシタ、是ハ湯淺君ヨリ提
案サレタノデアリマスルガ、斯ル際ニ斯様
ナル小委員會ヲ設ケルノハ先例ガ無イト思
フ、又先例アリト致シテモ宜シクナイ、斯
ウ云ウ反對御意見ガ委員中ヨリ出マシタ、私
ハ既往ノ本院ニ於ケル自分ノ經驗ニ徴シマ
シテ、斯カル場合ニハ小委員ヲ設ケテ、成
ベク議事ノ進行ニ便スルガ爲ニ、意見ノ一
致點ガ得ラル、ナラバ之ヲ得テ、討議ノ前
ニ示スト云フコトガ必要デアルト考ヘ、且
ツ此事ハ法規ニ違反スルモノニアラズト考
ヘタノデアル(拍手)ソレ故ニ私ハ、若シ私
ノ此所信ガ間違ヒデアラハ、違法デアルト
云フコトナラバ、本會ニ於テ御訴ヘ下サ
テ、違法トナラバ自ら其責任ヲ負ヒマスル
ガ、自分ノ信ズル所デハ違法デナイト思
フカラ、斷行致シマス云フコトヲ述ベマシ
テ、多數ニ聽テ小委員會ヲ設ケルコトニ
ナッタノデアリマス、此小委員會ハ委員長
加ヘマシテ十名、勿論此間ニハ各派ヲ通ジ
テ、委員長ハ成ベク公平、成ベク圓滿ニ議
事ノ進行ヲ圖ラシテ、一致スベキモノハ一致
ヲ求メ、一致セザルモノハ勿論ハハ一致セ
ザルモノトシテ討議ニ付スルコトニ至リタ
イト考ヘマシタガ、一部ノ委員ノ諸君ハ、
小委員會ハ不必要デアリ、或ハ慣例ガ無イ、
或ハ慣例ガアツテモ宜シカラズト云フ意
見ヲ執ラレマシテ、御出席ガ無イコトニナ
リマシタ、是ハ委員長不徳ノ致ス所デア
ルガ、洵ニ委員長ニ於キマシテハ深ク之ヲ遺
憾ニ感ジタ次第デアリマス、小委員會ハ本
月ノ十六日ヨリ十九日マデ四日間ニ涉リマ
シテ意見ヲ交換致シマシタ、此委員會ニ於
キマシテ意見ヲ交換シタ結果、議案ヲ通ジ
テ一致シタル點ヲ發見致シマシタニ付キ、之
ヲ委員長總會ニ報告スルコトニ致シタノデア
リマス、以上ガ小委員會ニ於テノ報告
ヲスルコトニナッタマデノ頃末ヲ申上ダタ
譯デアリマス、更ニ委員長總會ノ質問ニ立返
リマシテ申述ベマス、委員長ハ此間ニ五日間

感冒ノ爲ニ缺席スルノ已ムヲ得ザルコトニナ
リマシタ、是ハ深ク諸君ニ謝スル次第デア
リマス、幸ニ理事諸君ガ代テ委員會ノ質
問ヲ續ケラレマシテ、先刻申上ダマシタ通
リニ、十五日マデニ終了致スコトニナリマ
シタ、此委員會總會ニ於テアリマシタ質問應答
ヲ悉ク茲ニ申述アルコトハ或ハ私ニハ不可能
デアリマス、又速記録モアルコトデアリマ
スカラ、ドウゾソレニ依テ御諒承ヲ願ヒ
マシテ、私ハ重要ト認メマシタ數點ニ付キ其
要領ヲ報告スルコトニ致シマス、第一ニ租
稅體系ニ關聯致シマシテ、新ニ資本利子稅
ヲ起シ、又全然是ト性質ヲ同ジクスル第二
種所得稅ヲ對立セシムルノハ、其體ヲ成サ
スト思フガドウカト云フ質問ガアリマシ
タ、政府ハ之ニ對シテ、所得稅ノ組織ガ實
際上ノ必要カラ起ルノデアラハ、綜合課稅
ノ徹底ヲセズ、學理ニハ聊カ不完全ニナル
ケレドモ、是ハ實際上ヨリ已ムヲ得ズ此
至ツタモノト云フ答デアリマシタ、又地租
ノ營業收益稅ト對立セシメテ、補完稅トス
ルノハ、財產稅ト特別所得稅トヲ結ブモノノ
デアラ、體ヲ成サヌデハナイカト、斯様ナ
ル質問ガ出マシタ、是ハ政友會ノ有力ナル
大口君デアッタト私ハ記憶シマス、之ニ對シ
テ政府ハ、地租ハ貸賃價格ヲ標準トスルケ
レドモ、財產稅デハナイ、收益稅デアアル、營
業收益稅ト對立セシメテ差支ハナイト、斯
様ニ答ヘラレマシタガ、此答ハ少シ過
ヤウニ委員長ニハ聞エマシタ、第二ニ稅制
整理ノ目的ニ關シテ、政府ハ之ニ依テ增
稅ヲ金テタノデハナイカ、平生憲政會
ハ多年減稅ヲ主張シテ居ラレナガラ其
内閣ガ實ハ稅制整理ト云フコトヲ名ト
シテ、實際ニハ增稅ヲ企テ、居ルノデハナ
イカト云フ質問ガ段々出テ參リマシタ、之
ニ對シテ政府ハ、收入ニ若シキ増減ヲ爲サ
ザル範圍ニ於テ負擔ノ均衡ヲ圖リ、社會政
策ノ效果ヲ擧ゲ、併セテ産業ノ發展ニ資セ
ントスルノデアラハ、左様ナコトハ無イト
答ヘラレマシタ、第三ニ、稅制整理ニ依ル
收入増減ノ見積リニ關係致シマシテ、質問
者ガ中ニ多數ゴザイマシタ、其質問ノ

趣旨ハ、此儘ニガ法案トナツテ現レル以上
ハ、收入ニハ餘リ著シキ變化ハナイト言ハル、
ケレドモ、多大ナル增收ヲ來タスベキコト
ハ甚ダ見易イ所デアルト云フコトデ、中ニ
ハ種々ナ表ヤ數字ヲ御提出ニナツテ、政府ニ
質問サレタ御方モアリマシタ、殊ニ煙草ノ
値上、酒稅稅率ノ値上ニ依テ、國庫ニ少
ナカラザル收入ヲ齎ラスベキコトヲ、痛論
サレタ方モアリマス、而シテ之ヲ政府ニ
所見ヲ質シタノデアリマスルガ、政府ハ
政府ノ見積リハ決シテ誤ラヌト云
フ答辯デアリマシタ、第四ニ稅制整理ノ
影響ニ關聯致シマシテ、或ハ直接稅、間
接稅、鈞合ノ取レザルコトヲ論ゼラレ、
或ハ間接稅ノ増稅、就中酒、煙草ニ對ス
ル増稅ガ、中産階級以下ノ負擔ヲ重クス
ルコトヲ痛論サレマシタ、共ニ社會政策ニ
反スルモノデアルト云フコトヲ非難シテ、
政府ノ所見ヲ質サレタ方ガ澤山アリマス、
是ニ對シ政府ハ綿織物消費稅ノ免除、醬油
稅、通行稅、賣藥印紙稅ノ廢止ニ依テ、間接
稅ニ於テ社會政策ノ趣旨ガ實現セラル、ノ
ミナラズ、所得稅免稅點ノ引上、地租免稅點
ノ設置等ニ依リ、直接稅ニ於テ社會政策ハ實
現セラル、ノデアルト云フコトヲ答ヘラレ
マシタ、第五ニ、地租ノ免稅點ニ關聯致シ
マシテ、同一市町村內ニ於ケル田畑地價ニ
百圓以下ニ限ルコトハ、不公平ニ失シ、自
作農免稅ノ趣旨ヲ徹底セザルコトヲ論ジマ
シテ、政府ノ所見ヲ問フ向モ中ニ多クアリ
マシタ、政府ハ之ニ對シテハ其不公平ノ結
果ヲ齎ラスコトアルヘキヲ認メラレマシテ、
ハ、過渡的立法デアルカラシテ、多少不完
全ナコトガアルト云フ言葉ノ下ニ、此點ハ
不完全ナリト云フコトヲ認メラレタノデア
リマス、第六ニ、今回ノ改正案ニ依レバ補完
稅相互ノ重複ヲ避ケ、又所得稅間ノ重複ヲ
避ケルガ爲ニ、營業收益稅ヨリ資本利子稅
ヲ排除シ、第一種所得稅ヨリ第二種所得稅
ヲ排除スルノ規定ヲ設ケタルガ、却テ之ニ
依テ、或ル法人ニ對シテハ營業收益稅若
クハ第一種所得稅トシテ、納付スベキ額ヲ
減ジマシテ、甚シキハ皆無ナルコトモアリ、

地方稅附加稅ヲ課スル餘地ト云フモノヲ存
セザルコトヲ痛論サレテ、稅制整理ノ缺陷
ヲ指摘シタ質問ガアリマシタ、是等ハ政府
ノ急所ヲ衝イタモノ、一ツデアリマシテ、
是ニハ大口君、小川君等ガ此質問ヲ爲サレ
タト記憶致シテ居リマス、又政友會ノ提出
ニ係ル市町村地租法案、並ニ市町村地租法
ノ施行ニ關スル法律案ニ付キマシテ、幾多
ノ質問ガアリマシタ、御斷リヲ致シマス
ルガ、正確ニ申セバ、地租條例中云々、山
本第二郎君外何名提出ト云フノガ辭令ニ於
テハ適シテ居ルノデアリマスガ、茲ニハ簡
單ニ何黨ト云フコトガ、御諒承ガ願ハレ、
バ、仕合セニ存ジ、只今政友會ト申シマシ
タ次第デアリマス、此法律案ニ付キマシテ
幾多ノ質問ガアリマシタガ、其主ナルモノ
ノ大要ヲ申シマスレバ、其質問ハ、地租委
讓ノ必要如何、地租委讓後ノ國稅體系ヲ如
何ニ安排スルカ、地租委讓ニ依テ生ズベ
キ國稅收入ノ缺陷ヲ如何ニ補填スルカト云
フヤウナコトガ主立ツ項デアラタト記憶
致シマス、三土君ハ之ニ答辯セラレマシ
テ、地租委讓ノ必要ニ關シテハ本會議ニ於
ケル提案ノ理由ヲ反覆說明サレ、又租稅體
系ニ關シテハ、國稅地方稅ニ互テ之ヲ整
ヘレバソレ宜シ、地租委讓ニ依テ之ヲ生
ズベキ國稅收入缺陷ノ補填ハ、關稅改正ニ
依ル增收及行政整理ニ依テ生ジタル恆久
財源ニ依レバ十分ナリト云フコトヲ主張サ
レマシタ、若シ間違ヒマシタラバ、補正ヲ
願ヒマス、此時地租委讓ニ關シテ政府ノ所
見ヲ問ウタ委員ガアリマシタ、之ニ對シテ、
政府ハ三土君等ノ主張スル所ノ地方分權、
地方稅制整理、地租ノ不公平ト云フヤウナ
コトハ地租委讓ノ理由ニナラヌ、是ハ大藏
大臣ノ言ハレタコトヲ要約シタノデアリマ
ス、是ハ十分ナ理由デナイ、假令理由アリ
トシテモ、地租ヲ委讓スルト云フコトハ利
益デナイ、又其財源ヲ得ルコト云フコトモ今
日ハ難イ、斯様ニ政府ガ答辯セラレタト私
ハ記憶致シマス、此點ニ付テモ御斷リ申シ
テ置キマスガ、私ノ記憶ガ乏シク、又辯ガ
拙デ、大藏大臣ノ御答ノ要旨ニ足ラス所ガ

アリマシタラ、大藏大臣ヨリ補填サレシコトヲ望ンデ置キマス、又本黨ノ提案ニ係ル市町村義務教育費國庫負擔金額増加ニ關シマシテ、其目標ハ何所ニアルカ、即チ從來教育行政上ノ根本方針トシテ義務教育、教員俸給ノ半額ヲ國庫デ支辨スルコトヲ目標トシテ來タカ、之ヲ變更スルノカト云フ質問ガ委員中カラ起リマシタ、之ニ對シテハ小川君ヨリ、本黨ノ趣旨ハ一ハ以テ義務教育ノ改善ニ資シ、一ハ以テ地方財政ニ餘格ヲ與ヘ、旁、地方負擔ノ輕減ヲ圖ラントスルニ存シテ居ルノデ、教育行政ノ見地ノミヨリ出發シタモノデナイト云フ答ヲサレタノデアリマス、先ツ是ガ本委員會ニ於キマシタノ重要ナル質問……十五日ニ互タノデアリマスカラ、非常ニ澤山アリマスガ、私ハ此所ニ御報告スベキモノトシテ列舉致シタノデアリマス、更ニ小委員會ノ經過ヲ申上ゲマス、小委員會ニ於キマシテハ、各自ノ意見ヲ交換中、政府ノ意見ヲ聽クノ必要ヲ認メマシテ、大藏大臣ノ出席ヲ求メマシテ、其出席サレタトキニ、質問致シマシタノハ、第一政友本黨提出ニ係ル自作農免稅ニ關スル政府ノ決心ハドウデアルカ、第二ニ義務教育費國庫負擔金額増加ニ關スル政友本黨ノ提案ニ對スル政府ノ決心ハドウデアルカト云フコトデアリマシタ、而シテ濱口藏相ハ、此第一點ノ政友本黨ヨリ提案ニナツテ居リマス、地租條例中改正法律案ノ改正ノ第一點、即チ自作農ニ對シテハ其自作スル田畑ノ稅ヲ免除スルコト云フニハ全然同意ヲ表ス、但シ法文ノ書方ハ立法技術ニ屬スルカラ少シ考ヘサシテ欲シイト云フニ止リマシタカラ、本黨ノ趣旨ヲ以テ政府案ヲ修正スルコト云フコトニハ小委員會異論ナシトナリマシタ(拍手)其修正ノ成案ハ最後ニ申上ゲマス、更ニ自作農免稅ノ中、永小作ニ對スル條項ハ是モ立法ノ精神ニ付テハ異存ナシ、一カ地方ニ關係スルコトデアルカラ、此法案ニ出スガ宜シイカ、或ハ單行ノ補充法ニシタ方ガ宜シイカト云フコトハ考慮ヲ要スル、殊ニ立法技術ト云フコトニ付テハ大ニ考慮

シナケレバナラマト云フコトデアリマシタ、第二ニ義務教育費國庫負擔金額増加ニ關スル問題ニ付キマシテハ、政府ハ義務教育費負擔ノ増加、其總額ヲ八千萬圓トスルコトニ同意ヲ表サレマシタ、但シ中七千萬圓ハ十五年度ニ於テ之ヲ實行スルモアトノ一千万圓ハ十六年度以降ニ於テ、財源ノ餘格アルトキ他ノ緊急ナル施設ト同時ニ篇ト考慮スルコト云フコトヲ聲明サレマシタ(拍手)茲ニ他ノ緊急ナル施設ト云フハ、私ノ察スル所ニハ分ツテ居ルト思ヒマスガ、暫ク當壇上デハ言明致シマセス、更ニ茲ニ一言致シテ置キマスノハ、大藏大臣ハ、七千万圓中ノ一千万圓ハ、現財政計畫デハ財源ガナイ、ソコデ政府ノ提案セル地租條例ノ改正案中ノ一分減ヲ止メテ、約九百六十万圓ヲ得、之ニ他ノ財源カラ寄セ集メテ一千万圓トシテ、大正十五年度ニ實行スルガ、右改正案ガ貴衆兩院ヲ通過セナケレバ、追加豫算ノ提出ハ困ル、尤モ其前ニ提案致シテ差支ナイ時期ヲ發見スレバ、ソレハ早キニ如クハナイノデアルカラ、必ズ提出スル、斯ウ云フコトデアリマシテ、此義務教育費年々八千万圓ト云フコトニ付テ、確乎不拔ノ同意ヲ表セラレタト云フコトヲ茲ニ申シテ置キマス(拍手)手起リ又「國民ヲ欺クモノナリ」確乎不拔トハ何ダ」ト呼ビ、其他發言スル者多シ今暫ク——靜カニ御聽ヲ願ヒマス——是ニ於キマシテ小委員會ハ先ツ政府ノ地租條例中改正法律案第一條ヲ削除スルコトニ致シマシタ、一分減ニ關係シタ所デアリマス、次ニ其第十三條ノ「二」ニ對シテ本黨案ノ自作農免稅ノ趣旨ヲ以テ修正スルコト一致致シマシタ、(拍手)第二ニ義務教育費國庫負擔金額増加ヲ八千万圓トスルコトニ小委員會ハ全會一致致シマシタ(拍手)又政府ガ大正十五年度ニ於テハ之ニ充ツベキ財源ガ全部ナイカラ七千万圓ト致シ、残り一千万圓ニ對シテハ只今申上ゲマシタ通りニ、他ノ緊急ナル施設ト共ニ十六年度以降ニ於テ必ズ考慮スル——考慮スルコト云フコトハ從前ノ例ニ依リマスレバ之ヲ承諾シテ實行スルコト云フコトニ吾々ハ用ヒテ居リマス

(拍手)議會ノ慣例ニ於テ吾々ハ左様ナコトニ此文字ヲ解釋致シテ居リマスガ、是ハ敢テ特ニ言フベキコトデハナイノデアリマスケレドモ、世上或ハ考慮ト云フ議會ノ用語ガ分ラヌ方モアラウカト思ハレマスノデ、念ノ爲ニ茲ニ一ツ申シテ置キマス(拍手)只今申上ゲマシタ通りニ、七千万圓トシテ残り一千万圓ハ十六年度以後ニ云々ト云フ聲明ヲサレマシタカラ、小委員會ニ於キマシテハ、種々押合ヒヲ致シマシタ、結局今日ハ已ムヲ得ザルコトデアラウ、斯ノ如ク大藏大臣ガ誠意ヲ披瀝シテ事情ヲ述ベラレテ、十六年度以降ニ於テ篇ト考慮スルト言ハレタ以上ハ飽迄現金ヲ迫ルモ如何カト思ヒマシテ、ソコデ大藏大臣ノ聲明ヲ諒ト致シマスコトニ小委員會ハ一致シテ譯デアリマス、隨ヒマシテ本黨ノ提案致シマシタ所ノ法文ニハ八千万圓トゴザイマスルガ、斯クナル以上ハ「七」トシナケレバ實行ガ出來マセス、ソレデ「七千万圓ヲ下ラサルモノトス」ト斯ウ致シマシテ、八千万圓ト云フコトハ政府ノ聲明ニ依ツテ決タコトナル、若シ此後ニ於テ政府ガモウ一千万圓増シテヤルト云フ聲明ヲスレバ、九千万圓ニナツテモ一向差支ハナイ、法律ノ趣意ニナルノデアリマスカラ「八」ヲ削リ「七」ト云フ字ニ修正ヲ致シタノデアリマス(拍手)以上述ベマシタル以外ノ政府ノ提案ハ、審議ヲ末ニ小委員會ハ大體原案ヲ認メルコトニナリマシテ、唯、地方稅制限ニ關スル法律案ニ修正ヲ加フルニ止メマシテ、本黨ノ提案タル地租條例中改正法律案中、永小作權者ノ免稅ニ付テハ之ヲ單行法ニテ定ムルガ却テ妥當デアルト云フコトニ一致致シマシタ、ソレデ本黨ノ提案タル所得稅法中改正法律案、大正九年法律第十一號中改正法律案、明治四十二年法律第七號中改正法律案ハ自然消滅ト決スベキモノト小委員會ハ考ヘマシタ、是等ノ諸法案ハ主トシテ第二種所得ニ付テ、第三種所得ニ綜合課稅スルコト云フコトヲ趣旨トシタモノデアリマスルガ、政府ハ第二種所得ヲ第三種所得ニ綜合課稅スルコトハ理論上正シイト云フコトヲ認メラレ

テ、本會議ニ於テモ大藏大臣ハ之ヲ言明セラレタト私ハ記憶スル、併ナガラ是ハ學理上、理論上ニ於キマシテハ正シイケレドモ甚ダ遺憾ナガラ今日ノ日本ノ世態ニ於キマシテハ之ヲ綜合課稅スルコト云フコトニナルト、脫稅ヲスル者ガ澤山アツテ實行ガ不可能デアル、斯ウ云フコトデ段々小委員會ニ於テモ考ヘマシタガ、理論バカリニ馳セテ、今日ノ實際ノ世態ト云フモノニ脫稅ガ澤山出テ來タリニハ、甚ダ遺憾デアリマスカラ、是ハ政府案ニ賛成スルコトニシマシタガ、同時ニ政府ニ向テ希望ヲ述ベタ譯デアリマス、ソレハ今日ノ世態人情及徵稅ノ技術上デハ實行出來ヌカ知ラヌガ、理論ニ於テ正シイモノハ成ルタケ實行ノ出來ルヤウニ政府ニ於テモ調査研究ヲ進メラレタイト云フコトヲ述ベマシテ、政府ハ之ヲ承諾セラレタコトデアリマス、最後ニ政友會ノ提出ニ係ル、即チ山本俤二郎君外二十三名デアリマシタカノ提案ニ係ル市町村地租法、並ニ市町村地租法ノ施行ニ關スル法律案ハ、以上ノ次第デアリマシテ否決スルコトニ、小委員會ハ意向ガ一致致シマシタノデアリマス、以上小委員會ニ於テ意見ノ一致シタル點ニ付テ、委員長カラ委員會ニ報告スベキデアツタカトモ存ジマシタガ、此報告書整理ノ任ニ當ラレタノハ小川郷太郎君デアリマシテ、ソレ故ニ小川郷太郎君ニ小委員會ノ報告ヲ願フコトガ最も適當ナリト存ジ、小川君ヲ煩シタノデアリマス、然ルニ委員會ニ於テハ此報告ガアリマシタ際、幾ニ小委員會ヲ以テ或ハ違法デアルト云フ議論モアリマシタノデ、之ヲ直ニ修正案トシテ提出スルコトハ異論ガアルト云フ御方ガアリ、又差支ナイト云フ論ガ起リマシタガ、斯カル權限論ニ依ツテ議事ノ進行ヲ遲延ナラシムルコトハ私ハ宜シクナイト考ヘマシタ、ソレ故ニ其事ハ何レニ致シテモ宜シイ、宜シイガ、之ヲ小川郷太郎君若クハ小委員會ニ出タ者ノ修正案トシテ改メテ出ス方ガ滿場ノ諸君ノ御氣ニ適フト云フコトデアレバ、私ハ權限論ナドハ打捨テマシテ、滿場諸君ノ御意思ニ從ハウト

云フコトヲ述ベマシタ、所ガ満場諸君ハ早
ク進行シタイト云フ御意見デアリマシタト
見エマシテ、委員ヨリ修正案トスルコトニ
賛成セラレタリマス、ソコデ小川郷
太郎君ハ小委員会ノ修正トシテ報告シタモ
ノヲ、改メテ小川委員ノ修正案トシテ提出
スルコトナリマシテ、此動議ヲ出サレ、
満場ハ之ヲ認メマシテ、其修正案並ニ付託
セラレタル所ノ全部ノ案ニ付キマシテ、之
ヲ議題ト致シマシテ討論ニ入タノデアリ
マス、然ルニ本會ニ於テ十分ナ討論ヲ爲サ
レルト云フコトデアリマシテ、委員會ニ於
テハ唯、要領ダケノコトヲ述ベラレ採決ニ入
リマシタ、其採決ノ結果ハ、修正案ハ多數
ヲ以テ議決ニナリマシタ、修正案ニ關係ナ
キ政府提出ノ諸法案ハ、皆多數ヲ以テ議決
致シマシタ、山本健二郎君外數名ノ提案ハ
否決ニナリマシタ(湯淺君ノ修正ハドウシ
タト呼フ者アリ)特別委員會ノ經過ハ以上
ノ如クデアリマス——先刻來申上ダマシタ
コトデ殆ド盡キテ居ルノデゴザイマスガ、
特別委員會ニ於テ特ニ修正ニナッタ案ヲ玆
ニ明ニシテ置イタ方ガ宜カラウト存ジマス、
ソレハ地租條例中改正法律案、明治四十
一年法律第三十七號中改正法律案、並ニ床次
付二郎君外二十三名ノ提出ニ係ル市町村義
務教育費國庫負擔法中改正法律案ノ三ツニ
付テハ、修正シタ所ヲ正確ニ文字ニ就テ御報告
致シタ方ガ宜カラウト思ヒマス、地租條例
中改正法律案ニ付キマシテ、政府ヨリノ提
案「地租條例中左ノ通改正ス」トアリマス、
次ノ「第一條中」云々トアリマスノヲ削リマ
シタ、ソレカラ「第十三條中」トアリマス
所ノ文句ヲ斯様ニ變ヘルノデアリマス、一
寸讀ミマス「前條ノ規定ニ依リ地租ヲ納ム
ヘキ、(法人ヲ除ク)ノ住所所在地市町村及其隣
接市町村內ニ於ケル田地地價ノ合計金額其
同居家族ノ分ト合算シ二百圓未滿ナルトキ
ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其田地ノ地租ヲ徵
收セス、但小作ニ付シタル田地ニ付テハ此
限ニ在ラス」斯様ニ政府案ガ修正ニナルノ
デアリマス(拍手)ソレカラ次ノ小作問題ニ
付キマシテハ、是カラ引離シマシテ、別ニ

單行法ニスベキモノナリト云フコトニナ
タノデアリマス、ソレカラ今一ツ申上ダテ
置イタ方ガ宜カラウト思ヒマスノハ、明治
四十一年法律第三十七號中改正法律案、地
方稅制限ニ關スル法律デアリマスガ、其中
ニ「明治四十一年法律第三十七號中左ノ通
改正ス」トアリマス其次ノ「第一條第一號
中」云々トアリマスノヲ全部削リマス、是
ハ地租一步減ヲ止メマシタ結果デアリマス、
ソレカラ「第二條中」云々トアリマス中ノ、
「營業收益稅百分ノ四十二」トアルヲ「百分
ノ四十一」ニ改メマシタ、ソレカラ「營業
收益稅百分ノ六十三」トアリマスノヲ「營
業收益稅百分ノ六十」ト改メマス、而シテ
同條ニ左ノ一項ヲ加ヘルノデアリマス「營
業收益稅附加稅ノ賦課ニ付テハ營業收益稅
法第十條第二項ノ規定ニ依リ資本利子稅額
ノ控除ヲ爲ササルモノヲ以テ營業收益稅額
ト看做ス」ト加フルノデアリマス、次ニ「第
三條第一項ヲ左ノ如ク改ム」トアリマス其
最後ニ「所得稅附加稅ノ賦課ニ付テハ所得
稅法第二十一條第二項ノ規定ニ依リ第二種
ノ所得稅額ノ控除ヲ爲ササルモノヲ以テ第一
種ノ所得稅額ト看做ス」ト云フ一項ヲ加ヘ
ルノデアリマス、ソレカラ附則ニ至リマシ
テ「本法ハ大正十六年度分ヨリ之ヲ適用ス
但第三條第一項ノ改正規定中第四項ノ規
定及附則第二項ノ規定ハ大正十五年分ヨ
リ之ヲ適用ス」ト云フコトニ本文ヲ修正ス
ルノデアリマス、ソレカラ末項ノ「本法公
布ノ日迄ニ北海道」云々トアル法文ハ皆削
テシマヒマス、是ガ明治四十一年法律第三
十七號中改正法律案ニ付テノ修正デアリマ
ス、ソレカラ床次付二郎君外數名ヨリ提出
致シマシタ市町村義務教育費國庫負擔法中
改正法律案ニ付テ「八千萬圓」トアル「八」
字ヲ「七」ノ字ニ改メマス、以上ガ具體的
修正セラレマシタモノニ向ッテ御報告デ
アリマス、大體右ニテ御諒水願ヒマス、
御斷リヲ申上ダテ置キマスガ、私先刻モ申
上ダマシタ通りニ委員會ノ進行半ニ病臥致
シタト云フヤウナコトデアリマシテ、質問
等ニ付キマシテモ或ハ報告不十分カモ知レ

マセヌガ、(此時發言スル者多シ)
○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
○元田肇君(續) 以上大體ノ御報告ヲ申上
ダタ次第デアリマス——先刻モ申シマシタ
通りニ、發言者ノ大口君、三土君ノ御趣旨
ニ對シテ報告不十分アラバドウカ補足ヲ
願ヒマス、又政府當局ニ於テモ不十分デア
タナラバ、政府ヨリ訂正サレンコトヲ望ミ
マス、何卒宜シク諸君ノ御諒承ヲ願ヒマス
(拍手)
○湯淺凡平君 議長
○議長(粕谷義三君) 湯淺君ハ委員長・報
告ニ付テノ御發言デアリマスガ
○湯淺凡平君 左様デス
○議長(粕谷義三君) ソレナラ湯淺君
○湯淺凡平君 只今委員長ヨリ御丁寧ナル
御說明ヲ承リマシタ、但シ委員會ニ於キマ
シテ特ニ採決サレタ私ノ修正案アルノデ
アリマス、即チ社會政策ノ見地ヨリ、國民
ノ生活ニ即シタル重要ナル修正案ヲ提出致
シタノデアリマス、然ルニ此事ニ關シテ一
言ノ御報告モアリマセヌ、既ニ之ニ依ッテ
採決ヲサレタ問題デアリマスルカラ、御自
席カラデモ宜シウゴザイマスカラ簡單ニ御
報告アラントコトヲ願ヒマス
○議長(粕谷義三君) 元田肇君
(元田肇君登壇)
○元田肇君 湯淺君ノ(此時發言スル者多
シ)
○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
○元田肇君(續) 只今ノ御注意ニ基キマシ
テ尙ホ申上ダマスガ、湯淺君ヨリモ種々御
提議ガアリマシテ否決ニナリマシタト私ハ
心得テ居リマス、ソレカラ先刻ノ小委員會
ノ動議モ湯淺君デアッタト思ヒマス、一々
御名前ヲ私ハ出スコトハ——其方ガ宜シイ
カ知ラヌガ、寧ろ略シタ方ガ宜シイト
考ヘ、多クハサウ致シマシタ、ソレデ漏レ
マシタノハ恐縮デアリマスガ、正ニ湯淺君
ノ御提案ニナリ決ヲ採タコトハ相違ゴザ
イマセヌ、是デドウカ御諒水願ヒマス
○議長(粕谷義三君) 質疑ノ通告ガ數名ア
リマス、順次之ヲ許シマス、岡田溫君

(岡田溫君登壇)
○岡田溫君 私ハ只今元田委員長ヨリ御報
告ニナリマシタ修正案ニ付キマシテ、新ニ
疑義ガ起リマシタカラ、簡單ニ其點ヲ伺ヒ
マス、私ノ質問ハ局部デハゴザイマスガ、
併シ本案ノ爭點トナリ、暗礁トナッタヤウ
ナ重點ニ觸レルノデアリマシテ、ドウモ其
點ヲ質シテ置キマセヌト、公正ナル判斷ガ
出來ナイノデアリマスルカラ御尋スルノデ
アリマス、是ハ委員長ニ御尋スルノガ本當
カモ知レマセヌガ、根本論等ニ付テモ御尋
シタイノデアリマスカラ、政府當局ノ御意
思ノ在ル所ヲ伺ヒタイノデアリマス、併シ
ソレガ筋違ヒデアリマシタナラバ、其部分
ハ委員長カラ御答下スルテ結構デアリマス、
私ノ御尋スルノハ三點デアリマスガ、第一
ガ原案ニハ地租一分減ト云フモノガアリマ
シタガ、修正案ニハソレガ撤廢サレマシ
テ、小學教育費ノ補助ト云フ方ニ廻サレテ
居ルヤデアリマス、元來地租ト教育費ノ
補助トハ全然性質ガ違フノデアリマスガ、
ソレヲ取換ヘタト云フノハ如何ナル精神デ
アリマスルカ、ソレガ伺ヒタイノデアリマ
ス、申スマデモナク農家ノ負擔ガ一般國民
ノ負擔ニ比較シテ過重デアレルト云フコト
ハ、最早天下ノ齊シク認メタル所デアリ
マス、何故農業者ノ負擔ガ割合ニ重ナル
カト云フコトニ付テハ、色々原因ガアリ
セウガ、其重大ナル原因ハ耕地ノ負擔ガ重
イト云フ點ニ在ルノデアリマス、歴史ヲ見
マシテモ古來ノ租稅ト云フモノハ殆ド全部
ガ土地ノ負擔デアッタノデアリマス、其歷
史ヤ觀念ガ附纏ウテ今尙ホヤテ居ルガ故ニ、
土地ノ負擔ガ其收益ニ比較シテ重イ、ソレ
ガ根源ニナッテ、附加稅トカ或ハ所得認定
ニ付テモ何モ彼モ多クナルノデ、結局農家
ノ負擔ガ割合ニ多クナルト云フコトニナル
ノデアリマス、故ニ稅制改正ニ於キマシテ
負擔ノ均衡ヲ圖ラウトスルナラバ、ドウシ
テモ不均衡ヲ來ス所ノ根源ニ對シテ相當ノ
改正ヲ加ヘナケレバ目的ヲ達スルコトガ出
來ナイノデアリマス、所ガ最初ノ御計畫ニ
ハ一分減ト云フコトデアリマシテ、私共ハ

ソレスラモ憲政會ガ年來ノ御主張ニモ似合ハズ一分減ラサレタコトハ、尙ホ不滿ニ思フ居タルアリマス、ケレドモガ少額ナリト雖モソレヲ減ジタナラバ、減ジタケレハソレタケレ田畑ノ負擔ガ輕減サレルノデアリマス、世間デハ地租ト云フコトニ付テノ誤解ガアルヤウデアリマス、又地主ノ中ナドニモ之ニ地租一分減ナドハ、話ヲヌト云ウテ反對ノ意見ヲ持テ居ル人ガアリマス、ケレドモガソレ等ノ反對意見ハ、租稅論デモ均衡論デモ、或ハ農家ノ負擔ガ輕イカラ、ソレハ減ゼヌデモ宜イト云フヤウナ思想カラ來タノデモ何デモナイ、今日一分減ナドト云フト、ソレガ動機トナリ理由トナテ、小作料輕減運動ガ起リデモスルト、ソレガ爲ニ差引損ガ行クダラウト云フヤウナ所カラ唱ヘテ居ル反對論デアリマスカラシテ、稅制改正ナドノ場合ニ於ケル資料トハナラナイト思ヒマス、所ガドウ云フ理由デアリマスルカ、農家ノ負擔ガ輕減サレル分ガ廢サレマシテ、教育費ノ補助ニナツト云フコトハ、其結果ハ農家ノ負擔輕減ニ充當スベキモノ、約半分ハ、都會ナリ其他ノ方面ノ負擔輕減ニ廻スト云フコトニナリマスカラ、其結果ニ於テハ不均衡ノ度ガ甚シクナルノデアリマス、ドウ云フ理由ニ依テ斯様ナ事ニサレタノカ、ソレガ同ヒタイノデアリマス、第二ハ地方稅トノ關係デアリマス、地方稅制ニ付テモ色々改正サレテ居ルヤウデアリマス、ソレハ地租一分減即チ約一千万圓減額サレルモノトシテ、他ノ諸稅ト鈞合ガ取レルヤウナ風ニ計畫サレテ居タルデアラウト思ヒマス、然ルニ其地租ガ復戻リニナリマスルト、他稅トノ鈞合ガ變テ來テ、地租ノ割合ガ多クナリハシナイカ、多クナルベキ理窟ガアルト思ヒマス、ソレハドウ云フ風ニナルノカ其點ヲ同ヒタイノデアリマス、又彼ノ免稅點設置ノ點デモサウデアリマス、同ジヤウナ理由デ免稅サレル部分ハ、地方稅ニ於テハ特別地稅トナツテ居テ、サウシテ先ヅ本稅ニ對シテノ率ガ考ヘラレテ居ルノデアリマスルガ、ソレハ一千万圓減ジタ地租ヲ基

礎ニシテ考ヘラレテ居ルノデアリマス、然ルニ其地租ガ復戻リニナルト、矢張り元ノ地租額カ見込マレルコトニナルトスルナラバ、此點デモ減稅サレルベキモノノ減稅サレヌコトニナツテ來ルノデアリマスガ、ソレハドウ云フ風ニナリマスルカ、此點モ大ナル疑義ナノデアリマス、ソレカラ第三ハ營業稅トノ鈞合デアリマス、最初ノ御計畫ニハ地租ノ一分輕減スルト云フコトニ對シテ、負擔輕減ノ鈞合上營業稅ニ於テモ五百萬圓カラ輕減スルヤウナコトノ計畫ニナテ居リマス、地租ト營業稅トハ其性質ガ違フトハ言ヒマスルモノ、農業者ト商工業者トノ公課負擔ノ輕重問題ニハ、常ニ引合ニ出サレタ問題デアリマス、サウシテ營業稅ハ既ニ地租ヨリハ收益ニ比較シテ割合ガ重イト云フコトハ、彼ノ三十六年ノ稅務審查會ノ調査以來、最早數字上ニ明カナノデアリマス、而シテ此營業稅ハ、十三年度ニ一千九百萬圓程減ジラレテ居ルノデアリマス、其時ニモ是ト鈞合上、地租ヲドウスルカト云フコトニ付テ、二步減デアルトカ、全廢デアルトカ、委讓デアルトカ大騒ギヲシタ結果、營業稅ハ其儘輕減サレタガ、地租ハ何モ輕減サレズニ濟ンデシマツノデアリマス、所ガ今度ハ偶、此稅制改正ト云フ時ニ當テ、免モ角モ一部分ハ輕減サレルト云フコトニナツテ、ソレニ對シテ營業稅モ輕減サレテ居タル、所ガ地租ノ方ハ元通りニナツテ、營業稅ハ輕減サレタ、其儘デ假ニ在ルノナラバ、而モ其地租ノ輕減サレルベキモノモノガ、今度ハ半バ營業稅ヲ納メル人ナドノ負擔輕減ノ方ニ廻ハルコトニナツタノデアリマスカラ、是ニ於テ農業者ハ二重三重ノ不利益ニナルシ、營業稅ヲ納メル人ハ、二重三重ノ利益ニナツテ來タルデアリマスカラ、負擔ノ鈞衡ト云フコトガ愈々大キクナツテ、營業稅ト地租トノ鈞合ガ甚ダ取レヌヤウニナツテ來タルデアリマス、濱口藏相ガ最初本案ノ御説明ノ時ニ當テ、今度ノ稅制整理ノ眼目ハ、負擔ノ鈞衡ヲ圖ルト云フコトデアルト云フコトヲ、何度モ御述ニナリマシタガ、均衡ヲ圖ルノデハナイ、成程

均衡ヲ圖ルヤウニ出發點ハナツテ居リマシタガ、中途ニ引繰返テ不均衡ノ方ニ向イタト云フノハ、ドウ云フ理窟デアリマセウカ、吾々ハ農家ノ負擔ノ過重ヲ訴ヘマシテ、漸ク天下ノ承認ヲ得テ、サウシテ之ヲ矯正スルノ唯一ノ機會ヲ得テ、錢ヲカソレニ向テ行キ居タルカ、今度ノ稅制整理ニ於テ、斯様ナ結果ニナラウトハ、實ハ夢ニモ思フテ居ナカ、タノデアリマス、世ノ中デ能ク農村振興ト云フコトヲ言ヒマス、私共ノ要求シマス農村振興トハ、倉庫ノ補助デアルトカ、副業トカ云フモノハ末ノ末デアリマシテ、要スルニ農民ニ均等ノ機會ヲ與ヘルト云フコトデアルト思ウテ居リマス、產業政策ニ於テモ、租稅ニ於テモ、金融政策ニ於テモ、教育ニ於テモ、商工ニ偏セズ、都市ニ偏セズ、免モ角モ均等ノ機會ヲ與ヘテ置イテ、後ハ農民自身ノ努力ニ依リ、事情ニ依テ振興セシムベシト云フコトガ、是ガ農村振興ノ道ダト思フノデアリマス、所ガドウカト云ヒマスルト云フト、今議會デハ色々ナ問題ニ遭遇シマスルガ、例ヘバ產業ニ於キマシテモ、食糧政策ニ於テモ、關稅政策ニ於テモ、先ヅ第一ニ要求セラレタノハドウ云フ事デアアルカト云ヒマスルト、農產物ハ成ベクタケ價ノ安イノ國民ノ生活上宜イノデアアル、言換ヘテ見ルト、農業者ノ收入ハ成ベクタケ少ナイ方ガ宜イ、斯ウ云フコトニナツテ、第一ハ非常ナ犧牲ガ要望サレテ居リマス、買フ人カラ言ウタラサウデアリマセウ、ケレドモ農產物ノ價格ハ、成ベク安クスルノガ宜イトシテ置イテ、ドウシテ農業者ハ收入ヲ増スコトガ出來マセウ、斯ウ云フコトニハ機會ノ均等ガ與ヘテアリマセウ、然ルニ又稅制整理ニ於テモ、斯ウナツテ來テ居ル、是デハ農業者ハ立行ク途ハナイ、ノミナラズ、如何ニ一面ニ農村振興策ヲ講ゼラレテモ、到底根本ニ於テ常ニ不均衡ヲ與ヘテ行クテハ、ドウスルコトモ出來ナイノデハナイカト思フノデアリマス、私ハ此三點ハ極メテ重要ナ問題デアリマスルノデ、ドウ云フ御方針デ斯ウ爲スツタノデアアルカ、或ハ之ニ代ル

ノニ他ノ施設ガアルノカ、其點ヲ詳細ニ伺ヒタイノデアリマス(拍手)
○國務大臣(濱口雄幸君) 只今ノ岡田君ノ御質問ニ對シテ御答致シマス、御質問ハ三點デアリマシタガ、其中第一點ト第三點トハ私カラ御答ヲ致シマス、第二點ハ地方稅ノ關係デアリマスルカ、是ハ內務大臣ヨリ御答辯ニナルデアアラウト思ヒマス、豫メ御斷リヲ申シテ置キマスルガ、政府ノ提案ニ係リマスル所ノ地租條例中改正法律案、之ニ對シテ特別委員會ニ於テ、先刻元田委員長カラ報告セラレマシタ通り、修正ニナツタノデアリマス、此修正案ガ衆議院ヲ通過シ、貴族院ヲ通過致シマシタキニハ、政府ハ之ニ同意スルルト云フコトヲ聲明ヲ致シデアリマス、只今ハ委員長ノ報告ガアツタバカリデアリマシテ、是カラ討論ニ入ラウト云フ際デアリマス、隨テ今日ニ於テ、此場合ニ於テ政府ガ此修正案ニ同意スルルト云フ其理由ヲ申述セルコトハ、聊カ時期ガ早イト考ヘマス(ノウ)「拍手」併ナガラ岡田君ノ御質問ノ趣旨ハ、政府ガ貴衆兩院ヲ通過シタ以上ハ同意スルルト云フコトヲ聲明セラレタノデアアルガ、其同意スルルト云フコトニ付テ、如何ナル意見ヲ以テ同意サレルト聲明サレタカ、斯ウ云フ御趣意デアルト了解ヲ致シマシテ、其時期ハ多少得テ居ナイト考ヘマスケレドモ、御質問ニ對シテ御答ヲシヤウト思ヒマス、政府ノ提案ニ係リマスル所ノ地租一分減、之ニ對シテ委員會ハ修正ヲ加ヘ、一分減ヲ見合セルト云フコトヲ致サレタノデアリマス、而シテソレニ因テ生ズル所ノ財源ヲ以テ、教育費ノ負擔ヲ増加スルト云フノガ、委員會ノ御意見デアリマス、是ニ於テ岡田君ノ御質問ハ、地租一分減ト教育費ノ増額ト取換ヘタル所ノ理由如何、斯ウ云フ御質問デアリマスガ、私共ノ考ヘル所ニ依リマスレバ、地租ノ一分減ヲ行ヒマスルト云フコトハ、教育費ノ負擔額ヲ一千万圓増加スルト云フコトハ、如何ニモ其性質ニ於テ、其形式ニ於テハ違フテ居リマス、違フテ居リマスル

ガ、其歸著スル所ニ於テハ殆ド徑庭ハナイ
ト思ヒマス(趣意ガ違フデハナイカ)「ノウ
ノウ」ト呼フ者アリ、(拍手)從來ノ實績ニ依
リマスレバ、教育費ノ負擔額ノ市町村ト
ニ分配サレテ居リマス所ノ割合ハ、大體
ニ於テ市ニ配當サレテ居ルモノガ總額ノ一
割以内デアリマス、町村ニ配當セラレテ居
リマスモノガ總額ノ九割以上ニ當リテ居リ
マス(而シテ田畑ノ地租ノ負擔額ト云フモノヲ統
計ヲ按ジマスルニ、市ニ屬スルモノガ是亦
一割以内デアリマス、町村ニ屬スルモノガ
九割以上デアリマス、其間ニ於テ固ヨリ數
字上確的ニ符合ハ致シマセヌケレドモ、大
體ニ於テ其歸著スル所ハ殆ド同等デアリマ
ス、隨テ教育費ノ負擔額ト云フ事柄ガ、地方
ノ負擔ヲ輕減シ、殊ニ農村ノ負擔ヲ輕減セ
ントスル趣意ニ出テ居リマス以上ハ、是ハ
地租ノ一分減ト其農村振興ニ及ボス所ノ實
際ノ效果ニ於テ、殆ド異ナル所ハナイト思
ヒマス(拍手)ソレ故ニ政府ニ於キマシテハ
地租ノ一分減ト教育費ノ負擔額ト云フモノヲ
取換ヘマシテモ、形式ガ違フモ其經濟上
ノ實效ニ於テハ殆ド異ナル所ガナイト考ヘ
テ居リマス(拍手)第三點ハ營業稅トノ約合
如何ト云フ御質問デアリマス、政府ノ原案
ニ依リマスレバ、地租ノ一分減ニ依ッテ田
畑ノ負擔ヲ九百餘萬圓輕減致シ、更ニ免稅
點ノ設定ニ依ッテ一千二百萬圓ノ負擔ノ輕
減トナリ、合計地租ノ輕減額ガ二千餘萬
圓トナルト云フ原案デアッタデアリマス、
而シテソレニ對シテ營業稅ハ大正十五年度
ニ於テ、五百餘萬圓ヲ輕減致シ、十六年度
カラ營業稅收益稅ノ新設ニ依ッテ、從來ノ營
業稅ノ負擔ニ對シマシテ四百七十七萬餘圓ヲ
輕減スルト云フ計畫デアッタデアリマス、
此營業稅ニ對スル所ノ負擔ノ輕減ト申シマ
スルコトハ、一面ニ於テ地租トノ權衡ヲ見
タコトハ勿論デアリマスケレドモ、是ハ單
リ地租ノミトノ權衡ヲ見タ譯デアリマセ
ヌ、總テノ稅制ニ對シマシテ、他ノ稅目ト
ノ權衡ヲモ十分ニ考慮致シ、又獨立ニ商工
業者ノ負擔ヲ輕減セントスル考モアッタノデ
アリマス、固ヨリ其一ツノ目的ト致シマシ

テハ、都市ノ負擔トノ權衡ヲ見タコトハ、是
ハ岡田君ノ御指摘ニナッタ通りデアリマス
ケレドモ、其都市ノ負擔ノ一分減ト云フコ
トヲ見合セテ、之ヲ教育費ノ負擔額ニ向ケマ
スル結果ガ、前段申上ダマスルガ如ク、實
際ニ於テハ農村ノ振興ニ資シ、農村ノ負擔
ヲ輕減スルト云フ結果ニナルト云フコト
ガ、果シテ正シイ議論デアルト致シマスル
ナラバ、營業稅トノ約合ニ於テ毫モ憂慮ス
ル所ハナイデアラウト思フデアリマス、
(拍手)大體御答ヲ致シマス
〔國務大臣若槻禮次郎君登壇〕
○國務大臣(若槻禮次郎君) 岡田君御質問
ノ第二點、即チ附加稅ニ關スル部分ニ付テ
御答ヲ致シマス、委員會デアハ政府ノ原案ニ
對シテ、附加稅ノ原案ハ増率スルコトニナ
テ居ッタノガ、減額ニナッテ居ルノデアリマ
ス、減額ト云フノハ即チ現行ノ通りニスル
ト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマス、
即チ地租ノ一分輕減シマスレバ、標準ニナ
リマス本稅ガ減ズルノデアリマスカラ、制
限ノ率ヲ增加セナケレバナリマス、原案ハ
限ニ依ッテ制限率ガ增加セラレテ居ッタノデ
アリマス、然ルニ委員會デアハ一分減ヲ廢セ
ラレタ、サウナリマス本稅ガ多クナリマス
カラ、制限率ヲ少ク致シマシテモ、結局同額
ノ財源ヲ得ラル、コトニナルノデアリマス、
即チ委員會ノ修正ハ、決シテ農民ノ負擔ヲ附
加稅ノ關係ニ於テ増加シタノデモアリマセ
ヌケレバ、同時ニ又減少シタノデモアリマ
セヌ、全然同一ノ結果ニ歸著スルノデアリ
マス、又營業稅ノ制限率ヲ減ジマシタノ
ハ、是ハ土地ノ附加稅ノ關係トハ關係ガナ
イノデアリマス、只今委員長ノ御報告ニナ
リマシタ通り、營業稅收益稅ニ附加稅ヲ課
スル場合ニ於テハ、資本利子稅ヲ控除セナ
イ金額ヲ本稅ト看做シテ附加稅ヲ課スル
ト、斯ウ云フコトニナリマス爲ニ、營業稅
益稅ニ對スル附加稅ノ本稅トシテノ標準
ガ、委員會ノ修正ハ政府ノ原案ヨリモ多ク
ナルノデアリマスカラ、本ガ多クナレバ制
限率ヲ減ジテモ宜イト云フ意味ニ於テ、委
員會デアハ制限率ヲ減セラレタノデアリマ

ス、是モ亦本稅ガ多クナッタ爲ニ此制限率
ガ減ジタト云フノデアッテ、負擔ノ上ニ於
テハ増加スル所ガナイト同時ニ、減少スル
所ナシ、全然同一デアルト申上ダナケレバ
ナリマセヌ(拍手)
〔岡田溫君登壇〕
○岡田溫君 モウ一度簡單ニ御伺致シマ
ス、此第二ノハ御說明デ大體了承致シマシ
タ、一三デアリマスガ、第一ニ一分減ト教
育費ノ云々ト云フ是ガ廻リ廻ッテハ同ジヤ
ウナ所ニ歸著スルノデアラウ、故ニ實際ト
シテハ效用價值ハ違フマイト云フ御見込ラ
シデアリマスガ、私共ハ違フト思フノデ
アリマス、成程此農村ト云フモノガ全部百
姓キリ、ソレカラ市ト云フモノハ全部他ノ
者ト云フナラバサウ云フコトモ宜イカ知レ
マセヌガ、今日ノ農村——町村ト云フ部分
ハ可ナリ複雑ニナッテ居リマス、其中ニハ
農業者モアレバ、工業者モアリ、商業者モ
アル、吾々ノ言フ負擔ノ均衡ト云フコト
ハ、市ノ者ト地方ノ者ト云フ意味モアリマ
スガ、職業ノ差異ニ依ッテ違フト云フコト
ガアルノデアリマス、所ガ今ノ私ノ疑義ハ
農村ニ廻ッテ來ルカモ知レヌガ、ソレカラ
一分減デアッタ來ルカモ知レヌガ、ソレカラ
教育費ノ補助デアリマシタナラバ、多數ノ
大工左官モ會社員モ皆廻ルコトニナルニ
依ッテ違フト云フノデアアル、其點ハドウデ
アル、ソレカラモウ一ツ營業稅トノ均衡デ
アリマス、是ハ一分減ト免稅點トノ合計ヲ
其金額ト對照スレバ、是レタ々デアアルガ故
ニ、一分減ヲ廢メテモマダ免稅點モアルカ
ラ、大シテ不均衡ニナラヌト云フ御說明デ
アリマシタガ、私ハ免稅點ハサウ云フモノ
ニ比較スルノデナクシテ、免稅點トハ營業
稅ヤ所得稅ノ免稅點ト比較スルモノデアッ
テ、ソレハ除ケテシマウテ、唯一一分減ト營
業稅ノ輕減ト比較スルモノト信ジテ居ル
ノデアリマス、サウシテ見マスルト其所ニ
矢張不均衡ガ多クナラヌカト云フ疑ガ起ル
ノデアリマス、此二點ニ付テモウ一應御伺
致シマス
〔國務大臣濱口雄幸君登壇〕

○國務大臣(濱口雄幸君) 再度ノ御質問ニ
御答ヲ致シマス、一分減ト申シマスコトハ、教
育費ノ一千万ノ増額ト申シマスコトハ、先
刻申上ダテ置キマシタ通り、其農村ニ及
ボス所ノ負擔ノ輕減ガ的確ニ符合スルモノ
デアアリマセヌ、併ナガラ大體ニ於テ農村
ノ負擔ノ輕減ニナルト云フコトハ、兩者大
シテ違ヒハナイト私ハ信ジマス、ソレカラ第
三點ニ付テ再質問デアリマスガ、是ハ私
ノ說明ノ申シヤウガ惡カッタカモ知レマセ
ヌケレドモ、其負擔ノ均衡ト申シマスコト
ハ、地租ノ免稅點ヲ加ヘテ申シタノデア
リマセヌ、即チ一分減ニ依ル所ノ九百萬圓
ノ減稅ト申シマスコトハ、營業稅ノ四百万
若クハ五百万ノ減稅ト云フコトガ大體ニ於
テ約合ッテ居ルモノト思ッテ居ッタノデア
リマス、然ルニ此九百万ト云フ一分減ヲ廢メ
テ、サウシテ教育費ノ負擔額ヲ一千万ヤリマ
ス、其一千萬圓ト云フモノガ是ガ農村ノ負
擔ノ輕減ニナルト云フ以上ハ、此所ニ營業
稅トノ權衡ハ大體ニ於テ保タレルト云フ結
果ニナルト云フコトヲ申シタノデアリマス
○議長(粕谷義三君) 土屋清三郎君
○岡田溫君 議長
○議長(粕谷義三君) マダ御質疑ガアリマ
スカ
○岡田溫君 是レ以上ハ意見ニナリマスカ
ラ止マヌ
〔土屋清三郎君登壇〕
○土屋清三郎君 私ハ只今ノ委員長ノ報告
中賣藥稅法廢止ニ關スル法律案ニ付テ內務
大臣ニ質疑ヲ致シタイノデアリマス、質問
致シタイ點ハ三ツデアリマス、第一ハ此案
ガ本議院ニ現レマスルヤ、世論ハ夥々トシ
テ之ヲ非難致シテ居ルノデアリマス、就中
內務大臣ノ監督ノ下ニ在リ、各省大臣ノ衛
生ニ關スル唯一最高ノ諮詢機關デアアル所
ノ中央衛生會ハ、過般之ニ對スル反對ノ意
見ヲ內務大臣ニ具申スベク決議ヲ致シタト
云フコトデアリマス、政府ガ自ラ衛生ニ關
スル法律案ヲ議會ニ提出致シマシタ後ニ於
テ、己ノ諮詢機關ヨリ反對意見ノ決議ヲセ
ラレタト云フコトハ、從來未ダ曾テ其例ヲ

見ナイノデアリマス、内務大臣ハ何故ニ此法律案ヲ提出スル前ニ於テ中央衛生會ニ御諮詢ニナラナカッタノデアルカ、若シ中央衛生會ガ衛生ニ關スル諮詢ノ機關トシテ其用ヲ爲サナイモノデアルト云フナラバ、内務大臣ハ之ヲ御廢止ニナル所ノ御意見ハナイノデアリマス、之ヲ第一ニ御尋フ致シマス、第二ニ大藏大臣ハ賣藥ハ僻遠ノ地ニ於テ醫療ヲ受クルコト能ハザル者及無產階級ノ病ノ爲ニハ確ニ必要デアル、之ニ稅ヲ課シテ居タト云フコトハ悲慘デアリ、無情ナル政治デアルト申サレテ居ルノデアリマス、果シテサウデアラナラバ、僻遠ノ地ニ安ク治療ヲ受ケラル、ヤウニシ、貧民ニ對シテハ醫療ノ途ヲ開クト云フコトガ尙更必要デアリマセヌカ、僻村ニ醫師ヲ普及スルコト、無產階級ニ對シテ安ク治療ノ出來ルヤウニスルコト、及貧民ニ對シテ醫療ノ徹底ヲ期スルコト云フコトハ、醫師會ガ毎年ノ如ク建議ヲ致シテ居ルバカリデナク、現ニ内務大臣ハ自ラ醫師會ニ其方法ヲ諮問シテ居ルノデアリマス、内務大臣ハ之ヲドウ御考ニナルノデアリマス、有產階級ハ金ガアルカラ醫師ニ掛カレ、無產階級ハ貧乏人、汝等ハ賣藥ニ依レト云フコトハ、ソレコン悲慘ニシテ且ツ無情ナル政治デハナイカト思フノデアリマス、此點ニ付テ内務大臣ハドウ御考ニナッテ居ルノデアリマス、第三ハ御承知ノ通り賣藥ナルモノハ、其内容ガ秘密ニセラレテ居ルノデアリマス、假ニ何ノ病ニ效アリト效能書ニ書イテアリマシテモ、其藥ガ果シテ如何ナル成分ヨリ成ッテ居リ、幾許ノ分量ヲ含ンデ居ルカト云フコトハ、製造者ト取締官廳以外ニハ何人モ之ヲ知ラレナイノデアリマス、政府ガ若シ賣藥ヲ無產階級ノ爲ニ必要ナリト致シマスナラバ、同時ニ其成分、其分量ヲ明示セラレト云フコトガ當然デハアリマセヌカ、單ニ稅ノミヲ廢シテ、依然其内容ヲ秘密ニシ、勝手ナル價額ヲ附シテ、憐ムベキ無產階級ガ之ヲ妄信シテ買メルニ委セテ置クト云フコトハ、是亦大藏大臣ノ言葉ヲ

〔國務大臣若槻禮次郎君登壇〕

藉リテ申シマシタナラバ、悲慘ニシテ且ツ無情ナル政治デハアリマセヌカ、政府ハ此意味ニ於テ賣藥法ヲ改正シテ、其成分及分量ヲ一々容器ニ明示セシメルト云フコトニ御同意デアルカドウカ、此三點ニ付テ明白ナル御答辯ヲ要求致シマス

○國務大臣若槻禮次郎君

只今ノ御質問

ノ第一點、即チ中央衛生會デ賣藥稅ノ廢止ニ反對シタ決議ヲシタト云フ御質問デアリマスガ、左様ナ決議ヲシタコトハナイノデアリマス、尙ホ中央衛生會ニ諮詢ヲセヌノハドウ云フ譯デアルカト云フ御尋デアリマスガ、賣藥其物ノコトデアリマスレバ、中央衛生會ニ諮詢スル筈デアリマステレドモ、之ニ稅金ヲ課スルヤ否ヤト云フノハ、全ク財政上ノ問題デアリマスカラ、ソレ故ニ中央衛生會ニ諮詢致サヌノデアリマス、第二問ハ御質問ニナル點ガ能ク私ヲ解出來ナカッタノデアリマス、御質問ハ賣藥稅ヲ廢スルノハ貧民稅ヲ廢スルコト云フコトデアアルヤウデアル、ソレナラバ何故貧民ノ醫療ニ付テ、モット努力セヌカト云フ御質問ノヤウニ伺ッタノデアル、若シソレデアリマスナラバ、政府ハ此上ニモ貧民ノ醫療ニ付テ十分ニ努力スル考デアルノデアリマス、第三ハ賣藥稅ヲ廢スルナラバ、賣藥ニハ其成分ヲ書カシメルヤウニシタラ宜カラウト思フガ、左様ニ爲スヤ否ヤ、斯ウ云フ御質問デアリマス、此點ニ付テハ昨日特別委員會ニ於テモ質問ガアリマシタ當時、私ハ申述ベテ居ルノデアリマスガ、賣藥ノ中ニハ其成分ヲ書カシメルコト云フコトガ困難ナルモノガアリマスコト、悉ク左様ニスルト云フ譯ニハ參リマセヌケレドモ、尙ホ十分講究シテ適當ノ立法ガ出來ナラバ、立法スルコトニ努メマスト云フコトヲ昨日御答ヲシテ居ルノデアリマス、之ヲ繰返シテ更ニ土屋君ニ御答致シマス(拍手)

○議長(粕谷義三君)

武藤山治君

○土屋清三郎君

議長

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

○議長(粕谷義三君)

土屋君、マダ御質問

ルカ、政府ハ今回酒類ニ付キマシテハ一石七圓ノ増稅ヲ行フト云フノデアリマスガ、之ニ依ル平年度ノ收入増加ヲ二千七百九十萬圓ト見テ居ラレバノデアリマス、然ルニ最近ノ最モ前年度ノ持越ノ多クシテ、査定石數ノ少ナク大正十三年ハ如何カト申シマス云フト、大正十三年ノ清酒、濁酒、味淋、燒酎等ノ査定石數ノ總高ハ五百七十九萬石デアリマス、而シテ酒ニ付キマシテモ最近ニ於テ大正六年、大正九年ノ兩度ニ於テ増稅ヲ致シマシタガ、其増稅ノ結果減收ヲ來シタカト申シマス、直ニ消費ハ復舊致シテ居リマス、今回ノ値上ニ依リマシテモ、私共ハ直ニ此消費ノ數量ハ恢復致シテ來ルモノト見マスカラシテ、一二年ノ中ニハ平年度ノ需要ニ復シマスト見マスルナラバ、此酒ノ値上ニ依ル收入ハ少クとも四千萬圓位ヲ計上シナケレバナラヌト思ヒマス、然ルニ之ヲ二千七百九十萬圓ト見テ居ルノデアリマスカラ、此間ニモ千二百萬圓ノ差ガ生ズルノデアリマス(拍手)尙ホ一例ヲ舉ゲマス云フト、最モ近頃問題ニナツテ居ル營業稅デアリマス、政府ハ只今ノ營業稅ヲ改メテ營業收益稅ニ爲サルノデアリマスガ、之ニ依ツテ四百萬圓ノ國庫減收ヲ來ス計算ニナツテ居リマス、全國商業會議所聯合會ノ調査ニ依リマス云フト、全國ヲ通ジテ法人ノ營業稅ノ増加額ノミニテモ千六百五十萬圓ト云フ計算ヲ出シテ居リマス、吾々ノ計算ニ依ツテモ、略之ニ近イモノガ出テ參ルノデアリマス、殊ニ營業稅中ノ最モ主要部分ヲ占メル所ノ物品販賣業デアリマスガ、其物品販賣業ノ中デ最モ主ナル營業ニ付キマシテ、四十種ヲ擇ンデ取調ベテ見マスルト、之ニ依ツテ新舊稅法ニ依ル負擔ノ増減ヲ比較シテ見マスルト、四十種ノ中デ新稅法ニ依ツテ負擔ノ増加ニナリマスモノガ、卸賣業ニ於キマシテ二十八種、小賣ニ於キマシテ二十九種デアリマス、負擔ノ輕減ニナリマスモノハ卸賣ニ於テ十二、小賣ニ於テ十一ト云フ割合ニナルノデアリマス、之ヲ以テ考ヘテ見マシテモ、營業稅ノ收入ハ減少所デアリ

マセヌ、非常ナ増加ニナルノデアリマシテ、營業者ニ對シマシテハ減稅デナクシテ増稅ニナルノデアリマス、(ヒヤ)「拍手」其他麥酒、清涼飲料稅、或ハ資本利子稅等ニ付キマシテモ同様デアリマシテ、吾々ノ計算ニ依リマス云フト、少クとも六千萬圓程度ノ増稅ニナルト思ヒマス、更ニ政府ハ今回政友本黨トノ妥協ニ依リマシテ、地租ノ一分減ヲ見合ハサレマシタノデアリマスカラ、是ガ減稅カラ差引カレマシテ、即チ増稅ハ七千萬圓以上ニナルノデアリマス(拍手)尙ホ關稅ノ收入ハ別箇ノ問題デアリマス、濱口大藏大臣ハ、關稅ハ他ノ國稅トハ全然別箇ノ問題トシテ考ヘンケレバナラヌ、稅制整理ニ於キマシテ關稅ノ改正ニ依ル收入増加ヲ見積ルコトハ宜シクナイント、斯ウ云フ御議論デアリマス、吾々モ關稅改正ノ調査ニ著手スル其方針ト對シマシテハ、濱口大藏大臣ト全ク同様ノ意見ヲ持ツテ居ルノデアリマス、關稅改正ニ當テ、國庫ニ如何ナル收入ヲ生ズルト云フコトヲ先ヅ目安ヲ極メテ置イテ、關稅ノ改正ヲスルコトハ斷ジテ許シマセヌ、併ナガラ最早政府ハ關稅改正ノ一般法律案ヲ制定致シマシテ、議會ニ之ヲ提案シ、之ニ依ル收入ハ幾ラカト云フコトハ、既ニ明瞭ニナツテ居ルノデアリマスカラシテ、此場合ニ於キマシテ、關稅ニ依ル增收ヲ他ノ國稅ノ整理ト同時ニ之ヲ混淆シ、差引イテ按排スルト云フコトハ固ヨリ當然デアルト私共ハ考ヘル(拍手)然ルニ大藏大臣ハ關稅ノ收入約二千萬圓ト云フモノハ、國稅ノ整理トハ別箇ノモノト云フノデアリマス、之ヲ加ヘマスト云フト九千萬圓、吾々ノ計算ニ依リマスト云フト、政府ノ關稅改正案ヲ其舊認メルト致シマシテモ、政府ノ見積、テ居ルヤウニ千九百三十萬圓ト云フヤウナ少額ナル收入デアリマセヌ、恐ラク三千万圓以上ノ收入ガアルト思ヒマスガ、左様ニ計算致シテ見マスレバ、一般國稅及關稅ノ改正ニ依ル政府ノ增收ヲ來シマスル、即チ法律ノ改正ニ依テ增收致スベキ收入ハ殆ド一億圓ニナルノデアリマス(拍手)是ガ即チ國民ニ

對スル増稅デアリマス、吾々ハ最初ニモ申上ゲマシタ通り、今日ノ内外ノ情勢並ニ經濟界ノ實狀カラ考ヘマシテ、稅制整理ヲ致シマスル場合ニ於キマシテハ、減稅ガ出來レバ減稅ヲ致シタイト云フノデアリマス、増稅ヲスルト云フコトハ斷ジテ許スベカラザルコトデアルト考ヘルノデアリマス(ヒヤヒヤ)濱口大藏大臣ノミナラズ、憲政會ノ諸君ハ、在野時代ニ於キマシテハ常ニ國民負擔ノ輕減ヲ力説セラレ(其通り)ト呼フ者アリ、減稅ノ提案サレタコトモ一再ナラズデアリマス、殊ニ私ハ此場合ニ於キマシテ憲政會ヲ代表シテ閣員ニ列セラレタル諸君、就中濱口君ニ向ヒマシテ、數年前ニ於キマシテ濱口君ガ此議場ニ於テ、減稅法律案ヲ提案致サレマシタ議論ノ一部ヲ想起サレンコトヲ希望致スノデアリマス(拍手)大正十二年ノ二月頃デアッタト考ヘマス、即チ加藤友三郎內閣ノ時分ニ、憲政會ノ諸君ハ減稅法律案ヲ提案サレマシテ、濱口君ハ當時憲政會ヲ代表サレマシテ、此壇上ニ於テ堂々タル意見ヲ述ベラレタノデアリマス、其中ノ最モ私共ノ注意致サンケレバナラヌ所ハ、極メテ簡單デアリマスカラ私ハ茲ニ申上ゲマスガ、濱口君ハ斯様ナコトヲ申サレタノデアリマス「國民思想ノ變化頗ル注意スベキモノアル今日ノ場合、政治家ガ自分ノ無能若クハ怠慢ヲ蔽ハナガ爲ニ、其必要モナキニ拘ラズ、國民ノ愛國心ヲ濫用シテ、國家緊急ノ場合ニ負擔セシメタル租稅ノ輕減ヲ怠ルガ如キハ、斷ジテ國ヲ治メ民ヲ率キル所以ノモノニアラズト思ヒマス」此所マデ濱口君ハ極論サレマシテ、減稅ノ必要ヲ高調力説サレタノデアリマス、(其當時ハ當然ナコトダ)ト呼フ者アリ國民ノ思想ノ變化頗ル注意スベキモノアルコトハ、今尙ホ昨ノ如シデアリマス、經濟界ノ不振ニシテ國民ガ負擔ノ重課ニ苦ンデ居ル狀況モ、大正十二年ト今日ト變リハアリマセヌ、故ニ濱口君ガ眞ニ國民負擔ノ輕減ヲ計畫サレ、今日其當時ノ國民ノ負擔ガ重キニ失スルト云フコトヲ感ゼラレテ、此議論ヲサレタナラバ、私ハ今日尙ホ同様ノ意

見ヲ持シテ居ラナケレバナラヌト思フノデアリマス(拍手)然ルニ(地震ハドウシタ)ト呼フ者アリ、如何ニ在野時代ノ御意見トハ云ヒナガラ、人ヲ責ムルコト斯ノ如ク嚴肅ニシテ、而シテ自ラ朝ニ立ツヤ減稅ヲ斷行セザルノミナラズ、右申サユナ非常ナル増稅案ヲ出シテ議會ノ協賛ヲ求メルト云フコトハ、政治家トシテノ責任觀念ヲ疑フノデアリマス(拍手)殊ニ尙ホ濱口君ハ其當時ノ御演說ニ於キマシテ、斯ウ云フコトヲ申サレタノデアリマス「重稅ノ鎖ガ國民ノ手足ニ擱ミ附イテ如何ニ其自由ノ活動ヲ妨グテ居ルカト云フコトヲ思ハナイ」即チ當時ノ內閣諸公ハ、重稅ノ鎖ガ國民ノ手足ニ擱ミ附イテ、是ガ爲ニ國民ガ自由ノ活動ガ出來ナイト云フヤウナ悲慘ナル狀態ニ在ルノヲ思ハナイカト言ウテ責メタノデアリマス、然ルニ租稅負擔ハ其後少シモ減ジテ居リマセヌ、然ルニ今日ニ於キマシテ是程マデ主張シタル濱口君ガ大藏當局トナツテ、結果ニ於テ増稅ニナルヤウナ稅制案ヲ出シマスルト云フコトハ、最早今日ニ於キマシテハ重稅ノ鎖ハ國民ノ手足カラ取去ラレタリト考ヘテ居ルノデアリマセウカ(發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○三土忠造君(續) 之ニ對シテ濱口大藏大臣ハ斯様ニ辯解サレタカモ分リマセヌ、只今憲政會ノ諸君ガ私語セラレテ居リマスヤウニ、爾來彼ノ大震火災ガアツタ、其善後處分ニ非常ナ金ヲ要スル、即チ大正十五年ニ於キマシテモ約二億圓ノ震災善後費ヲ要スルノデアリマスカラシテ、斯様ナ場合ニ於テ減稅ヲ行フコトハ出來ナイ——遺憾ナガラ出來ナイト申サレマセウガ、是ハ私共ハサウハ參ラヌト思ヒマス、加藤友三郎內閣ニ對シテ右申サユナ非難攻撃ヲセラレマシタ時分ト今日ト、陸海軍ノ軍費ニ於キマシテ三億二千四百萬圓ノ減額ヲ來シテ居ルノデアリマス、即チ軍事費ノ減額ノミニテモ非常ナモノデアリマスカラ、震災ノ善後處分ニ要スル二億圓ノ如キハ問題デアリマセヌ(ソナナ亂暴ヲ議論ハナイ)ト

呼フ者アリ)故ニ私ハ今日ノ場合ニ於テ政府ガ甚シキ減稅ヲセヌト云フコトヲ責メルノデナクシテ、前ニハ左様ナ強イ議論ヲ唱ヘテ居テ、即チ在野時代ニハ左様ナ嚴肅ナ意味ノ減稅論ヲ唱ヘテ居タ濱口藏相ガ、今日減稅ヲセザルノミナラズ、増稅ノヤウナ計畫ヲ立テタルト云フコトガ、不都合デアルト云フコトヲ責メルノデアリマス(拍手)次ニ稅制諸案ヲ比較致シマスト云フ、直接國稅ニ於キマシテハ却テ減稅ニナツテ居リマシテ、間接稅ニ於キマシテ増稅ニナツテ居ルノデアリマス、是ハ即チ政府ノ計算ヲ信ジテ爾カ申スノデアリマス、政府ノ吾々ニ示サレマシタル計算ニ依リマシテモ、地租、所得稅、營業稅、相續稅、資本利子稅等ニ於キマシテ、差引致シテ見マスと云フ、増稅ニナリマスモノガ三千五百七十萬圓、減稅ニナリマスモノガ三千五百七十萬圓、差引四千四百七十萬圓ノ減稅ニナルト云フ計算デアリマス、然ルニ間接稅ノ方ハ如何カト申シマスと云フ、是亦政府ノ計算ニ依リマシテ、間接稅ハ五千四百四十萬圓減稅ニナツテ、六千七十萬圓ノ増稅ニナツテ居リマス、差引六百六十萬圓ノ増稅ニナルト云フガ政府ノ示サレタル計算デアリマス、即チ政府ノ計算ヲ其儲信ジマシテモ、直接稅ニ於テハ四千四百七十萬圓ノ減稅トナリ、間接稅ニ於テハ却テ六百六十萬圓ノ増稅ニナルノデアリマス、然ルニ吾々ノ計算ニ依リマスレバ、尙ホ此六百六十萬圓止マラス、恐ラク間接稅ノミニ差引致シマス、四千五百萬圓ノ増稅ニナルト思ヒマス、諸君、近代各國ノ稅稅政策ハドウナツテ居リマセウ、時代ノ進ムニ從ヒ、經濟界ノ推移ニ伴ウテ、所謂社會政策ノ方針ニ依リマシテ、成ベク租稅力ノ大キイモノニ負擔ヲ重クシ、負擔力ノ少キモノノ負擔ヲ輕減スルト云フノガ、世界各國一般ノ傾向デアリマス、然ルニ今日國稅地方稅ヲ通ジテ一般整理ヲ行フニ際シマシテ、有產階級ノ負擔ニ屬スル直接國稅ノ方ハ寧ろ輕減ヲ致シ、無產階級モ共ニ負擔ヲスル所ノ間接稅ニ對シテ、巨額ノ増稅ヲ行フ如キハ吾々ハ時代錯誤ノ甚シキモ

ノト考ヘルノデアリマス、次ニ社會政策ノ見地カラ考ヘマス、政府ノ社會政策的減稅増稅ト云フ中ノモノバカリヲ引拔イテ考ヘテ見マスと云フ、減稅ニナリマスモノノハ極メテ輕微ナモノデアリマシテ、増稅ニナリマスモノハ一ツニ固マツテ、觀面ニ負擔ノ苦痛ヲ覺エルヤウナモノバカリデアリマス、即チ減稅ニ於キマシテハ通行稅ヲ數ヘマスガ、先ツ通行稅ニ取ツテ見マスト云フ、通行稅ヲ廢シタル結果、果シテ通行稅ヲ今日拂フテ居ル者ガ負擔ガ減ゼラレルカ否カト云フコトハ一ツノ疑問デアリマス、併ナガラ此政府ノ減稅ニ依テ廢稅ニ依ツテソレダケ通行者ガ負擔ガ輕減サルモノト計算ヲ致シマス、又賣藥印紙稅ノ廢止モ同様デアリマシテ、之ニ依テ果シテ減稅シタダケ需要者ノ負擔ガ輕減サレルヤ否ヤト云フコトハ疑問デアリマス、併ナガラ是亦是ダケ負擔ガ輕減サレルモノト假定ヲ致シテ計算ヲスルノデアリマス(ソレ位ノコトガ分ラヌカ)ト呼ヒ其他發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○三土忠造君(續) 織物消費稅ノ如キ頗ル巨額ノ減稅ニナルヤウニ見エマスルケレドモ、農家若クハ純勞働者ノ一己ニ取ツテ考ヘマスレバ、大シテ負擔ノ輕減デアリマセヌ、然ルニ酒、煙草ノ増稅若クハ值上ニ至リマシテハ、之ヲ需要スル者ニ取リマシテハ非常ニ觀面ニ固マツタ負擔ガ重ナツテ參ルノデアリマス、何レ詳細ナルコトハ同志ノ討論ニ譲リマスガ、私共ノ大體計算致シタ所ニ依リマス、全然此無產階級ニ屬スル田地モ持ツテ居ラナケレバ、家モ持ツテ居ラナイ、全然無產階級ニ屬スル勞働者——都會勞働者、及農村ノ純小作人ニ付キマシテ、今回ノ政府ノ社會政策的——減稅、増稅ノ差引ヲ付ケテ見マスと云フ、一戸毎ニ都會勞働者ニ於キマシテハ、差引七八圓ノ増稅ニナリマス(ヒヤ)「拍手」農村ノ小作人ニ付キマシテハ、更ニ甚シイノデアリマシテ、八九圓ノ増稅ニナルノデアリマス(拍手)更ニ國民全體ニ付テ觀察致シマス、即

チ全國現在ノ戶主、世帯主ナルモノハ千二百萬以上アリマスルガ、其中デ五十萬圓ノ資産ヲ有スル者以上、ソレカラ今回ノ政府ノ改正ニ依リマシテ、所得稅ヲ課スル以上ノ者、及所得稅ヲ課スル以下ノ者、斯様ニ大體區別ヲ致シマスルト、所謂第一類ニ屬スル資産階級ト云フモノハ五萬七千餘デアリマス、其者ハ今回ノ政府ノ提案ニ依リマシテ、非常ナ減稅ニナルノデアリマス、而シテ其中產階級ニ屬スル百八十萬餘ノ世帯主ニ付キマシテハ、極ク輕微ナ減稅ニナリマス、而シテ最も多數ヲ占ムル一千万以上ノ世帯主ヲ含ンデ居リマス所ノ、無產階級若クハ下層階級ノ細民ノ負擔ニ付キマシテハ、非常ナ増稅ニナルノデアリマス(拍手)即チ國民全體トシテ考ヘテ見マス、政府ノ今回ノ稅制整理案ナルモノハ、資産家ニ減稅ニナツテ(ノウ)中產階級ニ幾分減稅ニナツテ、無產階級ニ非常ナ増稅ニナルノデアリマス(拍手)斯ノ如キ稅制整理ヲ致スト云フコトハ、社會政策ヲ高調セラル、現政府トシテ、如何ニモ矛盾者極マル事ト私ハ思フノデアリマス(ヒヤ)「拍手」以上ハ國稅ニ付テ申スノデアリマスガ、更ニ地方稅ニ付テハ如何デアリマセウ、地方稅ニ付テモ同ジク細民ノ負擔ガ増加致シテ、資産階級ノ負擔ガ減少致スノデアリマス、政府ハ今回府縣戶數割及家屋稅ヲ廢止シテ、是ガ補填ノ財源ト致シマシテ、市町村ニ於ケル現在ノ所得稅ノ附加稅ヲ廢止シテ、之ヲ府縣ニ委讓シ、尙ホ之ニ若干ノ増率ヲ加ヘ、而シテ其足ラザル所ハ約三千万圓程府縣稅ト致シマシテ、家屋稅ヲ起スノデアリマス、又所得稅ノ附加稅ヲ市町村ヨリ府縣ニ移シマシタル歲入ノ補填、並ニ府縣營業稅、雜種稅ノ整理ノ結果ニ依ル市町村ニ於ケル歲入ノ補填ト致シマシテ、府縣稅トシテ新設スベキ家屋稅ノ附加稅ヲ以テ之ニ充ルノデアリマス、故ニ大體ノ計算ニ於キマシテ、新ニ設置スベキ府縣家屋稅ノ本稅、及附加稅ヲ合セマシテ、六千万圓以上ニ上ルノデアリマス、今日戶數割——府縣稅戶數割ハドウナツテ居ルカト申シマス

レバ、府縣稅ノ戶數割ハ、其縣下ノ戶數ニ按分比例ヲ致シマシテ、各町村ニ賦課致シマスガ爲ニ、町村ト町村トノ間ニ於キマシテハ、頗ル不公平ナモノデアリマスルケレドモ(ノウ)「二」町村内ニ於キマシテハ、相當負擔力ニ應ジタル、賦課ガ行ハレテ居ルノデアリマス、然ルニ之ニ換フルニ本稅三千萬圓、附加稅三千万圓ト云フガ如キ、巨額ノ家屋稅ヲ新設致シマスルト云フ、此家屋稅ハ貸賃價格ニ依ルノデアリマスカラシテ、貧富ノ間ノ負擔力ニ應ズルコトガ出來ナイノデアリマス、即チ現在ノ府縣戶數割ノ賦課ニ於ケルヨリモ、新ニ設置致シマス所ノ家屋稅ノ賦課ノ方ガ、遙ニ細民ノ負擔ヲ増加シテ、資産階級ノ負擔ヲ減少スルノデアリマス(拍手)斯ノ如ク、政府ハ減稅ヲ行フベキト云フ方、寧ろ増稅ヲ行ヒ、負擔ノ公正ヲ圖ルコトヲ提唱シナガラ、其結果ニ於テ不公正ニ陥リ、社會政策ヲ高調シテ、最も非社會政策的の稅制ヲ確立シ、產業ノ發展ヲ力說シテ、所得稅、營業稅等ノ負擔ハ却テ増加致シテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク不條理極マル所ノ成案ヲ得マシタ原因ハ、何所ニ在ルカト申シマス、吾々ノ考デハ、稅制整理ノ根本方針ヲ誤、テ居ルト思フノデアリマス(拍手)「ヒヤ」即チ濱口大藏大臣モ、若槻內務大臣モ、地方ノ稅制ニ付キマシテハ、餘リ重キヲ置カレヌヤウデアリマス(ノウ)寧ろ國稅ノ整理ニ重キヲ置イテ、地方ノ稅制ノ整理ヲ輕ク見テ居ラレタト云フコトガ、其一ツノ誤リノ原因デアリマス(拍手)ソレカラ是マデ在野時代ニ、不完全ナル不十分ナル調査ニ依ツテ、長ク提唱致シテ居リマシタ所ノ黨議ニ因ハレテ、而シテソレヲ強テ行ハント欲スルガ爲ニ、此所ニ無理ガ生ジタノデアリマス(ヒヤ)「拍手」ソレハ政友會デヤナイカト呼フ者アリ第三ニハ學究的ノ理論ニ因ハレマシテ、社會ノ實情ニ副ハナイモノガ出來テ居ルノデアリマス、吾々ハ稅制整理ト申シマスレバ、國稅ヨリモ地方稅ニ重キヲ置イテ、地方稅ノ整理ヲ主トシ、國稅ノ整理ヲ從トシテ、相並ンデ整理スルニ非

ズンバ、本當ノ公正ナル整理ガ出來ヌト云フコトヲ提唱スルノハ、是ガ爲デアリマス(拍手)以上ハ政府ノ最初ノ提案ニ付テ申述ベタノデアリマスガ、今回政府ト憲政會ト本黨ノ諸君トガ妥協セラレマシテ、妥協ノ下ニ別箇ノ成案ヲ得タノデアリマス、此成案ニ依リマスト云フト、地租ノ一分減ヲ見合セテ、而シテ教育費ノ國庫負擔額ヲ一萬圓増加スルト云フデアリマス、是ガ骨子デアアル、其代リニ政友本黨諸君ハ、他ノ政府ノ提案ヲ全部九否ニスルト云フデアリマス、是ニ於キマシテ私共ハ甚ダ不可解ニ考ヘルノデアリマスガ、濱口大藏大臣ガ稅制諸案ヲ提案サレマスル前ニ、屢、此計畫ヲ言明サレマシテ、此稅制案ナルモノハ一ツノ團體ヲ成シテ居ルモノデアアル、聯絡相貫通シテ居ルノデアアルヲシテ、其中ノ一ツニ手ヲ加フレバ、ドウシテモ他ニ加ヘナケレバナラヌ、故ニ之ニ對シテハ他ニ手ヲ加ヘルコトハ出來ヌト云フ見識ヲ以テ進ンデ來タノデアアル、又三派協同内閣ニ於テ、稅制ノ整理ニ付テ意見ヲ異ニシタ時分、其時濱口君ノ意見ヲ高調力説シタノモ其所在タノデアリマス、然ルニ今回本黨ト妥協シテ、整理案ノ通過ヲ求メマスルガ爲ニ、多年ノ主張ヲ拋擲シテ、是迄寸毫モ手ヲ著ケテハイカヌト云フ、憲政會ニ取ッテハ最重要ナル點ニ對シテ、本黨ノ提案ヲ容レマシテ、之ヲ撤回スルコト云フコトハ、如何ニモ私ハ憲政會ノ爲ニ惜ミ、政府ノ爲ニ惜ムノデアリマス(ヒヤ)「拍手」諸君、憲政會ハ地租ニ付キマシテ、今日マデ如何ナル議論ヲ爲サツテ參リマシタカ、前ニハ地租ノ二分減ヲ唱ヘ——二分減ヲ唱ヘテ此議場ニ之ヲ紹介シ、濱口君ハ之ヲ熱心ニ議論サレタノデアリマス、然ルニ自ラ局ニ當ルヤ、之ヲ半減シテ一分減ニ改メ、間モナク今回更ニ二分減シテ、本黨ニ頭ヲ垂レ、之ヲ棄テ、シマツタノデアリマス(拍手)斯ノ如ク在野時代ニ於テ唱ヘラレマシタ所ノ政綱ハ、便利ノ爲ニ弊廢ノ如ク之ヲ捨テ、斯ウ云フコトヲ屢、繰返シマシタナラバ、國民ハ何ニ依ッテ政黨ノ政策ヲ信用スルコトガ出來マセウ

(拍手)而シテ先刻稅制ノ委員長トシテ元田君ガ、委員長ノ報告ヲセラレマス際ニ、政府ハ教育費ノ國庫負擔額ヲ八千萬圓ニ増額スルコトヲ承認セラレタ、斯ウ云フノデアリマスガ、然ルニ大藏大臣ノ聲明ヲ聽キマス、又新聞紙ニ現ハレマシタ所、小委員會ノ報告ナリト云、テ吾々ノ耳ニ達スル所ヲ見マスルト、頗ル空漠タルモノデアリマス、即チ斯ウ云フノデアリマス、八千萬圓ニスルコトハ宜シイ、併シ一千万圓ダケハ此十五年度ニ於テ増加致スガ、是ハ貴族院ニ於テ此稅制案ガ通過シタ場合ニ於テ、始メテ追加豫算ヲ出シテ來ルノデアアル、是ハ宜シイ、後一千万圓ハドウナルカト云フト、大正十六年度以後ニ於テ歲入ニ餘裕アル場合ニ於テ、他ノ緊急ナル施設ト共ニ篤ト考慮スルト云フ者アリ(財政ノ餘裕アル場合ニ於テキマシテ、他ノ緊急施設ト共ニ篤ト考慮スルト云フ問題ハ澤山アリマス、獨リ教育費ノ増額問題ハカリデアアリマス、故ニ吾々ハ斯様ナモノヲ信ズル譯ニハ參リマセヌ、又政府ニ於キマシテモ、斯様ナ公約ヲ豫メ嚴格ナル意味ニ於テ致スルコト云フコトハ、餘程考ヘ物デアアル、若シ「反對ナラ反對ト云ヘ」ト呼ヒ其他發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○三土忠造君(續) 吾々ハ本黨ニ言フテ居ルノデアリマス、政府ニ向テ言フテ居ルノデアリマス——吾々ハ教育費ノ増額ハ固ヨリ同意デアリマス、教育費ノ増額固ヨリ同意デアアルガ、政府ノ斯ノ如キ漠然タル聲明ニ對シテ、安ンズルコトハ出來ヌノデアリマス(拍手)「反對カ」反對ナラ言ヘ」ト呼ヒ其他發言スル者多シ

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○三土忠造君(續) 又政府ガ——大藏大臣ガ自己ノ黨略上、若クハ政權ノ維持ニ戀々トスルガ爲メ、斯ノ如キ將來ニ互ル要求ニ對シテ聲明ヲ致ス、斯ウ云フコトヲ重ネテ居リマスルト、或ハ海軍大臣ニ向

テハ海軍ノ補充計畫、之ニ就キマシテハ十六年度ニ於テハ必ズ考慮スルコト云フコトヲ契約致シ、或ハ又内務大臣ニ對シテ、北海道ノ拓殖計畫ハ十六年度ヨリ考慮スルコト契約致ス、斯ノ如クシテ、國家ノ財政ノ衝ニ當リマスル者ガ——大藏大臣ガ、唯、内閣ヲ維持スル爲ニ將來ニ向テ公約ヲシテヤ行キマスル場合ニハ、財政ノ基礎ハ何所ニ保タルモノデアリマス(拍手)吾々ハ濱口君ノ平素ニ似合ハザルコトハ、腰ヲ以テ財政ノ局ニ當ラレト云フコトハ、吾々國民トシテ如何ニモ迷惑千萬ニ考ヘルノデアリマス(拍手)吾々ハ本黨ノ諸君ガ考ヘルガ如ク、教育費ノ國庫負擔ノ増額ハ成ベク確實ナラシコトヲ希望致シマス、併ナガラ政府ノアノ聲ト云フモノハ、私左様ニ確實ナルモノトハ思ハヌノデアリマス(堂々ト反對シ給ヘ)ト呼フ者アリ)

左様ニ仰シタルナラバ私申上ゲマスガ、只今申シマスル通り、憲政會ノ永年ノ主張ト云フモノハ、地租二分減ヲ主張サレタノデアリマス、然ルニ是ガ一分減トナリ、更ニ撤回サレ、本黨ノ諸君ハ吾々ト同ジヤウニ、地租ノ委譲ニ賛成セラレテ居タノデアリマス、然ルニ今日ハ其意見ヲ一變サレマシテ、全ク是ハ妥協ニ依ッテ、一時ノ苟安ヲ貪ルニ過ギナイノデアリマス、即チ一ハ政權ヲ維持センガ爲メ、一ハ解散ヲ回避センガ爲メ、旬日ノ間ニ妥協合シテ、サウシテ此重大ナル稅問題ヲ妥協合シノ犠牲ニ致シタノデアリマス(拍手)諸君、稅制ノ整理ハ國民ノ利害、國家ノ休戚ニ關スル重大問題デアリマス、願クハ諸君ガ能ク靜ニ御考下サイマシテ、黨利黨略ヲ離レ、自己一身ノ利害ヲ離レマシテ、我執ヲ捨テ、誠然其態度ヲ一變セラレ、而シテ吾々ノ提案ニ係ル地租委譲案此際先決問題トシテ可決シテ、サウシテ政府ニ於テ、此基礎ノ上ニ新ニ社會政策ノ方針ニ合シ、負擔ノ公正ガ期セラレ、國民人ノ利害休戚ト相伴フ所ノ稅制案ヲ新ニ立直シテ提案スベシト云フ、我等ノ主張ニ御同意下サランコトヲ希望致シマ

ス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 次ハ町田忠治君(町田忠治君登壇)

○町田忠治君 委員長ノ報告ニナリマシタ修正案ニ賛成ノ理由ヲ述ベ、政友會カラ提出セラレマシタ地租委譲案ニ對スル反對ノ趣意ヲ述ベマス、私ハ第一ニ此修正案ノ趣意ニ對シテ意見ヲ述ベタイト思ヒマシタ所、便宜上只今三土君カラ提出サレマシタ所ノ地租委譲論ニ對シテ、先ツ反對意見ヲ述ベ、而シテ修正案ニ對スル賛成ノ意見ヲ述ベルコトガ、諸君ノ御諒解ヲ得ルニ最モ便利ト思ヒマスカラ、茲ニ順序ヲ變ヘマス(拍手)

第一、政友會諸君ノ提出セラレテ居ル地租委譲論デアリマス、此議論ハ官署政友會總裁田中君ガ、屢、地方支部大會ニ於テ其趣意ヲ言明セラレ、又三土君モ過日ノ委員會ニ於テ詳シク地方分權論ノ趣意ヲ述ベラレマシタ、然ルニ私ハ茲ニ二ツノ疑問ヲ持テ居リマス、何故ニ之ヲ申スカト云ヘバ、政友會諸君ノ地租委譲論ノ根源ハ、地方分權論ニ起テ居ルガ故ニ、此地方分權論ニ對シテ一言セザルヲ得マセヌ、政友會總裁ノ說明ニ依ルト、中央集權ノ弊茲ニ極マツテ居ルガ故ニ、茲ニ地方分權ノ制度ヲ立直シテ、地方自治體ノ基トシ、而シテ其繁榮ヲ圖ルト云フコトハ地方分權論ノ主眼デアリマス、ソレガ爲ニ政友會總裁ハ其演說中ニ曰ク、今ノ地方行政費ノ中ニ、或ハ教育ニ關スルモノアリ、土木ニ關スルモノアリ、道路ニ關スル少カラザル中央或ハ地方經費ノ分擔ガアル、是ガ爲ニ地方人民ハ多ク中央政府ノ補助金ヲ與ヘルコトヲ頻ニ望ンデ居テ、是ガ爲ニ地方分權ガ行ハレヌト云フ趣意ノコトヲ述ベラレテ居ル、若シ中央集權ノ弊ヲ避ケテ、地方分權ニスルガ爲ニ、中央ノ仕事ヲ地方ニ移スガ爲ニ、地租委譲——其財源トシテ地租委譲ヲ必要トスルナラバ、具體的案トシテハ、如何ナル種類ノ事務ヲ之ヲ地方ニ移スカト云フ具體案ヲ先ツ提出シテ、然ル後、是ガ財源トシテ地租ヲ委譲スルコト云フ結論ニナルノガ順序デアラウト思ヒマス、然ルニ三土君ハ

過日委員會ニ於テ、之ヲ新様ナ解釋ハ、誤解デアルトシテ、大藏大臣ノ此意見ニ對シテ誤解ヲ訂正サレタ、其言葉ニ曰ク、今ノ行政組織並ニ國費及地方費ノ關係カラ見レバ、中央政府ガ當然スベキ事務ヲバ、地方ガ多ク之ヲ負擔シテ居ルガ故ニ、地方ハ其負擔ニ堪ヘズシテ、遂ニ農村ノ財政ノ基礎ヲ紊スニ至リタ處ガアル、三土君ノ此意見ハ左様デアリマス、若シ三土君ノ此說ヲシテ是ナリトスレバ、中央政府ノ事務ニ對シテ、地方ガ宜シト云フ結論ニナル、政友會總裁田中君ノ說ノ如クンバ、若シ今ノ政府ノシテ居ル仕事ハ中央集權デアルガ故ニ、之ニ地方自治ノ發達ヲ助長スルガ爲ニ、此仕事ヲ地方ニ移スト云フ趣意デアレバ、茲ニ始メテ地方ニ向テ財源提供ノ必要ガアルノデアリマス、如何ナル事務ヲ移スカト云フコトヲ前提トシテ此議論ヲ立テルガ宜シイト私ハ斯様ニ考ヘマス、地租委譲ノ今ノ地租ガ國稅トシテ不當デアル、地方ノ應能主義、應益主義カラ見テ地租ハ之ヲ地方ニ委譲スルノ適當ナリト云フ(懲罰懲罰ト呼ビ其他發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君) 御清聴ヲ願ヒマス
○町田忠治君(續) 現在ノ地租ハ不公平ヲ極ムルガ故ニ、之ヲ賃貸價格ニ依テ改正スルノ主義ハ、恐ラクハ滿場諸君御異議ガアリマス、唯、之ヲ中央政府ニスルカ、之ヲ地方自治團體ニ委セルカ、何レガ公平デアルカト云フコトニ對シテハ、議論兩様ニ分レテ居リマス、吾々ハ中央政府ノ下ニ之ヲ統一シテ、賃貸價格ニ依テ地租ヲ定ムルコトヲ公平トシテ居ルニ對シテ、政友會諸君ハ此地租ヲ地方ニ委譲シテ、應益主義ニ依テ町村ソレトニ依テ修正ヲスルト云フコトヲ是トセラレ主張デアリマス、此議論ニ對シテハ、事微稅技術ニ關スルガ故ニ、私ハ之ヲ他ノ我ガ同僚諸君ノ說明ニ讓テ私ハ之ヲ略シマス、第三ハ地租委譲ノ財源ニ付テハ、地租委譲ノ財源ニ付キマシテハ、過日提案者タル三土君ガ此議場ニ於キマシテ七千四百萬圓ノ地

租委譲ノ財源ノ大綱ヲ示サレマシタ、吾々ハ委員會ニ於キマシテモ政友會諸君ニ向テ、地租委譲ニ對スル、——因テ生ズル國庫ノ缺陷七千四百萬圓ハ、如何ナル財源ニ依テ之ヲ補填スルカト云フ質問ニ對シテ、政友會ノ三土君ハ明白ナル答辯ヲ與ヘマセヌ(拍手)地租ヲ地方ニ委譲スル爲ニ、國庫ニ生ズル七千數百萬圓ノ缺陷ハ如何ナル方法ニ依テ之ヲ補填スルカ、之ヲ補填スル財源無クシテ、徒ニ吾々ハ此地租委譲ニ同意スルコトハ出來ナイ(拍手)三土君ハ或ハ曰ク、政府案ノ多クヲ是認スレバ、茲ニ二千萬圓位ノ財源ガ出サウダト云フ本會ニ於テノ說明ガアリマシタ、若シ二千萬圓位ノ財源ガ出ルトスルナラバ、所得稅其他政府ノ諸案ヲ是認シナレバ茲ニ生ゼヌノデアリマス、之ヲ委員會ニ於テ三土君ニ御尋スル、三土君ハ我黨ノ態度未ダ決セヌカラ、此二千萬圓ハ出ルカ出ナイカハ此席ニ於テ言明出來ヌト云ハレタ(拍手)確ニ左様デアリマス、然シテ殘ル五千萬圓ハ如何ニスルカト云フ問題ニ對シテハ、其内ノ三、四千萬圓ハ關稅ニ依テ之ヲ得、其殘部ハ行政整理ニ依テ此政府ガ昨年作リマシタ恆久的財源六千七百萬圓ノ一部ヲ割イテ之ニ充テルト斯ウ答ヘラレタ、或時ニハ又斯様ニ答ラレルヤウニ見エ、政府ノ案ヲ贊成スルコトヲ保留スル以上ハ、關稅ノ收入ニ依テ四千萬圓ヲ得、殘ル三千万圓ハ行政整理ニ依テ得タル所ノ恆久的財源ヲ以テ之ニ充テ、斯様ニ意味ニ說カレテアリマス、(拍手)三土君ガ先刻此席ニ述べラレタル如ク、政府ノ關稅ニ依テ得タル收入ヲ増稅減稅、此稅制整理ノ以外ニ置クト云フコトハ議論ノ餘地ガアリマス、議論ノ餘地ガアリマスガ、政府ハ關稅ノ改正ニ依テ得タル收入ヲ此稅制整理ノ財源ニ致サンコトハ現内閣ノ方針デアリマス、之ニ對シテ三土君ハ此度ノ關稅改正ニ依テ一千九百萬圓ヲ得タナラバ、之ヲ此度ノ稅制整理ノ財源ノ一部ニ入レテ宜シイデハナイカト云フ先刻御意見ガアリマシタ、此御意見ハ見様ニ依テ雙方必シモ何レガ是、何レガ非

ト言ハレヌ、各見ル所、其立テ方ニ依テハ雙方ノ議論ハ成立ツト私ハ公平ニ左様ニ考ヘマス、併ナガラ政府ノ今日ノ計畫ニ依レバ、今年關稅ニ依テ得タル所ノ七百五十萬圓ハ、既ニ今年ノ豫算ニ見積テアリ、將來平年度ニ於テ得ラレル所ノ一千九百萬圓ハ、今日以後ノ財政計畫ニ既ニ入レテアルガ故ニ、之ヲ省キマシタノデアリマス、三土君ハ過日ノ委員會ニ於テ、吾々ノ質問ニ答辯セラレ、關稅ノ收入ハ、此度ノ關稅改正ニ依テ得ラレル收入ハ政府ノ見積ル如ク一千九百萬圓ノ如キ少額デナシ、恐ラクハ四千萬圓ニ達スルダラウト云フ御說明デアリマシタガ故ニ、吾々委員カラ御尋ヲシタ、政府ノ此原案ニ依テ果シテ四千萬圓ノ關稅ガ得ラレルカト再ビ質問致シタニ對スル其答辯ニ於テハ、政府ノ見積ルハ低ク見ル所モアル、加フルニ政友會ハ國內產業ヲ保護スル意味ヲ以テ、政府案ヨリモ更ニ重ク稅ヲ課シテ、四千萬圓ノ收入ヲ取ル見込デアルト云フ御答辯デアリマシタ、吾々ハ關稅ノ改正ニ依テ一千九百萬圓ヲ得ルト云フノハ、收稅ノ目的ニ國庫ノ收入ヲ圖ル目的デナイ、内地產業ヲ保護スルノ結果トシテ茲ニ收入ヲ得タコト、云フコトニハ御同感デアリマス、但シ目下關稅改正ノ委員會議ニ際シ、政友會諸君ハ政友會諸君ノ見ル所ニ依テ、四千萬圓ノ增收ヲ關稅ニ依テ得ラレル修正案ヲ何故ニ提出セラレヌカヲ疑フノデアリマス(拍手、發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
○町田忠治君(續) 更に最後ノ三土君ノ(關稅ハ後)ト呼フ者アリ關稅ハ後カモ知レヌ、併ナガラ地租委譲ノ財源トシテ政友會ハ唱ヘテ居ル、政友會ガ地租委譲ノ財源トシテ之ヲ出シテ居ル、殘ル三千万圓ハ政友會諸君、殊ニ三土君ハ是ハ昨年ノ行政整理ニ依テ得タル所ノ六千七百萬圓ノ恆久的財源ヲ割イテ之ニ充テルト申サレマス、吾々ハ昨年来、此席ニ於テ吾々同志並ニ政府當局者カラ申上ゲタ如ク、若シ震災微リセバ、吾々ハ行政整理ニ依テ得タル所ノ千五百萬圓ノ恆久的財源及事業繰延ノ中、

其幾分ヲ平素主張シテ居ル所ノ國庫ノ地租二分減其他國稅ノ輕減ニ充テ、從來ノ旗印ヲ實行シ得タノハ勿論デアリマス、唯、不幸ナル震災ハ我が國庫ノ一面ニ於テ歲入ヲ減ジ、一面著シク歳出ヲ増加シマシタ、諸君、御承知ノ如ク是ガ爲ニ二年々二億數千萬圓ノ歳出ヲ増加スルノ已ムヲ得ザルニ至リタガ爲ニ、吾々ノ常ニ主張シテ居ル所ノ減稅ノ財源ヲ之ニ用ヒルニアラザレバ、震災ノ復興復舊ニ對シテ増稅若クハ公債ヲ募集スルノ已ムヲ得ザルニ至ルガ故ニ、之ヲ避クルガ爲ニ減稅ノ主張ヲバ之ヲ暫ク延バシテ、行政財政ノ整理ニ依テ得タル財源ヲ之ニ充テタノデアリマス(拍手)政友會ノ三土君ハ先刻政府ノ稅整理案ハ、關稅其他ニ於テ凡ソ一億萬圓近イ增收ガアルカノ如ク御說明デアリマス、政府ガ主張スル所ハ左様デアリマス、茲ニ八千數百萬圓ノ收入ヲ新ニ得テ、千數百萬圓ノ減稅ヲ行フ、是ガ政府提案ノ趣意ノ大要デアリマス、之ニ對シテ政友會諸君ガ、政府ノ提案ノ如クンバ關稅其他ニ於テ八千萬圓、關稅ニ於テ二千萬圓、凡ソ一億萬圓近イモノガ政府ノ見積リヨリモ多イト云フノハ先刻三土君ノ御主張デアリマス、是ハ今後ノ實績ニ依ルニアラザレバ分リマセヌ、政友會ノ諸君ガ政府ニ在リテ豫算ヲ編成セラル、場合ニモ、前年度ノ實績ニ照シテ本年度ノ歳入ヲ見積ルノハ當然デアル、吾々ハ政府ガ昨年ノ實績ニ依リ、且ツ茲ニ率ヲ變更シタ所ノ關係ヲ取捨シテ此所ニ現ハシタ所ノ、八千數百萬圓ノ一面ニ於ケル增收ヲ是認シ、一面ニ於テ幾千萬圓ノ減稅ヲ認ムルノ外ハアリマセヌ、或ハ三土君ノ先刻ノ御說明ハ左様デナイカ知レヌガ、斯様ナ大キナ收入ガアルガ故ニ、之ヲ以テ地租委譲ノ財源ガ出來ルカノ如クニモ解釋セラレタ節モアリマス、併シハ此增收ガアルガ爲ニ、之ヲ以テ地方ニ委譲セヨト云フ的確ナル御意見デナカッタ、要スルニ政友會諸君ノ地租委譲ハ、地方分權ニ出發シテ地方ノ稅制ヲ整理スルノ便、及農民其他地方民ノ負擔ヲ輕減スルノ趣意ニ依テ地租ヲ地方ニ委譲スルト云

其幾分ヲ平素主張シテ居ル所ノ國庫ノ地租二分減其他國稅ノ輕減ニ充テ、從來ノ旗印ヲ實行シ得タノハ勿論デアリマス、唯、不幸ナル震災ハ我が國庫ノ一面ニ於テ歲入ヲ減ジ、一面著シク歳出ヲ増加シマシタ、諸君、御承知ノ如ク是ガ爲ニ二年々二億數千萬圓ノ歳出ヲ増加スルノ已ムヲ得ザルニ至リタガ爲ニ、吾々ノ常ニ主張シテ居ル所ノ減稅ノ財源ヲ之ニ用ヒルニアラザレバ、震災ノ復興復舊ニ對シテ増稅若クハ公債ヲ募集スルノ已ムヲ得ザルニ至ルガ故ニ、之ヲ避クルガ爲ニ減稅ノ主張ヲバ之ヲ暫ク延バシテ、行政財政ノ整理ニ依テ得タル財源ヲ之ニ充テタノデアリマス(拍手)政友會ノ三土君ハ先刻政府ノ稅整理案ハ、關稅其他ニ於テ凡ソ一億萬圓近イ增收ガアルカノ如ク御說明デアリマス、政府ガ主張スル所ハ左様デアリマス、茲ニ八千數百萬圓ノ收入ヲ新ニ得テ、千數百萬圓ノ減稅ヲ行フ、是ガ政府提案ノ趣意ノ大要デアリマス、之ニ對シテ政友會諸君ガ、政府ノ提案ノ如クンバ關稅其他ニ於テ八千萬圓、關稅ニ於テ二千萬圓、凡ソ一億萬圓近イモノガ政府ノ見積リヨリモ多イト云フノハ先刻三土君ノ御主張デアリマス、是ハ今後ノ實績ニ依ルニアラザレバ分リマセヌ、政友會ノ諸君ガ政府ニ在リテ豫算ヲ編成セラル、場合ニモ、前年度ノ實績ニ照シテ本年度ノ歳入ヲ見積ルノハ當然デアル、吾々ハ政府ガ昨年ノ實績ニ依リ、且ツ茲ニ率ヲ變更シタ所ノ關係ヲ取捨シテ此所ニ現ハシタ所ノ、八千數百萬圓ノ一面ニ於ケル增收ヲ是認シ、一面ニ於テ幾千萬圓ノ減稅ヲ認ムルノ外ハアリマセヌ、或ハ三土君ノ先刻ノ御說明ハ左様デナイカ知レヌガ、斯様ナ大キナ收入ガアルガ故ニ、之ヲ以テ地租委譲ノ財源ガ出來ルカノ如クニモ解釋セラレタ節モアリマス、併シハ此增收ガアルガ爲ニ、之ヲ以テ地方ニ委譲セヨト云フ的確ナル御意見デナカッタ、要スルニ政友會諸君ノ地租委譲ハ、地方分權ニ出發シテ地方ノ稅制ヲ整理スルノ便、及農民其他地方民ノ負擔ヲ輕減スルノ趣意ニ依テ地租ヲ地方ニ委譲スルト云

其幾分ヲ平素主張シテ居ル所ノ國庫ノ地租二分減其他國稅ノ輕減ニ充テ、從來ノ旗印ヲ實行シ得タノハ勿論デアリマス、唯、不幸ナル震災ハ我が國庫ノ一面ニ於テ歲入ヲ減ジ、一面著シク歳出ヲ増加シマシタ、諸君、御承知ノ如ク是ガ爲ニ二年々二億數千萬圓ノ歳出ヲ増加スルノ已ムヲ得ザルニ至リタガ爲ニ、吾々ノ常ニ主張シテ居ル所ノ減稅ノ財源ヲ之ニ用ヒルニアラザレバ、震災ノ復興復舊ニ對シテ増稅若クハ公債ヲ募集スルノ已ムヲ得ザルニ至ルガ故ニ、之ヲ避クルガ爲ニ減稅ノ主張ヲバ之ヲ暫ク延バシテ、行政財政ノ整理ニ依テ得タル財源ヲ之ニ充テタノデアリマス(拍手)政友會ノ三土君ハ先刻政府ノ稅整理案ハ、關稅其他ニ於テ凡ソ一億萬圓近イ增收ガアルカノ如ク御說明デアリマス、政府ガ主張スル所ハ左様デアリマス、茲ニ八千數百萬圓ノ收入ヲ新ニ得テ、千數百萬圓ノ減稅ヲ行フ、是ガ政府提案ノ趣意ノ大要デアリマス、之ニ對シテ政友會諸君ガ、政府ノ提案ノ如クンバ關稅其他ニ於テ八千萬圓、關稅ニ於テ二千萬圓、凡ソ一億萬圓近イモノガ政府ノ見積リヨリモ多イト云フノハ先刻三土君ノ御主張デアリマス、是ハ今後ノ實績ニ依ルニアラザレバ分リマセヌ、政友會ノ諸君ガ政府ニ在リテ豫算ヲ編成セラル、場合ニモ、前年度ノ實績ニ照シテ本年度ノ歳入ヲ見積ルノハ當然デアル、吾々ハ政府ガ昨年ノ實績ニ依リ、且ツ茲ニ率ヲ變更シタ所ノ關係ヲ取捨シテ此所ニ現ハシタ所ノ、八千數百萬圓ノ一面ニ於ケル增收ヲ是認シ、一面ニ於テ幾千萬圓ノ減稅ヲ認ムルノ外ハアリマセヌ、或ハ三土君ノ先刻ノ御說明ハ左様デナイカ知レヌガ、斯様ナ大キナ收入ガアルガ故ニ、之ヲ以テ地租委譲ノ財源ガ出來ルカノ如クニモ解釋セラレタ節モアリマス、併シハ此增收ガアルガ爲ニ、之ヲ以テ地方ニ委譲セヨト云フ的確ナル御意見デナカッタ、要スルニ政友會諸君ノ地租委譲ハ、地方分權ニ出發シテ地方ノ稅制ヲ整理スルノ便、及農民其他地方民ノ負擔ヲ輕減スルノ趣意ニ依テ地租ヲ地方ニ委譲スルト云

其幾分ヲ平素主張シテ居ル所ノ國庫ノ地租二分減其他國稅ノ輕減ニ充テ、從來ノ旗印ヲ實行シ得タノハ勿論デアリマス、唯、不幸ナル震災ハ我が國庫ノ一面ニ於テ歲入ヲ減ジ、一面著シク歳出ヲ増加シマシタ、諸君、御承知ノ如ク是ガ爲ニ二年々二億數千萬圓ノ歳出ヲ増加スルノ已ムヲ得ザルニ至リタガ爲ニ、吾々ノ常ニ主張シテ居ル所ノ減稅ノ財源ヲ之ニ用ヒルニアラザレバ、震災ノ復興復舊ニ對シテ増稅若クハ公債ヲ募集スルノ已ムヲ得ザルニ至ルガ故ニ、之ヲ避クルガ爲ニ減稅ノ主張ヲバ之ヲ暫ク延バシテ、行政財政ノ整理ニ依テ得タル財源ヲ之ニ充テタノデアリマス(拍手)政友會ノ三土君ハ先刻政府ノ稅整理案ハ、關稅其他ニ於テ凡ソ一億萬圓近イ增收ガアルカノ如ク御說明デアリマス、政府ガ主張スル所ハ左様デアリマス、茲ニ八千數百萬圓ノ收入ヲ新ニ得テ、千數百萬圓ノ減稅ヲ行フ、是ガ政府提案ノ趣意ノ大要デアリマス、之ニ對シテ政友會諸君ガ、政府ノ提案ノ如クンバ關稅其他ニ於テ八千萬圓、關稅ニ於テ二千萬圓、凡ソ一億萬圓近イモノガ政府ノ見積リヨリモ多イト云フノハ先刻三土君ノ御主張デアリマス、是ハ今後ノ實績ニ依ルニアラザレバ分リマセヌ、政友會ノ諸君ガ政府ニ在リテ豫算ヲ編成セラル、場合ニモ、前年度ノ實績ニ照シテ本年度ノ歳入ヲ見積ルノハ當然デアル、吾々ハ政府ガ昨年ノ實績ニ依リ、且ツ茲ニ率ヲ變更シタ所ノ關係ヲ取捨シテ此所ニ現ハシタ所ノ、八千數百萬圓ノ一面ニ於ケル增收ヲ是認シ、一面ニ於テ幾千萬圓ノ減稅ヲ認ムルノ外ハアリマセヌ、或ハ三土君ノ先刻ノ御說明ハ左様デナイカ知レヌガ、斯様ナ大キナ收入ガアルガ故ニ、之ヲ以テ地租委譲ノ財源ガ出來ルカノ如クニモ解釋セラレタ節モアリマス、併シハ此增收ガアルガ爲ニ、之ヲ以テ地方ニ委譲セヨト云フ的確ナル御意見デナカッタ、要スルニ政友會諸君ノ地租委譲ハ、地方分權ニ出發シテ地方ノ稅制ヲ整理スルノ便、及農民其他地方民ノ負擔ヲ輕減スルノ趣意ニ依テ地租ヲ地方ニ委譲スルト云

其幾分ヲ平素主張シテ居ル所ノ國庫ノ地租二分減其他國稅ノ輕減ニ充テ、從來ノ旗印ヲ實行シ得タノハ勿論デアリマス、唯、不幸ナル震災ハ我が國庫ノ一面ニ於テ歲入ヲ減ジ、一面著シク歳出ヲ増加シマシタ、諸君、御承知ノ如ク是ガ爲ニ二年々二億數千萬圓ノ歳出ヲ増加スルノ已ムヲ得ザルニ至リタガ爲ニ、吾々ノ常ニ主張シテ居ル所ノ減稅ノ財源ヲ之ニ用ヒルニアラザレバ、震災ノ復興復舊ニ對シテ増稅若クハ公債ヲ募集スルノ已ムヲ得ザルニ至ルガ故ニ、之ヲ避クルガ爲ニ減稅ノ主張ヲバ之ヲ暫ク延バシテ、行政財政ノ整理ニ依テ得タル財源ヲ之ニ充テタノデアリマス(拍手)政友會ノ三土君ハ先刻政府ノ稅整理案ハ、關稅其他ニ於テ凡ソ一億萬圓近イ增收ガアルカノ如ク御說明デアリマス、政府ガ主張スル所ハ左様デアリマス、茲ニ八千數百萬圓ノ收入ヲ新ニ得テ、千數百萬圓ノ減稅ヲ行フ、是ガ政府提案ノ趣意ノ大要デアリマス、之ニ對シテ政友會諸君ガ、政府ノ提案ノ如クンバ關稅其他ニ於テ八千萬圓、關稅ニ於テ二千萬圓、凡ソ一億萬圓近イモノガ政府ノ見積リヨリモ多イト云フノハ先刻三土君ノ御主張デアリマス、是ハ今後ノ實績ニ依ルニアラザレバ分リマセヌ、政友會ノ諸君ガ政府ニ在リテ豫算ヲ編成セラル、場合ニモ、前年度ノ實績ニ照シテ本年度ノ歳入ヲ見積ルノハ當然デアル、吾々ハ政府ガ昨年ノ實績ニ依リ、且ツ茲ニ率ヲ變更シタ所ノ關係ヲ取捨シテ此所ニ現ハシタ所ノ、八千數百萬圓ノ一面ニ於ケル增收ヲ是認シ、一面ニ於テ幾千萬圓ノ減稅ヲ認ムルノ外ハアリマセヌ、或ハ三土君ノ先刻ノ御說明ハ左様デナイカ知レヌガ、斯様ナ大キナ收入ガアルガ故ニ、之ヲ以テ地租委譲ノ財源ガ出來ルカノ如クニモ解釋セラレタ節モアリマス、併シハ此增收ガアルガ爲ニ、之ヲ以テ地方ニ委譲セヨト云フ的確ナル御意見デナカッタ、要スルニ政友會諸君ノ地租委譲ハ、地方分權ニ出發シテ地方ノ稅制ヲ整理スルノ便、及農民其他地方民ノ負擔ヲ輕減スルノ趣意ニ依テ地租ヲ地方ニ委譲スルト云

フ、一種ノ御議論トシテハハ拜聴スルコト
ガ出來ル、併ナガラ若シ之ヲ地方ニ委譲ス
ルトスレバ、三土君其他政友會諸君ガ之ニ
向テ的確ナル財源ヲ示スニ非ザレバ、殆ド
ハ机上ノ空論トシテ茲ニ論ズル必要ハア
リマセヌ、私ハ茲ニ一轉シマシテ、吾々ガ
吾々ヲ基礎トシテ出來タ現内閣ノ政策トシ
テ、茲ニ出サレタ所ノ諸稅整理案ノ中デ、
一二主ナルモノニ向テ修正ヲ加ヘ、茲ニ
修正案トシテ現レタモノニ對シテ、幾分吾
吾從來ノ主張ト違フ點ヲ拾テ、茲ニ一致點
ニ向テ贊成ヲ表スル、其趣意ヲ明ニスルト
云フコトハ、吾々憲政會トシテハ、國民ニ
向テ明ニスル必要ガアルト思フ(拍手)御
承知ノ如ク此度ノ稅制整理案ニ於テ、政友
本黨ノ主張サレタ主ナル旗印ハ三ツアリマ
ス、第一ハ所得稅第一種、第二種所得稅ノ
關係及第二種第三種ニ綜合シテ、茲ニ千
數百萬圓ノ財源ヲ得テ、之ヲ義務教育費國
庫支辨分擔金二千萬圓ヲ増加スルノ財源ニ
充テルノハ、一ツノ政友本黨ノ旗印デアリ
マシタ、而シテ我ガ憲政會ノ主張ニ基ク政
府案ノ一分減ヲ政友本黨ハ暫ク之ヲ見合
セテ、其財源千二百萬圓ヲ以テ、茲ニ私
ハ訂正致シマス、一分減ニ依テ得タル九
百六十萬圓、此財源ト所得稅ニ依テ得タ
ル所ノ千數百萬圓ヲ得テ、此合計二千三四
百萬圓ノ中二千萬圓ヲ義務教育費ニ充テ、
残り三四百萬圓ヲ自作農免除、吾々政府
ノ主張シテ居ル二百圓以下免除ニ依テ得
タル所ノ千二百萬圓ヲ加ヘテ、千五、六百
萬圓トシ、之ヲ自作農全部免稅ニシタイト
云フコトハ政友本黨諸君ノ旗印ノ一ツデア
リマス、モウ一ツハ吾々ハ此點ニ對シテ屢
政友本黨ノ諸君ト協議ノ末、茲ニ時局收拾
ノ意味ヲ以テ……

〔此時發言スル者アリ〕
○議長(粕谷義三君) 原君ニ御注意致シマ
ス
○町田忠治君(續) 根本政策ニ於テ其主張
ヲ同ジウスルガ爲ニ、吾々ガ從來主張シテ
居リマシタ一分減ノ此主張ヲバ、義務教育
費一千萬圓増加ニ向テ譲リマシテ、政友

本黨諸君ハ義務教育費二千萬圓ノ増加ヲ一
千萬ニ止ムルト修正サレタノデアリマス、
而シテ一分減ニ依テ地方ノ農民ニ與ヘル
所ノ利益ト、義務教育費一千萬圓ニ依テ
地方民ニ與ヘル利益ハ、殆ド大差ナキコト
ハ先刻大藏大臣ガ統計ニ依テ示サレタガ
故ニ、私ハ茲ニ再ビ申上ゲマセヌ、唯、政
友會諸君、殊ニ三土君ハ吾々ガ從來營業稅
ノ減稅、若クハ營業稅ヲ全廢シテ營業收益
稅ヲ起シ、從來ノ營業稅ニ向テ二千數百
萬圓ヲ減ズルト云フ從來ノ旗印、及地租二
分減ヲシテ茲ニ二千數百萬圓ヲ減ズルト云
フ從來ノ旗印ガアルニ拘ラズ、營業稅ハ加
藤友三郎内閣ニ於テ千九百萬圓ヲ減ジ、此
度ノ營業收益稅ニ於テ千四百萬圓ヲ減ジタ
爲ニ、是ハ姑ク措クモ、從來主張シテ居ル
所ノ地租二分減ヲ一度ハ之ヲ一分ニ減ジ、
更ニ之ヲ再ビ減ジテ其主張ヲ抛ツノハ如何
デアルカト云フ御質問デアリマス、吾々ハ
政友本黨ト妥協スルガ爲ニ此一分減ヲ拾テ
タノデアリマセヌ、此點ハ政友會諸君モ
十分御考ヲ願ヒタイ、吾々ハ從來地租二分
減ヲ主張シテ居リタコトニハ相違アリマセ
ヌ、今去ルコト七八年前ヨリ之ヲ主張シ
テ居リマス、然ルニ震災ノ結果我ガ國庫ノ
財政狀態ニ容易カラザル變化ヲ來シタガ爲
ニ、暫ク之ヲ見合セマス同時ニ、近年社
會ノ一般ノ情勢頗ル變化ヲシテ、人心容易
カラズ、思想ノ上ニ於テモ動搖ヲ來ス惧ガ
アルト見タノデアリマス、此故ニ吾々ハ社
會政策ニ基イテ、中産階級以下庶民階級ニ
向テ生活ノ安定ヲ圖ルガ爲ニ、茲ニ千九百
萬圓ノ減稅中、七千數百萬圓ハ主トシテ之
ヲ社會的政策ノ見地ニ依テ居ルノデ
アリマス、地租一分減ヲ廢シテ、社會政
策の見地カラ之ヲ庶民階級ノ生活ノ安定ニ
用ヒタイト云フコトガ、若シ一分減ノ旗印
ヲ變ヘタト云フ御非難デアッタナラバ、此非
難ハ吾々ハ甘シジテ之ヲ受ケルト同時ニ、
此財源ハ多數庶民階級ノ生活ノ安定ニ向
テ用ヒタイト云フコトヲ言明致シマス(拍手)
若シ此度ノ一分減九百萬圓ヲ以テ、始めテ
吾々ハ從來ノ旗印ヲ拾テタト云フ御非難デ

アレバ、左様デアリマセヌ、政友本黨ト此
度ノ一致點ヲ見出ス前ニ、早ク既ニ我自ラ、
他ニ關係ナク、此一分減ヲ社會政策方面ニ
用ヒタイト云フコトヲ茲ニ言明シテ置キマス
(拍手)更ニ茲ニ此一致點ヲ政友本黨、新正
俱樂部ノ諸君ト共ニ……

〔此時發言スル者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ

○町田忠治君(續) 政友本黨、新正俱樂部
ノ諸君ト共ニ十分ナル研究ヲ遂ゲテ、茲ニ
一致點ヲ見出シタト云フコトニ對シテ、今
一言申上ゲテ置キタイコトガアル、ソレハ
地租條例中自作農免除ノ趣意デアリマス、
吾々ノ主張ハ徵稅技術ノ上カラ之ヲ地價二
百萬圓以下トセザレバ、其財源ノ確ナル見
積リガ出來ナイ、而シテ之ヲ總計千二百萬
圓ヲ限度トスルニアラザレバ、現内閣及我
黨ノ執テ居ル財政計畫ノ一角ヲ打崩ス虞
ガアル故ニ、政友本黨ノ諸君ハ、更ニ此一
千二百萬圓ニ向テ數百萬圓ヲ加ヘテ、自作
農全部ニ向テ免稅ヲスルト云フ、熱烈ナ
ル御希望ガアリシニ拘ラズ、吾々ハ財政計
畫ノ基礎ニ聊カタリトモ傷クルコトノ困難
ナルヲ思ヒ、政友本黨諸君ニ向テ地價二
百萬圓ト云フ限度ト、總計千二百萬圓ト云フ
最上限ノ範圍内ニ於テ、自作農ニ向テ免
除スルト云フ、政友本黨諸君ノ同意ヲ得タ
コトハ、吾々ハ深ク茲ニ政友本黨諸君ノ宏
量ヲ謝セザルヲ得ヌト思フ、デアリマス、
最後ニ一言シテ置キマスノハ、三土君
ハ憲政會内閣ガ從來減稅ヲ主張スルニ拘ラ
ズ、此度何等減稅ノ主張ナキノミナラズ、
從來ノ主張ヲ拾テタト云ハレマシタガ、此
原因ハ吾々ハ遺憾ナガラ、之ヲ一昨々年ノ
震災善後問題ニ歸スルモノデアアル、併シ若
シ此問題ヲ別ニシテ、何故ニ平生主張シテ
居ル所ノ減稅ノ旗印ヲ實行セナカッタカト
云ヘバ、茲ニ一言申シタイコトガアル、ソ
レハ我ガ憲政會コソ與ガリ關セヌガ、歴代
ノ内閣ガ放漫政策ヲ執テ其結果ガ此ニ至
タノデアアル、若シ的確ナル……(此時發言
スル者多シ)

○町田忠治君(續) 若シ的確ナル一例ヲ舉
グヨト云フナラバ、臨時國庫證券五億圓ノ
始末ニ對シテ、從來ノ内閣ガ此五億ノ償還
ニ對スル財政計畫ガ付ケテアッタナラバ、
又今日ノ議會ニ現レテ居ル所ノ、對支借款
ノ今日ノ如キ不都合ナル始末ガ來ルト云フ
コトヲ知ッテ居リタナラバ、若シ從來ノ内閣
ガ、此財政計畫ノ上ニ於テ、此整理ヲ致シ
テ居リタナラバ、茲ニ三三三三三三三三三
恆久の財源ヲ生ジテ、之ニ依テ地租二分
ヲ減ズルガ如キハ易々タルモノデアリマ
ス、恐ラクハ政友會諸君ハ……

〔此時發言スル者多シ〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○町田忠治君(續) 政友會諸君ハ吾々ガ地
租二分減ノ旗印ヲ拾テタト云フコトニ對シテ
攻撃セザレルナラバ、顧ミテ政友會諸君ガ
直接ニ責任ヲ執リ、若クハ間接ニ援助ヲシ
タ内閣ニ依テ、何故ニ斯カル不始末ガ貽
サレテ居ルカト云フコトヲ顧ミラレルガ宜
カラウ、私ハ茲ニ大體ノ趣意ヲ述ベ、他ノ
詳細ハ之ヲ同僚ニ讓テ此席ヲ退キマス

○議長(粕谷義三君) 武藤金吉君

〔武藤金吉君登壇〕

○武藤金吉君 諸君、私ハ教育費ヲ除ク委
員長ノ報告ニ反對ヲシ、我ガ政友會ノ提出ニ
係ル地租委議案、即チ市町村地租法、並
ニ市町村地租法施行ニ關スル法律案、此
二案ヲ支持スル者デアリマス、委員長ノ報
告ノ中ノ教育費ノ三千萬圓増加ニ付テハ、
委員長ノ報告ノ趣旨ニ賛成デハナイノデア
リマス、委員長ノ報告ハ、從來ノ我黨ノ主
張シテ來タル所ノ方針ト合致スルガ爲ニ、三
千萬圓ニ賛成スルノデアリマス、我黨ハ多
年小學校教員俸給ノ補助ハ、半額主義ヲ主
張シテ參ッタノデアリマス、二千萬圓ヲ主
張シタル時代ニ於テハ、一億二千萬圓デア
タノデアリマス、今ヤ十三年度ノ表ヲ見マ
スレバ、一億三千八百萬圓ニナリ、更ニ十
四年度ノ表ヲ點檢シマスレバ、此三千萬圓
トナルノデアアルカラシテ、何モハ諸君ノ
妥協符合ニ迫隨シテ參ルノデアアリマセ
ヌ、吾々ハ我黨ノ主張ト合致スルカラ、教

費一千萬圓増加ニ向テ譲リマシテ、政友

本黨諸君ハ義務教育費二千萬圓ノ増加ヲ一

アレバ、左様デアリマセヌ、政友本黨ト此

○町田忠治君(續) 若シ的確ナル一例ヲ舉

有費補助ニ付テハ、此意味ニ於テ賛成シタ
ノデアリマス(拍手)政府提案ノ國稅及地方
稅ノ整理案ニ付テハ、既ニ一般方針ニ於テ
政府當局ノ計畫ヲ誤タモノアルコトヲ認
メマス故ニ、特別委員會ニ於テ審議ヲ重ヌ
ルニ付テモ、其立法ノ甚ダ杜撰極マル理論
實行上ト相合ハナイ缺點ガ、多數發見セラ
レタルノミナラズ、洵ニ其數字ノ上ニ於テ
モ、政府ガ期待シタル所ノ第一ノ目的デア
ル社會政策ノ價值ニ至ラズ、全然其實ヲ
失タデハアリマセヌカ、斯ノ如ク誤タ根
本方策ニ於テ、杜撰極マル立法計畫ヲ、國
家及地方ノ公共團體ニ行ハントスルガ如キ
ハ、抑、財政上ノ重要政策トシテ、稅制ノ
改革ヲ敢テ行ハントスルガ如キハ、國家存
立ノ上、甚ダ吾々ハ其基礎ヲ危ウスルモノ
デアルト云フコトヲ認メル者デアリマス、
國民納稅負擔ノ甚シキ不公平ヲ招イテ、延
テハ國民經濟ノ順調ヲ破リ、思想ヲ惡化ス
ルニ至ルコトハ、此法律案ニ於テ必然ナリ
ト考ヘルノデアリマス、凡ソ國ノ稅制制度
ヲ變革セントスルニ當テハ、既往財政ノ事
績ニ鑑ミ、國民ノ輿望ニ聽キ——現内閣ハ
能ク國民ノ輿望ニ聽イタノデアリマス、
又現在及將來ニ於ケル所ノ財政事情ノ必要
ヲ能ク察シテ此案ヲ立タシテアリマス、
諸君、國民經濟ノ狀況ト思想ト趨向ヲ能ク
看取シテ、是ニ於テ稅制整理ヲヤルナレバ、
洵ニ今日ノ政府案ノ出シタヤウナ大失
態ハナカッタラウト思フノデアリマス、第
一國民一般ノ負擔ヲ輕減スルニ努ムルト云
フコトガ、憲政會及濱口君ノ多年ノ主張デ
ハアリマセヌカ、然ルニ稅制整理計畫ヲ立
ツルニ於テ、諸君ノ主張デアッテ、最も大
切ナル所ノ必要要件デアアル負擔ノ輕減ハ、
何レノ所ニ現レテ居リマス、諸君、政府
ハ先ヅ以テ此ニ思フ致サナカッタト云フコ
トハ、政府自ラモ遺憾ヲ感ジテ居ルコト、
思フノデアアル、諸君、顧ミレバ大正九年ノ
所得稅及酒稅等ノ増稅ノ改正ハ、歐羅巴大
戰ニ關聯スル國防充實ノ必要ニ於テ行ハレタ
ルモノデアアル、然ルニ世界大戰後ニ於ケル文
明列強ハ、平和ノ希望ガ各國共ニ準備ノ縮小

ヲ締盟シ、今ヤ之ヲ實行スルニ至ラノデア
テ、財政ノ點カラ見マシテモ、我が帝國ニ
於テノ國費ノ減少スルハ、舉ゲテ國民負擔
ノ租稅輕減ニ充テナケレバナラヌト云フコ
トハ、何人モ考ヘナケレバナラヌ要諦デア
ル(拍手)然ルニ國防充實ノ必要ニ於テ増稅
シタ所得稅及酒稅等ハ、其必要ガ去ルニ及
ンデハ、今日之ヲ國民ニ返還スベキ道理デ
アルニモ拘ラズ、更ニ之ニ反シテ酒、煙草
ノ増稅ヲスルニ至ラト云フコトハ、單ニ
諸君ノ期待ヲ裏切ッテ、大藏大臣ノ所信ヲ
行フコトガ出來ナイバカリデハナイ、之ニ
正反對ノ事實ヲ現シテ居ルノデアリマセヌ
カ、歐羅巴大戰後ノ反動的財界ノ不況ハ、
未ダ國民ノ苦痛ヲ去ルコトガ出來マセヌ、
而モ今日ノ狀態ヲ以テスレバ、又果シテ何
レノ時ニカ此國民ノ苦痛ヲ去ルコトガ出來
レデアリマセヌ、此時ニ於テ政府ガ稅制
整理ノ一大要件トシテ、必ズヤ今日ノ時勢
ニ適應スベキ所ノ適當ノ減稅方策ヲ立テ、
以テ國民ニ臨ムデアラウト吾々ハ思フ
テ居タニ拘ラズ、納稅負擔ヲ輕減シ、國
民經濟ヲ調和シテ、産業ノ發達ヲ冀フ所ノ
法案ハ之ヲ見ルコト能ハズシテ、唯、僅ニ
歲入ニ著シキ増減ナキ範圍ニ於テ整理ヲス
ルト云フ計畫デアルト云フコトニ付テハ、
第一吾々ハ其發着點ヲ誤リ、方針ヲ誤、タ
モノデアルト謂ハナケレバナラヌ(發着點
カ)ト呼フ者アリ)出發點デアリマス、又發
着點共ニ誤、テ居ルノデアアル、諸君、政府
當局ハ此度ノ稅制整理ノ結果ハ、大正十五
年度ニ於テ約四千四百萬圓、平年度ニ於テ
約八百萬圓ノ減稅ニナルト云フコトノ豫算
ヲ示サレテ居ルノデアアル、然ルニ昨日妥協
ノ結果ハ、却テ百三十七萬六千圓ノ増稅ト
ナッタノデアリマス(拍手)増稅ト相成ッタノ
デアリマス、既ニ根本ニ於テ減稅ノ整理ノ
目的ヲ持タナカッタコトハ、政府當局モ之
ヲ否認スルコトハ出來ナイデアリマセウ、
其上ニ其計畫及方針ニ付キマシテハ、吾々
ノ主張トハ全部意見ガ違、テ居ル、而シテ
此度ノ妥協案ニ付テ見マスルト、政府ノ其
目的ヲ外レテ、始メニ聲明シタコト、全然

政府自身モ相容レナカッタト云フコトヲ自
覺サレタト思フノデアリマス、第二、我國
現行ノ稅制制度ハ、明治ノ維新以來國運ノ
發展ニ伴ヒテ、國家財政上ノ必要ヲ充スニ
急ナルガ爲ニ、租稅ノ體系ナドハ餘リ之ヲ
考慮シナカッタノデアアル、時ニ其甚ダ不當
ナルモノモ、敢テ之ヲ點檢スレバ國稅地方
稅ヲ通ジテ改革ノ必要ハ甚ダ澤山デアアル、
苟モ其改革ハ單ナル稅種目ノ改廢、創定
遺線、接ぎ割リヲシテ、到底満足スベキモ
ノデハナイト吾々ハ考ヘル、須ラク先ヅ國
稅地方稅等ノ根本の方針ヲ確定シテ、其
大方針ニ依リテ以テ適當ノ整理改善ヲ加フ
ベキモノデアリナカト考ヘル、本立ッテ道
生ズ、然ルニ此度ノ政府ノ整理ハ、根本的
方針ヲ確立ナキ整理改革デアアルガ爲ニ、遂
ニ失敗ニ終ラザルヲ得ナイ、遂ニ妥協ニ依
テ醜態ヲ暴露シ、大失敗ニ終ラザルヲ得
トヲ吾々ハ斷言シテ憚ナイノデアリマス
(拍手)然ルニ政府ハ今次ノ稅制整理ニ當リ
マシテ、直接國稅ニ付テハ、大體ニ於テ現
行ノ制度ヲ是認シ、其補修ノ整理ヲ爲スヲ
目的トシ、地方稅ニ付テハ、所謂應急ノ整
理ヲ目的トシタノデアリマス、何等其大方
針ノ計畫ト施設ノ實現ヲ見ナカッタコトヲ、
最モ吾々ハ遺憾トスル次第デアアル、而モ單
ニ遺憾トスルニ止マラズ、其根柢ナキ計畫
ニ於テ行ハレタル所得稅其他ノ改正案ハ、
徒ニ改廢創設ノ煩ヲ煩リニシテ、依然トシ
テ不完全ナル我國現行ノ國稅及地方稅ヲ其
儘——其餘弊ノ有ル儘ニ後年ニ送ラントス
ルガ如キハ、甚ダ吾々ハ残念ニ思フ次第デ
アリマス、從來現ニ間接稅ノ偏重、消費稅
過大ノ弊ガアルニモ拘ラズ、更ニ此度ハ酒
稅ト煙草稅ト大増稅ヲ行ヒ、此弊ヲ益大
ナラシメタノデアアル、直接國稅ニ付テハ、
所得稅ノ補完稅タル收益制度ノ補完ヲ期ス
ル目的ニ於テ、新ニ資本利子稅ヲ創設シ、
租稅營業稅ニ適當ナル改善ヲ加ヘントスル
モノナリト稱スルケレドモ、地租ニ於テ免
稅點ヲ設ケンツトスルガ如キハ、其趣旨ハ吾
吾ハ之ヲ諒ト致シマスルガ、地租ノ性質上
底免稅點ヲ設ケルト云フコトハ、地租ニ於

テ不當ナルモノデアルト謂ハネバナリマ
セヌ、何故ナレバ地租課稅ノ目的ニ遠ザカ
リ、負擔ノ公平ヲ害スルモノデアアルカラ、
或ハ營業稅ニ對スル國民非難ノ目ヲ巧ミニ
避クルガ爲ニ、此營業稅ヲ收益稅ニ直シタ
ノデアアル、收益稅ニ直シタ結果ハ、理論
並ニ實際上其收益稅タル所ノ稅種ニ屬セザ
ルモノヲ以テ尙ホ收益稅ノ位置ニ置イテ、
サウシテ地租、家屋稅ト對立ヲシテ、負擔
ノ均衡ヲ得ントスルガ如キハ、或ハ收益稅
タル家屋稅ヲ地方稅トシテ新ニ設ケ、國稅
地方稅ヲ通ジテ負擔ノ均衡ヲ期スルト云フ
ケレドモ、宅地租ト家屋稅ノ併課ハ、確ニ
宅地ノ收益ニ對スル二重課稅デアルト云フ
コトヲ私ハ斷言スル、營業收益稅ト家屋稅
トヲ併シテ課スルノハ、營業ノ用ニ供スル
家屋、收益ニ對スル二重課稅デアアルノデ
アル、是等ノ二重課稅ノアルニ對シテハ、政
府ニ於テハ何等ノ對策ヲ講ズルコトモ爲サ
ズ、明ニ其國稅地方稅ノ不連絡、不統一ヲ
示シテ、不完全ナル儘デ此稅制整理ヲ行ッ
行カウトスルガ如キハ、不當課稅ヲ行ッ
往カウト云フコトハ、斷シテ吾々之ヲ承認
スルコトノ出來ナイ所ノ有力ナル理由デア
リマス(拍手)或ハ法人ノ第一種所得ヨリ第
二種所得ヲ控除シ、又法人ノ營業收益稅ヨ
リ資本利子稅ヲ控除スルコト、シテ、而モ
其結果ニ對スル適當ナル考慮ヲ缺イタル爲
ニ、是等規定ノ適用ヲ受ケルモノニ付テ
ハ、地方稅ノ不當ナル免除トナルガ如キ疎
漏ノ法律案ヲ帝國議會ニ提出スルガ如キ
ハ、其例證ヲ特別委員會ノ經過ニ於テ舉ゲ
レバ幾多アルノデアアル、濱口君ハ斯ノ如キ
不當不備、疎漏、杜撰、殆ト算フルニ違ナ
キ所ノ不完全ナル法律ヲ出シテ、何ヲ以テ
大藏大臣ノ責任ヲ負ハントスルモノデア
ル(拍手)將又國稅ノ課稅組織ニ於テモ、到
底見通スベカラザル所ノ不備缺點ハ澤山
アルノデアリマス、諸君、今次ノ稅制整理ヲ
以テ國民負擔ノ均衡ヲ期スルト爲スガ如キ
ハ、所謂癩人夢ヲ說クノ類デハナイカ、況
シテヤ不完全、不良ナル所ノ各種稅目ヲ廢
合シテ租稅ノ體系ヲ亂シ、均衡ヲ失タル

モノヲ拵ヘルニ至テハ、寧ロ人ヲ欺クニ近キモノデアルト謂ハネバナリマセス、濱口君ハ常ニ謙遜ヲ以テ、虚言ヲ吐カナイノヲ以テ世間カラ知ラレテ居ルニモ拘ラズ、確ニ人ヲ欺クニ近イ所ノ公ナル動作ヲ執タモノナリト吾々ハ申サナレバナラヌノデアル(發言スル者アリ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○武藤金吉君(續) 殊ニ吾人ノ甚ダ不満足ナルハ、國稅制度ニ於ケル納稅負擔ノ均衡ハ所得稅ノ完全ナル制度ノ運用ニ俟ツベキモノトシテ、改善ニ加ヘルニ改善ヲ以テシ、今ヤ世界各國ハ此所得稅ヲ中心トシテ負擔ノ均衡ト負擔ノ輕減ヲ行ヒツ、アルニモ拘ラズ、我國ニ於テハ所得稅ハ去ル大正九年ニ於テ株式配當金ヲ個人ノ綜合ニ組入レテ、サウシテ稍々重要ナル根本的改正ヲ行テ成功シタル外、其以外幾多ノ重要ナル改正案、例ヘバ個人ノ所得ノ計算、又之ニ關スル個人所得ト法人所得トノ適當ナル均衡ノ改正、課稅最低限ニ達スルモノ、課稅ニ付テ、是等ノ最低限ノ所得ニ關スル課稅免除ノ改正等、根本ニ於テ所得稅ニ付テハ改正スベキモノナラザルノニモ拘ラズ、根本ヲ忘レテ枝葉末節ニ走レテ、サウシテ或ハ法人ノ所得課稅ニ關スル所ノ根本主義ノ確立及其他ノ問題ヲ忘レテ、是等ノ事案ニ對シテハ一ツモ改正ニ觸レナイ、所得稅ヲ枝葉末節ニ依テ改正セラレタ實績ガ明ニナラズ居ルノデアアル、言フマデモナク所得稅ハ國民各階級ニ對スル普遍的ノ租稅デアリマス、此負擔ノ公平ヲ期スル爲ニハ、總テノ租稅ヲ所得稅ニ於テ綜合シテ、之ニ補完稅ヲ加ヘテ整理シナケレバ租稅ノ整理ハ根本的ニハ出來ナイ筈デアアル、然ルニ此度ノ政府ノ出サレタル所ノ整理案ハ、國稅ニ於テ既ニ然リ、又地方稅ニ於テ之ヲ見レバ更ニ最モ甚シキモノガアルノデアアル、地方財政ノ窮乏、地方負擔ノ過重、不當ナルコトヲ少シモ考慮シナイ、甚シキハ大藏大臣モ内務大臣モ、地方ノ事情ノ質問ニ達ヘバ答ヘルコトヲ知ラズシテ、特別委員會ニ於テハ一屬僚ニ答辯ヲサシテ居ルト云フヤ

ウナ狀態デアツテ、恐ラクハ地方ノ事情ニ此關係諸君ハ御精通ナイト云フコトハ事實デアリマス、斯ノ如キ次第デ、地方稅ノ整理ト云フモノハ、三派聯立内閣分離ノ時分ニ、我黨ノ關係カラ、地方稅ノ整理ハドウスルト云フテ突込マレテ、追テヤルノデアルト云フテ答辯ヲシテ、初メ國稅ノ整理案ヲ出シテ突込マレタ結果、地方稅ヲ已ムナクヤツテ、一方ハ大藏省ノ關係、一方ハ内務省ノ關係ガ恰モ木ノ竹ヲ接イダウナ整理案ヲ出シタカラ、斯ノ如キ成案ガ出來タモノト思フノデアアル(拍手) 是ガ事實デア

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

ル、諸君、吾ニ其根本的施設ヲ誤ラバカリデハナク、新ニ府縣稅トシテ拵ヘタ所ノ家屋稅ハ國稅ノ地租、營業收益稅ト部分的ニ二重課稅トナラテ居ルノデハナカ、而シテ地方ニ參リマシテ、家屋稅ハ先刻三土君モ述ベラレタガ、家屋ノ大小ニ依テ其收益ノ多少ガアルモノデハナカ、即チ收益者ノ負擔能力ト云フモノハ決シテ家屋ノ大小ニ依テ決メラルベキモノデハナカ、然ルニ此度ノ家屋稅ハ、貸家ニ對スル家屋稅ハ、自然ニ賃借人ノ負擔、借家人ニ是ガ廻テ行クノデアアル、其廻テ行ク結果ハ即チ貧乏人、無產階級ノ負擔ガ多クナル、家屋稅ト云フモノハ一般ニ之ヲ見テ、全國ニ於テ社會政策ニ反スル、借家人、無產階級ノ人カ稅ヲ拂フト云フコトハ私ガ前回ニ於テモ此演壇ニ於テ質問シタガ、其通りニナラテ居ルノデアアリマス(發言スル者アリ)

政策的ト云フ理窟ハ、海ニ煙散霧消シテシマテ無クナラテ來ルノデ、既ニ其實行手段トシテ租稅全般ノ計畫ニ於テモ大資產者、中產者、之ニ就テハ先刻三土君カラ大體ノ引例ヲ申サレマシタカラ、私ハ是ハ省キマスルガ此社會政策的ノ計畫ニ付キマシテ、一方ニ於テハ國稅ニ於テ地租ニ新ニ免稅點ヲ設ケ、個人所得、營業稅、相續稅ノ免稅點ノ引上ヲ行ヒ、通行稅、醬油稅、綿織物稅、賣藥稅等ヲ廢シテ、之ト又反對ニ酒、煙草ノ增稅ヲ行ヒ、清涼飲料稅ノ新設ヲ行タ、彼此レ之ヲ比較スレバ前者ニ於テハ社會政策的ノ效果ハ、假ニアルモトシテ吾々ハ認

デアアル、私ハ特別委員會ニ於テ政府ニ向テ此表ヲ作テ欲シイト云フコトヲ要求シタノデアリマスルガ、濱口君ハ左様ノ表ハ出來ナイト答ヘラレタ、故ニ私ハ先ヅ以テ大資產階級、中產階級、無產階級ト三ツニ分ケテ、全國ノ世帯主千二百三十四萬餘世帯ヲ基準ト致シマシテ、大資產階級ハ五十圓以上ノ地租ヲ納ムル者、一萬圓以上ノ所得稅ヲ納ムル者、又二十萬圓以上ノ資產ヲ有スル者、中產階級ハ五圓以上五十圓ノ地租ヲ納ムル者、又一萬圓以下ノ所得稅ヲ納ムル者、又一千圓以上二十萬圓以下ノ資產ヲ有スル者ト云フモノヲ中產階級トシ、無產階級トハ只今ノ大資產階級、中產階級ニ當ラナイ者ヲ標準ト致シマシテ、三ツニ分ケタノデアリマス、斯ノ如クデアリマシテ、之ニ制當テ、見マスルト、即チ資產所得ハ、納稅資格ニシマスレバ、之ニ制當テ、先ヅ以テ此負擔ガ大資產階級カラ無產階級ニ移ルノハ、ドウ云フ風ニ移ルカト申シマスレバ、先ヅ以テ此負擔ヲ移シタル、大資產階級カラ無產者ニ移スヤウニナル結果ハ、先ヅ其統計ヲ政府ノ出シタ數字ニ依テ第一ニ之ヲヤツテ見ル、政府ノ出シタ數字ニ依テ之ヲ當嵌メテ見ルト、大資產階級ニ付テハ一世帶當リガ百二十二圓、中產階級ニ對シテハ一世帶當リガ約四圓ノ減稅ナルノデス、之ハ政府ノ出シタ當初ノ豫算デアリマスルト、是ダケノ減稅ニナル、而シテ一千万以上アル世帯ノ無產階級ニ對シテハ、實ニ六十七錢ノ平均增稅トナルノデアリマス、是ガ政府ノ出シタ數字ニ依テ斯様ナ數字ガ出ル、更ニ今度ハ吾々ハ酒ノ稅、煙草ノ稅ヲ政府ノ出シタヨリ餘計取レルト見テ、即チ平年度ニ於テ酒ノ增稅ヲ四千七百萬圓ト見、煙草ノ專賣ノ利益ヲ四千九百萬圓ト見込シ、更ニ諸君ガ妥協ヲシタ地租ノ一分減ヲ廢スルモノトスレバ、之ヲ合セテ計數ハ如何ナル數字ガ出ルカト申シマスレバ、即チ大資產階級ニ對スル——前ニハ減稅ニナラテ居タノデアリマスルガ、今度ハ九百五十六萬圓、其一世帶當リハ百五十七圓ノ大資產階級モ

策ガ行ハレヌデ、而モ其增稅ガ多クナラテ居ルカラ、社會政策ハ差引零ニナルト云フコトニナルデハナカ、單ニ諸君、是ガ零ニナルト云フガデ済マヌ、私ハ三土君ノ先刻申サレタヨリ尙ホ的確ナ數字ヲ示シテ、國民ノ前ニ明ニ致シテ置キマス、諸君、政府ハ政府ノ稅制整理案ニ於ケル地租、所得稅及相續稅ノ改正ニ因ル減稅額ハ約三千七百萬圓デアリマス、其補填財源トシテ假ニ資本利子稅、相續稅ノ稅率ノ引上ニ因ル增稅額ガ合計二千六百萬圓トナラテ居リマス、之ヲ持テ來ヘ即チ酒稅ノ增稅ト煙草ノ値上ニ依テ補ハレテ居リマスガ、大小ノ地主、營業者、其他ノ資產家ハ免モ角所得稅ヲ納メル資格ノアル者ノ負擔ヲ移シテ、多數ノ無產者ニ歸セシムルト云フ、即チ之ニ轉嫁セシムルト云フコトニナルノデアリマス、更ニ所得稅及營業稅ノ改正案ト其增收入トヲ觀察シテ示セバ、所得稅及營業稅ノ減稅トナルノハ、畢竟スルニ大キナ資產家ノ納稅者ニ對スル大減稅ニナツテ、中以下ノ納稅者ノ蒙ル恩惠ハ更ニ無イノデアアル、特ニ營業收益稅ノ如キハ、小サイ營業者ニ付テハ、殆ド增稅ノ結果トシテ、政府ノ稅制整理案ガ國民各階級ヲ通ジテ負擔ノ均衡ハ如何ニナルカ、如何ナル異變ヲ及ボシタカト云フコトハ、此增減ニ關スル各階級別ノ計算ヲ試ミタノデアアルガ、之ニ依テ明カ

テ一言致シタイ、大體ノ要領ハ三土君ヨリ述ベラレタガ、許スコトノ出來ナイノハ、濱口君ハ去ル一月二十六日此演壇ニ於テ、大藏大臣ト致シマシテ地租ノ一步減ニ對シテ如何ナルコトヲ演說サレテ居ルカ、濱口大藏大臣ハ稅制整理ニ關シテ地租一步減ノ必要ヲ說イテ曰ク、田畑ニ對スル地租輕減ノ理由ハ、申スマデモナク耕地ニ對スル負擔ノ輕減ヲ致シ、農村ノ振興ニ資セントスルモノデアリマス、曩ニ大正十二年ニ於ケル稅制ノ應急の整理ニ當リマシテ、營業稅ニ付テハ約千九百萬圓ノ減稅ヲ爲シタルニ拘ラズ、地租ニ付テハ少シモ減稅ヲ行ハナカッタノデアリマシテ、兩者ノ權衡上宜シキヲ得テ居ナイト考ヘルノデアリマス、仍テ今回ノ改正ヲ機トシテ、田畑ノ地租ニ對シテ相當ノ輕減ヲ行フコトガ適當デアルト考ヘタノデアリマス」ト、濱口君ハマダ日モ立タナイ、說明ヲ此演壇デサレタノデアル、斯様ニ公然明白ニ此演壇上ニ於テ地租輕減ト云フコトハ耕地ニ對スルコトヲ主トシテ、サウシテ更ニ農村振興ニ資スルト云フコトヲ明カニシテ居ル、又營業稅ニ對シテモ權衡ガ取レナイカラト云フコトヲ力說シタノデアル、抑、今回ノ稅制整理ニ於テ憲政會ガ多年主張シタル眼目ト見ルベキモノハ何デアルカト言ヘバ、地租ノ二分減ヲ一分減ニシタ、其一分減ヨリ外ニ憲政會年來ノ主張ハ此稅制整理案ニハナイノデアル(拍手)然ルニ白々シクモ一月二十六日ノ本會議ニ提案ノ說明ヲシテ置イテ、其後ニ於テハ斷ジテ是ハ目的ヲ貫徹シナケレバナラヌ、其後ニ於テハ一步モ譲ラヌト云フコトヲ言ッテ置キナガラ、何タル醜態デアル、妥協ヲ敢テ行ッテ其聲明ヲ沒却シテ、之ヲ何ト思フテ居ルノデアルカ、濱口大藏大臣ハ公ケノ良心アリヤ、濱口大藏大臣ハ責任觀念アリヤ、濱口雄幸君健在ナリヤ(笑聲、拍手)憲政會ノ諸君ハ多年ノ主張ヲ一朝ニシテ妥協ニ依ッテ辱メノ如ク抛ッテ、是デモ憲政會ノ宣言ト云フモノガ天下ニ當テナルト云フノデアアルカ(拍手)斯ノ如ク地租一分減ト云フモノハ

憲政會ハ生命デアルト同時ニ、憲政會内閣ノ稅制整理ノ眼目デアッタモノデアル、斯ノ如ク天下ノ公約ニ背キ、國民ヲ欺クノ罪ハ決シテ七千万國民ハ之ヲ容スコトノ出來ナイト云フコトヲ吾々ハ斷ズルモノデアル（拍手）斯ノ如クデアリマシテ、更ニ之ヲ容スコトノ出來ナイコトヲ痛感スル許リデナク、此稅制整理案ハ之ガ爲ニ全ク救フベカラザル破綻ニ陥ツテ、ドウモ斯ウモ仕様ノナイト云フ狀態ニ陥ツタコトヲ如何ニスル、此狀態ハ責任上濱口君ハ之ヲ救済シテ改善スル積リデアルカ、又小學校教員俸給ノ國庫補助ト、地租一分減トハ決シテ是ハ同一ナル因果關係ヲ持ツモノデナイ、小學校教員俸給ノ國庫支辨ハ、是ハ固ヨリ地方ハ救済スル意味ハ含シテ居ルガ、元來是ハ教育ノ改善ヲ圖シテ、地方ト共ニ負擔ノ半額ヲ目標トシテ之ヲ國庫ガ補助スルト云フコトハ、三派聯立内閣ノトキニモ申合セタルノデアル、又方針デ進ンデ居ルノデアル、然ルニ元田委員長ノ報告ハ、半額ノ目標ヲ破ラタモノニ其公約ヲ棄テ、同意シタト云フコトヲ委員長ハ報告サレテ居ルノデアル、又政府當局者モ曖昧ナル言葉ヲ以テ之ニ答ヘテ居ルノデアリマスガ、吾々ハ斯ノ如キ此年末ノ問題ハ、吾々ハ三千万圓半額ヲ目標トスルニ於テ同意ヲシタノデ、吾々ノ主張ト合致スルカラ同意シテ居ルノデアリマスカ、先キノ事ノ當テニナラヌ主張ヲ當テニスルモノニハ同意ヲシテ居ナイノデアル、又安請合ハセヌノデアル、斯ノ如キ次第デアリマシテ、稅制ノ整理ト此國民教育ノ補助金ト云フモノハ別ニシテ取扱フト云フコトガ、是ハ至當デアツテ、又吾々ノ主張ヲ茲ニ明ニ致シテ置ク次第デアリマス、次ニ只今憲政會ノ町田君ヨリ、地租委讓ニ付テ御議論ガアリマシタ、地租委讓ノ吾々ノ主張ニ對シテ御意見ガアリマシタガ、其御意見ノ發言ハ言葉ガ分ラナイ爲カ吾々ハ能ク會得シナカタ、併ナガラ地租委讓ニ付テハ、吾々ガ之ヲ明ニ御答スル責任ガアル、地租委讓ハ地方ノ自治ヲ鞏固ニスル爲ニ市町村ニ獨立ノ財源ヲ與ヘルト云フコトヲ眼目

トシテ即チ現在ノ地租ヲ市町村ニ移シ、七千四百萬圓ヲ移シテ市町村ノ附加税ト共ニ自由ニ市町村ニ使ハセテ、サウシテ文化ノ發展、産業ノ發展ニ資スルト云フノガ、即チ此地租法ノ眼目デアリマス、其目的ヲ達スル上ニハ、地方分權ノ實行ヲ期スルト云フコトハ勿論ノコトデアリマス、而シテ財源ノコトニ付テハ吾々ハ關稅ノ改正ニ依ル增收、自然增收ヲ合ハシタモノ四千萬圓、又更ニ五十議會ニ於テ行政財政ノ整理ニ依ッテ得タル彼ノ六千八百萬圓 其中ノ三千四百萬圓ヲ之ニ充テル、此財源ニ充テルノデアリマス、唯、問題トナリマシタノハ、關稅ノ改正カラ四千萬圓取ルナラ、何故政友會ハ四千萬圓取ル關稅改正案ヲ出サナイカト申サレマシタガ、是ハ我黨ニ限ラナイ、政府ニ於テモ四千萬圓取ルカラ、三千萬圓取ルカラト云テ、關稅ノ中ニハ國定稅率モアリマス、クレドモ其部分ニ協定稅率モアルノデアリマス、況ヤ關稅改正ノ中ニハ從價稅ト從量稅トガアッテ、ドシナ學者識者ヲ以テスルモ、關稅改正ニ四千萬圓取ル法律案等ヲ出セル筈ハナイノデアリマス、町田君ニモ似合ハナイ餘リ詰ラヌコトヲ申サレルカラ、御答スル必要モアリマセヌガ、我黨ガ地租委讓ノ財源ハ、斯ノ如クシテ新稅增收ニ依ラズシテ、地方自治ノ基礎ヲ鞏固ニシ、市町村ニ獨立ノ財源ヲ與ヘ、府縣稅ト市町村稅ノ均衡ヲ保ツテ、今ノ政府ノ出シタ稅制整理案ノ如ク、片跛足、斯ノ如キ畸形兒ヲ以テ臨マナイデ、健全ナル所ノ法案ヲ以テ稅制整理ヲ行ハント欲スル者デアル、故ニ吾々同志ハ斯ノ如キ非理不當、杜撰極マル所ノ政府ノ案ハ撤回ナサレテ、我黨ノ地租委讓ヲ根幹トスル所ノ稅制整理ニ立直シヤッテ、サウシテ國家國民ノ爲ニ再考ヲ促ス次第デアリマス、以上ヲ以テ私ノ演說ヲ終リマス（拍手）

〔小川郷太郎君登壇〕

○小川郷太郎君 私ハ委員長報告普通リニ賛成致シタイト思フノデアリマス、私ハ過日本黨ノ稅制整理案ヲ提出致シマシタ際ニモ本黨ノ稅制整理案ノ今回ノ稅制整理ハ根

本整理デハナイ、應急整理デアリマス、是ガ故ニ完全無缺ト云フコトハ言ヘナイノデアル、此稅制整理案ニハ多少ノ缺點アルコトヲ認メルノデアリマス、併ナガラ現行制度ヨリハ更ニ一步ヲ進メテ居ルモノト認ムルノデアリマス(「ノー」)「ヒヤ」(「サウ云フ精神ニ於テ私ハ委員長報告案ニ賛成シヤウト思フノデアリマス(拍手)委員長報告ニ依リマスレバ、政府案ニ本黨案ノ精神ガ這入テ來タノデアリマス、是ガ故ニ私ハ先ヅ此本黨ノ案ガ這入テ來マシタ方面カラ、此整理案ヲ辯護シテ見ヤウト思フノデアリマス、第一ニ問題トナリマスノハ自作農免稅ノコトデアリマス、只今武藤君ハ物稅ニ對シテ免稅點ヲ設クルノハイケンイト云フコトヲ論ゼラレタヤウデアリマス、是ハ學理上傾聽スベキ議論デアルト思フノデアリマス、併ナガラ吾々ガ自作農免稅ヲ唱ヘテ居リマスノハ、單ニ租稅論其モノニ囚ハレテ居ルノデアリマセヌ、農政上、國家政策上ノ見地ニ立脚シテ居ルノデアリマス(拍手)過日モ申シマシタ通りニ、自作農ノ年ヲ逐ウテ減ジツ、アル有様ヲ見、而モ農村ガ日本ノ國家ヲ維持スル根柢デナケレバナラヌト云フコトニ鑑ミマシテ、自作農ヲ維持スルコト云フコトガ最も大ナル政策デアルト信ジタノデアリマス、此見地ヨリ、吾々ハ稅制整理ノ中ニモ其趣旨ヲ現ハサウトシタノデアリマス、是レ本黨ガ夙ニ自作農免稅論ヲ主張シテ已マザル所以デアリマス、政府案ハ其發表セラレマシタ時分ニ、同一市町村內ニ於ケル地價二百圓以下ヲ免稅スルト云フコトデアリマシタカラ、私ハ小地主ヲ擁護シテ行カウト云フ案デアルト、考ヘタノデアリマス、然ルニ其說明ヲ聽イテ見マスト云フト、自作農ヲ免稅スル趣旨デアルト云フコトデアリマス、サウ云フ風ニ説明ガアルト云フト、根本趣旨ハ違ハナイノデアリマス、併ナガラ、地價二百圓以下ヲ免稅スルト云フコトニナリマス、茲ニ三ツノ缺點ガアル、第一ハ居村外ニ土地ヲ持チ且ツ耕作シテ居ル者ニ對シテハ免稅シナイコトニナリマス、ソレデハ自作農免稅

ノ趣旨ヲ貫徹シナイモノデアリマス、第二ニハ居村內ニ於テ自ラ耕作セザル地主ヲ免稅スルコトニナルノデアリマス、是亦自作農免稅ノ精神ニ副ハナイノデアリマス、尙ホ二百圓ト云フ界限ハ私等ノ見ル所デハ低キニ失スルト思フノデアリマス、且ツ二百圓ト云フコトハ、地價ヲ標準トスルガ故ニ、不公平ガ起ルコト云フコトヲ考ヘタノデアリマス、此論點ニ立チマシテ政府案ヲ批評シテ來タノデアリマス、所デ委員長モ報告セラレマシタ通りニ、小委員會等デ色々研究致シマシタ結果、委員長報告ノ如キ成案ヲ得タノデアリマス、之ニ依リマス居村外ト雖モ二百圓以下ノ地價ヲ持ッテ居ル所ノ者ハ免稅スルノデアリマス、第一ノ缺點ガ茲ニ取除カレタノデアリマス、居村內ト雖モ小作ニ付シタル者ハ免稅セナイノデアリマス、自ラ耕作スル者ニ限ッテ免稅スルト云フ趣旨ガ妥ニ現ハレタノデアリマス、(拍手)第二ニ缺點ガ取除カレタノデアリマス、此點ニ於キマシテ委員長ノ報告セラレマシタ所ノ修正案ナル者ハ、政府案ヨリハ更ニ一步ヲ進メテ、自作農免稅ノ精神ヲ現ハシテ居ルモノト謂ハナケレバナラヌノデアリマス(拍手)而シテ二百圓ト云フ點ニ付キマシテハ遺憾ナガラ吾々ハ之ニ満足ヲセナイモノデアリマスガ、財政計畫ノ上ニ於テ金ノ出ル所ノナイト云フ所デ、此規定ハ過渡ノ規定ナルノ故ヲ以テ暫ク此程度デ我慢スルノ已ムヲ得ザルニ至ッタノデアリマス、尙私ハ後ニ申シマスガ、政府ノ稅制整理案ニ依リマス相當ノ收入ガアルコトヲ信ズルノデアリマス、併ナガラ是ハ政治家的達觀ト云フ理由ヲ以テ政府ガ之ヲ否認スルニ拘ラズ、收入財源アルコトヲ前提トシテ法律ヲ定メルト云フコトハ出來ナイモノデアルト思フノデアリマス、吾々ハ財政計畫上今日ニ於テ千二百萬圓程度ノ免稅ヲナス以上ニ財源ヲ失フコトガ出來ナイト云フコトヲ認メ委員長報告ノ如キ修正案ニ賛成ヲ致スコトニナッタノデアリマス(拍手)併ナガラ修正案ヲ見マスト原案ノ型ハ大分失ハレマシテ、殆ド本黨案ノ精神ガソコニ現

ハレテ居ルノデアリマス(拍手)次ニ義務教育費國庫負擔ノ問題ニ移リマス、義務教育費國庫負擔ニ至リマシテハ先ヅ第一ニ其目的ヲ考ヘテ見ナケレバナラヌノデアリマス、政友會諸君ノ御議論ヲ承ッテ居リマス、義務教育費國庫負擔ノ、目標ハ義務教育ニ從事シテ居ル所ノ教員ノ俸給ノ半額ヲ國庫デ支辨スルト云フコトデアリマス、之ヲ半額主義ト云ハレテ居ルヤウデアリマス、所ガ私等ノ提案ハ其半額論ニ囚ハレテ居ナイノデアリマス、苟モ稅制整理ニ固ヨリ非常ナ増收ヲ得ルト云フコトデアッタナラバ、其收入ヲ義務教育費國庫負擔金ノ増額ニ當テ、之ヲ地方ニ配分シテ地方稅ノ輕減ヲ圖ルト云フコトガ必要デアリマス、サウ云フ様ニシマシタナラバ、縱令稅制整理ニ於テ増稅ノ結果ニ陥リマシテモ之ヲ緩和スルコトガ出來ルノデアリマス(拍手)政友會ノ諸君ハ頗リ増收入ノアルコトヲ唱ヘ、ソレヨリ直ニ増稅デアルト結論シテ居ラレタルノデアリマス、其増稅ト云フコトヲ結論セラル、ナラバ、其増稅ノ結果ヲ以テ義務教育費國庫負擔金ノ増額ニ充テ、以テ地方稅ノ輕減ニ資シ増稅ノ苦痛ヲ緩和スルコトトセネバナラヌ譯デアリマス(拍手)即チ此論ヲ以テスルナラバ教員俸給ノ半額主義ト云フヤウナ、教育行政上ノ問題ニ囚ハレテハナラヌ、稅制整理ニ關聯シテ増收入ヲ生ズレバ之ヲ以テ地方ニ配分スルト云フコトニセネバナラヌ、斯様ニシテ初テ最も稅制整理ノ趣旨ニ適フモノデアルト考ヘルノデアリマス(拍手)吾々ノ立場ハ其處ニ在ルニハ、色々ナ問題ガ起ルト思フノデアリマス、武藤君ハ小學校ノ教員ノ俸給ガ一億三千八百萬圓デアルト申サレタノデアリマス、私ハ之ニ對シテ異論ヲ申シマセヌ、併ナガラ義務教育ニ從事シテ居ル所ノ教員ノ俸給ハ恐ラク一億三千八百萬圓デアアルマイ、私ノ聞ク所ニ依レバ一億二千五百萬圓デアリマス、一億二千五百萬圓ノ半額ハ正シク六千二百五十萬圓デアリマス、七千萬圓ニ増額スルト云フコトハ此半額主義ニ反スル

ノデアリマス(拍手)只今小學校ノ教員ト云ヒマシタノハ尋常小學高等小學ヲ併セタモノデアリマスガ、義務教育ニ關係スル教員ト云ヘバ尋常小學校ノ教員ノミナル、私ハ其尋常小學校ノ教員ニ付テノ議論ヲデアリマス、更ニ進ミマシテ、大正十五年度ニ於キマシテ義務教育費國庫負擔金額ヲ七千萬圓トスルト云フコトニ付テ其財源ヲ何ニ取ルカト云フコトニ關シテ話シテ見タイト思フノデアリマス、三土君ハ特別委員會ニ於カレマシテ、財源ガ有ルト云フコトデアルカラ七千萬圓ニ賛成スルト云フヤウニ論ゼラレタ、違ッテ居リマシタラ、ソレハ直シマス、サウ云フ風ニ聽キマシタ、財源ガ有ルト云フハハレルノハ、何處ニ財源ガ有ルト云フハハレルノデアリマス、ソレヲ承リタイノデアリマス、地租委員ヲ前提トシマシタ、稅制整理案ヲ大正十五年カラ行テ行クト云フコトニ致シマスレバ、少クモ地租ノ財源ハ無イ譯デアリマス、大藏大臣ト小委員會ニ於テ交渉致シマシタ願末カラ考ヘテ見マスルニ、地租一分減ヲ見合セテ浮ブ金ヲ財源トシ、ソレガケデハ少シ足りマセヌカラ剩餘金ヲ合セテ一千万圓トシ、ソレヲ義務教育費國庫負擔金追加豫算ヲ提出スルト云フノデアリマス、地租ガ地方ニ委讓サレシマフ時分ニハ一千万圓ト云フモノハ無クナッテ來ルノデアリマス(拍手)更ニ十六年十七年度ヲ考ヘテ見マシテモ、此地租ノ一分減ヲ見合セルト云フ精神ガ籠ッテ居ルノデアリマスカラシテ、地租ヲ悉ク地方ニ讓ルト云フ案トハ財源論ニ於テ相容レナイノデアリマス(拍手)更ニモウ一步ヲ進メテ論ジマスレバ、政友會ハ其額ガ七千萬圓ナルガ故ニ、其趣旨ニ於テデナク、結果ニ於テ賛成スルト云フコトニナッタト云フ御趣旨デアリマシタガ、サウ云フヤウニ半額主義ニ拘泥セラレマスト云フト、十六年度以降ニ

(柏谷議長席) 退キ小泉副議長代リ著八千萬圓ニナッタ曉ニハ政友會ハ堂々ト反對セラレナケレバナラヌト云フ結論ニ陥ル

デアラウト思フノデアリマス(拍手)恐クハ
是ハ政友會ノ心デハナカラウト思フノデア
リマス、私ハ次ニ進ミマシテ八千万圓論ニ
移テ行キマス、八千万圓ニシテハ必ズ政
友會ハ反對セラレ、所デ此八千万圓ト云
フコトハ私ハ現實ノ問題ニナルト思フノデ
アリマス、只今三土君ハ大藏大臣ト小委員
會デ何カ話シタサウダ、新聞デ見タガ
サウ云フ風デ何カ他所事ノヤウニ論セラレ
マシタ、成程小委員會ニハ三土君ハ御出デ
ガナカッタカラ判ラナカッタカモ知レマセヌ
ガ、懇談會ニ於キマシテモ、亦公開シマシ
タ席ニ於キマシテモ、大藏大臣ガ吾々ニ
向テ、國務大臣ノ資格ニ於テ聲明セラレ
タノデアリマス、即チ残りノ一千万圓ハ大
正十六年度以降ニ財政ニ餘裕ヲ生ズルニ至
リタル時ニ、他ノ緊急ナル施設ト共ニ篤ト
考慮スベシト言ハレタノデアアル、此考慮ス
ルト云フコトハ、一寸考ヘテ見ルト云フヤ
ウナ意味デナイ、苟モ國務大臣ガ國民ノ
代表者ヲ前ニシテ、考慮スルト云フコト
ヲ言フ以上、是ハ現實ニナルベキ性質ノ
モノデアルト考ヘナケレバナラヌノデアリ
マス(拍手)若シ小委員會ハ秘密デアッテ判
ラナイト云フ御議論デアリマシタナラバ、
最後ノ小委員會ハ公開セラレテ、而モ速記
ニ載テ居リマス、其速記ニ依テ之ヲ明ニ
シテ戴キタイノデアリマス、私ハ尙ホ進ミ
マシテ、是ガ實現性ヲ持テ居ルト云フコ
トヲ立證シヤウト思フノデアリマス、大正
十六年度ノ豫算ガ編成セラレ時分ニハ、
大正十四年度ノ剩餘金ガ出テ來マシテ、ソ
レガツツノ財源ニナルニ相違ナイノデアリ
マス、然ルニ大正十四年度ノ決算ニ於キマ
シテハ、大ナル剩餘金ガ出ルニ相違ナイ、
ソレハ今日カラ見マシテモ明ナル事實デア
リマス、此事ニ關シ私ハ特別委員會ニ於キ
マシテモ、濱口大藏大臣ト論シタノデアリ
マス、其最小限度ノ事ヲ考ヘマシテモ、大
正十四年度ニ納ムベキ酒ノ税ニ於テ査定石
數カラ出タ税額ト、豫算ニ載テ居リマス
所ノ税額トノ間ニ千五百萬圓ノ相違ガア
リ、第三種所得税ニ於テ二千餘萬圓ノ差ガ

アル、營業税ニ於テハ一千万圓以上ノ差ガ
アルノデアリマス、此三税ダケデモ剩餘金
ハ四千六百萬圓ニ達シマス、先ヅ五千万
圓程ノ剩餘金ハ他ノ事ヲ考ヘヌデモ出テ來
ルノデアアル、是ハ濱口大藏大臣モ大體ニ認
メラレタノデアリマス、斯ウ云フヤウナ剩
餘金ガアル以上、大正十六年度ノ豫算ヲ編
成スルニ當リマシテ、藏相ハ教育費ノ國庫
負擔金額ヲ増スト云フコトヲ考慮セラレ
ニ相違ナイト思フノデアリマス(拍手)尙ホ
大正十六年、七年、八年ノ後ニ至リマシテ、
税制整理ニ於ケル所ノ増收ト云フモノハ可
ナリ澤山アルト信ズルノデアリマス、ソレ
ハ今三土君ガ御述ニナッタ所ニ依リマシテ
モ約一億圓程アルト云フコトデアリマス
ガ、假ニ三土君ノ論ヲ借りテ、税制整理ノ
結果ガ一億圓ノ増收ヲ來スニ至ラタ時分ニ、
一千万圓位ノ市町村義務教育費國庫負擔金
ヲ奢ム政治家ハナナイト思フノデアリマス
(拍手)是レ即チ實現性ヲ帶ビテ居ルト言フ
所以デアリマス、之ヲ要スルニ小學校教育
費國庫負擔金額ヲ増スト云フコトハ、政府
ノ聲明ニ依テ大正十五年度ハ一千万圓ヲ
増スニ過ギマセヌケレドモ、大正十六年度
以降遠カラザル間ニ於キマシテ、二千万圓
ヲ増額シ、即チ八千万圓トスルト云フコト
ガ實現セラレルノデアリマス、此點ニ於キ
マシテ我ガ本黨ノ主張ト云フモノガ、殆ド
完全ニ貫徹シタト言フテモ過言デハナイノ
デアリマス(拍手)誰ガ政局ニ當リテモ天
下ノ輿論デアアル所ノ此義務教育費國庫負擔
金額ヲ増スト云フコトハ、間違ナク實現セ
ラレルノデアリマス、之ヲ妨グル所ノ者ハ
恐ラク人心ヲ失フニ相違ナイト信ジテ居ル
ノデアリマス、私ハ更ニ進ミマシテ税制ノ
整理ニ付テ論及致シマス、先ヅ第一ニ地方
税ノ問題ニ移リマス、政友會諸君ハ地租委
讓論ヲ提ダテ地方税ノ整理ヲセラレルト云
フノデアアルガ、其御考ニ對シテハ敬意ヲ表
シマス、私ハ地租委讓ト云フ考ニ對シテ反
對シテ居ル者デハアリマセヌ、併シ唯、實
際問題トシテ現下ノ事情ニ鑑ミテ如何ナル
整理ガ出來ルカ、此見地ニ立テ政治家ハ

考ヘナケレバナラヌノデアリマス(拍手)
地租委讓ヲ行フコトハ私ハ嘗テ以前カラ論ジ
テ居リマスガ、税制整理ノ一ツノ方面ニ相
違ナイ、併シ他ノ方面カラ他ノ税ニ關スル
整理ヲモ加ヘテ行クニ非ザレバ、根本整理
ト云フコトハ言ヘナイノデアリマス(拍手)
假ニ地方税ニ關シテノ觀察シマスルニ、(地
租委讓ハ政友會案ノ如クスレバ、市町村ノ
財政ヲ非常ニ都合好イモノニシ、他ノ市町
村税ヲ輕減スルコトニナリマセヌ、併ナガラ
地方税整理ト云ヘバ市町村ニ限ラヌ、普ク
府縣ニ及ラヌヲ實行スルコトニカメナケ
レバナラヌノデアリマス、政友會ノ論セラ
ルト云フ以上ハ、決シテ市町村稅ダケノ整
理ヲ以テ満足スベキデハナイノデアリマ
ス、政友會ガ地租委讓ヲ實行セラレヤウト
スルコトニ對シテ敬意ヲ表スルト同時ニ、
國稅ニ對シテモ整理案ヲ示サレ、府縣稅ニ
對シテモ整理案ヲ示サレコトヲ希望シテ
已マヌノデアリマス(拍手)今問題ニナッ
テ居リマス所ノ地方税ニ關スル法律案ハ、府
縣市町村ニ及ラヌ整理ヲシヤウト云フモノ
デアリマス、私ハ此地方税ニ關スル整理案
ガ完全ナモノデアルトハ申シマセヌ、其中
ニ色モノ缺點ガアルト云フコトヲ承知シテ
居リマス、併ナガラ私ハ現行制度ヨリハ一
歩ヲ進メテ居ルモノデアルト云フコトヲ信
ズルモノデアリマス、第一今日地方税ニ關
スル法律ノ根據ハ市町村制、府縣制ノ中ニ
モ多少ハアリマスガ、明治十三年太政官布
告ト云フヤウナ昔ノ法律ニ存スルノデアリ
マス、此太政官布告ニハ單ニ府縣營業稅、雜
種稅、戶數割ヲ課スルコトヲ得ト云フヤウ
ナ極メテ簡單ナ規定ヲ存スルニ過ギナイノ
デアリマス、然ルニ今日地方税ノ負擔ハ頗
ル重イノデアリマシテ、堪ヘラレヌノデア
ル、是ハ政友會ノ御議論ノ通りデアリマ
ス、私ハ少シモ異論ヲ唱ヘナイ、サウ云フ風
ニ地方税ノ負擔ガ重キ時ニ際シ吾々ガ國民
ノ代表者トシテ、此議會ニ於テ地方税ニ關
スル一般ノ立法ニ參與スルト云フコトハ、當
然ノ義務デアルト思フノデアリマス(拍手)

此意味ニ於テ茲ニ地方税ニ關スル法律案ガ
出テ居ルノデアリマス、之ヲ全然否認スルト
云フコトハ私ハ其當ヲ得タモノト信ジナイノ
デアリマス、是レ即チ地方税制ニ關スル一
進歩デアリマス、而シテ其地方税ノ整理
法律案ノ中ニ規定セラレテアルモノヲ見マ
スルト云フト、第一ニ戶數割ヲ市町村ノ稅ト
スルト云フコトデアリマス、所ガ只今三土
君ノ御演說ヲ承テ居リマスト云フト、戶數
割ナルモノハ市町村ノ稅ト市町村ノ間ニハ不
平デアルカモ知レナイケレドモ、市町村內
部ニ於テハ公平ナルモノデアルト論セラレ
タノデアリマス、即チ此地方税ニ關スル法
律案ナルモノハ、三土君ノ此理論ニ從テ
戶數割ヲ市町村稅トシテ居ルノデアリマ
ス、三土君ハ今ノ論理ヲ以テ地方税ニ關ス
ル法律案ノ戶數割ノ制度ヲ非難スルコトハ
出來ナイト思フノデアリマス(拍手)次ニ家
屋稅ヲ一般ノ府縣稅トスルト云フコトデア
リマス、現行制度ハ戶數割ト家屋稅トヲ選
擇ノ稅トシテ、戶數割ヲ課スル地ニハ家屋
稅ヲ課セズ、家屋稅ヲ課スル地ニハ戶數割
課セズト云フコトニシテ居ルノデアリマス、
是ハ現行制度ノ大缺點デアリマス、戶數割
ハ人モ論ズル如ク、所得稅ニ近イモノデア
リマシテ、人稅デアリマス、家屋稅ハ地租ト同
ジヤウナ性質ヲ持テ居ルモノデアッテ、疑ナ
ク物稅デアリマス、人稅ト物稅ト何レヲ選
ビテモ宜イト云フ法律ハ、亂暴極マルモノ
デアルト言ハナケレバナラヌノデアリマ
ス(拍手)然ルニ今問題ニナッテ居リマス地
方税ニ關スル法律案ナルモノハ、此處ニ解
決ヲ與ヘ、家屋稅ハ地租ト並ンデ行クベ
キ性質ヲ持テ居ルノデアリマスカラシテ、
物稅トシテ遍ク府縣ノ稅トシテ行ハウト
シテ居ルノデアリマス、但シ戶數割ヲ實行
シ難キ所ニ於テハ戶數割ニ代ヘ、家屋稅ヲ
存スルコト、シテ居ル、家屋稅ト戶數割ト
ノ選擇ノ跡ガ多少マダ殘テ居リマスケレ
ドモ、之ヲ一般ノ府縣ノ稅トシタト云フ
コトハ、確カニ現行制度ヨリ一歩ヲ進メタ
ノデアルト言ハナケレバナラヌノデアリマ
ス(拍手)若シ政友會諸君ガ——若シ政友會

諸君が地租ヲ以テ市町村稅トスルコトヲ、何ヨリモ地方稅整理ノ良キ方法デアルト考ヘラレナラバ、其地租ト最モ關係ノ深イ家屋稅ヲ以テ地方稅ノ一ツノ根柢トスルコトニ反對ハ出來ナイ筈デアラウト思フデアリマス(拍手)尙ホ府縣稅營業稅、府縣稅雜種稅ガ苛酷ノ稅デアルト云フコトハ天下ノ輿論デアリマス、之ニ對シテ整理ヲ行ハウト云フコトガ果シテ何處ニ惡イコトガアリマスカ(拍手)府縣營業稅、府縣雜種稅ヲ整理スルト云フ方針ノ上ニ立テ居ル所ノ地方稅ニ關スル法律案ハ、現行制度ヨリ一步ヲ進メルモノデアルト考ヘザルヲ得ナイデアリマス(拍手)斯ウ云フコトハ諸君御承知ノ通り、嘗テ原内閣當時ニ起サレマシタ臨時財政經濟調查會ニ於テ、二年ニ亙テ研究シタコトデアリマス、而シテ其結論ハ今申シマシタ大體ノ趣旨デアタノデアリマス(拍手)此調查ヲ誰ガ行ハタカト云フコトヲ考ヘマスレバ、實ハ政友會ノ功績デアリマス、此政友會ノ功績ヲ現内閣ハ奪ツタノデアリマス、臨時財政經濟調查會ニ於テ調査シタ所ノ大體ノ案ヲ現内閣ハ採テ、地方稅ニ關スル法律案ヲ出シテ居ルノデアリマス(拍手)起リ「ノウ」ト呼フ者アリ、私ハ根本ノ精神ニ於テ之ヲ言フノデアリマス、吾々ハ政策本位ニ……(發言スル者多シ)

七千万圓ノ家屋稅ヲ掛ケルト云フコトニナテ居リマス、是新稅ト致シマシテハ人民ハ必ズヤ苛酷ニ感ズルデアラウト思フデアリマス、是ガ故ニ義務教育費國庫負擔金額ガ増加セラレマス以上ハ、地方ノ財政ニ餘裕ヲ生ズルノデアリマスカラ、此新稅ノ施行ニ對シテハ政府ハ篤ト考慮ヲ致シテ、人民ノ負擔ヲホド……ニスルト云フコトヲ考ヘラレコトヲ切ニ希望シテ已マヌノデアリマス、殊ニ其附加稅ガ百分ノ八十ナンカニ至ルノハ、甚ダ重キニ過ギテ居ルト云フコトヲ感ゼザルヲ得ナイデアリマス(拍手)此點ニ於テ政府ノ猛省ヲ促シテ置キタイト思フノデアリマス、之ヲ要スルニ私ハ固ヨリ地方稅ニ關スル法律案ナルモノヲ完全ナモノデアルト見テ居リマセヌ、相當ニ缺點ヲ持テ居ルモノト見ルガ、今日ノ現行制度ヨリハ更ニ一步 進メテ居ルト云フコトヲ信ズルノデアリマス、國稅ニ關シテ一言ヲ加ヘタイノデアリマス、私ハ國稅ニ關シマシテハ委員會ニ於キマシテモ十分ニ議論ヲ致シタカラシテ、茲ニ再ビサウ云フ議論ヲ繰リ返シマセヌ、唯、私ハ根本論ト致シマシテ、租稅體系カラ考ヘテ見タイ、政府ハ現行制度ヲ土臺ニシテ之ニ改善ヲ加ヘタイト云フノデアリマス、而シテ其現行制度ナルモノハ所得稅ヲ中樞トシテ、營業稅、地租ヲ配シテ居ルノデアアル、所ガ其地租、營業稅ナルモノハ、現行制度ニ於キマシテハ大體ニ客觀的ノモノデアアル、外形標準ニ依リ課稅スルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、所謂物稅ト云フ本性ヲ發揮シテ居ルノデアリマス、然ルニ政府案ヲ能ク見マスルニ、營業稅ハ營業收益稅ト名ガ變タ、私ハ此名ノ變タト云フコトハ餘リ感心シナイ、營業稅ハ收益ヲ標準ト致シテモ、營業稅デ差支ナイト思ヒマスガ、併ナガラ名ヲ爭フ必要ハナイ、其營業收益稅ノ根本精神ナルモノハ、純益ヲ取テ課稅標準トスルノデアリマス、是ハ大口君ノ指摘セラレマシタ通り、一種ノ特別所得稅ノ形ヲ持テ來テ居ルノデアリマス、所ガ地租ナリ資本利子稅ニ於キマシテモ、純然タル純益ト

ハ云ヘナイイカモ知レマセヌケレドモ、賃賃價格ヲ引提ヘ或資本ノ利子トシテ拂ハレルモノ、其物ヲ取ルト云フコトニスレバ、是外形ノ標準デハ斷ジナイノデアリマス、免ニ角純益ニ近イモノヲ提ヘテ居ルノデアリマス、隨テ或一種ノ特別所得稅ノ形ヲ持テ來テ居ルノデアリマス、之ヲ現行營業稅ニ較ベテ見ルト、實ニ非常ナ差デアリマス、又現行地租ハ地價ヲ標準トシテ掛ケルノデアリマスガ、賃賃價格ヲ標準トシテ掛ケルモノニ較ベテ見ルト所謂收益ノ稅カラ特別所得稅ノ方向ニ向テ進ンデ居ルト云フコトハ爭フヘカラザルモノデアリマス、サウ致シマスと云フト、國稅ノ整理ハ個々別々ニ出來テ居リマスケレドモ、成ベク純益ヲ提ヘテ行カウト云フ精神ガ流レテ居ルノデアリマス、即チ現行ノ制度デアリマス所ノ全純益ト關係ノナイヤウナモノヲ取テ掛ケル稅制ヨリ進ンデ純益若クハ純益ニ近イモノヲ取テ課稅スルト云フ制度ニ進ンデ行クノデアリマス、從來國稅體系ニ關聯シテ國稅整理ノ議論ガアリマス、或ハ一般所得稅ヲ中樞トシテ特別所得稅ヲ配スルガ宜イト云フ議論ガアル、或ハ一般所得稅ヲ中樞ニシテ一般財產稅ヲ之ニ配スベシト云フ議論ガアリマス、今日ノ稅制整理案カラ見マスと、一般所得稅ヲ中樞トシテ特別所得稅ヲ配スルト云フ方向ニ向テ進ンデ居ルト見ルコトガ出來ルノデアリマス、私ハ一般所得稅ニ配スルニ一般財產稅ヲ以テスルガ宜イノカ、一般所得稅ニ配スルニ特別所得稅ヲ以テスルノガ宜イノカ、ヲ論ジヤウトスルノデアリマス、特別所得稅ノ方向ニ進メル以上少クとも現行制度ヨリモ進ンデ居ルモノデアアルコトハ疑ナイ所デアリマス(拍手)サウ云フ風ニ觀察シテ見マスと、今問題トナテ居リマス所ノ稅制整理案ナルモノハ何ト云フテモ現行制度ヨリハ宜イト結論シテ差支ナイノデアリマス(拍手)サウ云フ意味ニ於テ私ハ委員長報告案ニ對シテ贊成ヲ表シタイト思フ者デアリマス(拍手)飽迄モ申シテ置キマスガ、稅制整理ト云フ大事業ハ一日ニ於テ出來ルモノデアナイ、嘗

テ大正九年原内閣ノ當時ニ於テ稅制整理ガ行ハレタ、是ハ最近ニ於ケル稅制整理ノ一進步デアタノデアリマス、今回ノ稅制整理ハ之ニ亞グモノデアルトハ思フノデアリマス、政治ト云フモノハ理想タケハイカナイノデアリマス、一步々ニ進ムト云フコトニ於テ意義ヲ有スルノデアリマス、稅制整理ナルモノガ一步ヲ進メタト云フナラバ、茲ニ大ナル意義ヲ有テ居ルノデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ私等ハ國家本位ニ立チ、政策本位ニ立テ此案ニ贊成シヤウトスルモノデアリマス、之ヲ或ハ妥協政治ト云ヒ、色々ナ惡名ヲ被セラレコトアリテモ私ハ衷心少シモ恥ズルモノデアナイ、之ヲ天下ノ輿論ニ聽ケ、國家本位ニ立テ良イ政策ノ實行ニ參與スルニ何ノ惡イ所ガアルカ、私ハ政治家ノ爲スベキ所ハ正ニ此ニ出ザルヘカラズト信ズルノデアリマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 大口喜六君(大口喜六君登壇)

○大口喜六君 我ハ委員長ノ報告ニ反對ヲ致シマシテ、三土君等ガ提案サレマシタ所ノ案ニ贊成ヲ致ス所ノ者デアリマスガ、先ヅ最初私ハ政府案並ニ此委員長ノ報告ニ反對ナル理由ヨリ申述ベタイト思フノデアリマス、先ヅ私ハ此體系上カラ政府案ノ宜シクナイト云フコトヲ論ジテ見タイト思フノデアリマスガ、幸ヒ只今小川君ヨリ嘗テ財政經濟調查會ニ於ケル所ノ御話ガ出タノデアリマス、ソレデ只今政府ノ提案シテ居リマスヤウナ案ハ嘗テ財政經濟調查會ニ於テ政友會ガ贊成ヲ致シタ案デアアルガ如キ御意見デアリマシタガ、是ハ全然違フノデアリマス、吾々ハ幸ヒ當時財政經濟調查會ノ一員トシテ之ニ列シテ居タノデアリマスガ、小川君ハ其當時此ニ御列席ニナテ居ナカッタノデアリマス(拍手)其處デ此財政經濟調查會ハドウナツタカト云ヒマスと、其當時委員ガ相集リマシテ、三ツノ案ヲ立テタノデアアル、即チ第一案、第二案、第三案ト三ツノ案ヲ立テタノデアアルガ、其當時ノ第一案ハ如何ナルモノデアッタカト云ヘバ、地

租營業稅ト云フモノハ、是ハ國稅トシテハ全廢シテ地方ニ委譲スル、其財源ヲ國家ハドウスルカト云ヘバ、是ハ財產稅ヲ起サウ、是ガ第一案、第二案ト云フノハドウカト云ヘバ、矢張地租營業稅ヲ全廢シテ、之ヲ地方ニ委譲スルコト云フコトハ、矢張第一案ト同ジデアアル、唯、其財源ヲ國家ハ何デ產ムカト云ヘバ、特別所得稅ヲ以テ之ヲ產ムガ宜シ、是ガ第二案デアアル、第三案ト云フノハドウデアアルカト云フト、丁度今度政府ガ出サレタヤウナモノニ似テ居ル案デ地租營業稅ヲ現在ノ儘置イテ、之ニ多少ノ修正ヲ加ヘテ置カウ、是ガ第三デアアル、所ガ財政經濟調查會ノ委員會ハ、長イ間研究ヲシテ結果、一ツノ意見ヲ付ケタ、何ト付ケタカト云フト、今申シテ第三案、即チ現在ノ儘ニ地租營業稅ヲ置イテ、之ニ改正ヲ加ヘテ置クコト云フトコトデハ、是ハ極メテ姑息タルヲ免レズト明瞭ニ理由書ニ書イテアル(拍手)斯ノ如キ姑息ナモノデハ、到底根本的ノ我國ノ稅制ノ整理ヲ爲スコトハ出來ナイカラ、此第三案ハイケナイ、第一案ガ宜シト云フ議論ガアッタノデアアリマス(拍手)所ガ是ガ本會議ニ於テ、第三案ガ宜シト云フ議論ハ洵ニ少ナカッタノデアアリマスガ、第一案第二案ノ中デ、或ハ特別所得稅ガ宜シト云フ人モアレバ、財產稅ガ宜シト云フヤウナ人モアッテ、所謂此點ニ對シテ甲論乙駁デアリマシタ爲ニ、議論ガ決スルニ至ラズシテ、財政經濟調查會其モノハ委員會決メタ通りノモノヲ參考トシテ政府ニ送テ置イタト云フノガ、是ガ財政經濟調查會ノ結果デアリマスカラ、財政經濟調查會ニ於ケル委員ノ大多數ハ、當時矢張地租營業稅ハ之ヲ地方ニ委譲スベシト云フノガ大多數デアアル(拍手)此當時私ハ國民黨カラ出テ居タ所ノ財政經濟調查會委員デアリマシタガ、矢張地租營業稅ハ地方ニ委譲スベシト云フ論ニ賛成ヲ致シタ、政友會モ矢張其通りノ意見デアッテ、時ノ政府デアラレタ所ノ政友會モ、矢張地租營業稅ハ地方ニ委譲スベシト云フ意見ニ賛成ヲサレタ、唯、今日大藏大臣デ居ラレル所ノ濱口

雄幸君ハ、當時委員ノ一人デアラレマシテ、委員會ニ御列席ノ場合ハ、委員會ノ說ニ御賛成デアッタヤウニ見受ケタノデアリマスガ、本會ニ於テハ、財政經濟調查會ノ本會ニ於テハ、說ヲ變ヘラレタ、其處デ三土忠造君カラ質問ガ起ッテ、貴方ハ說ヲ變ヘタデハナイカト質問ノアッタ時ニ、濱口君ハ立派ニ立タレテ、私ハ考慮ノ結果、說ヲ變ヘタト云フコトヲ明言サレタ(拍手)是ハ何モ答メルニハ當ラナイ、考慮サレテ說ヲ變ヘラレルコトハ、洵ニ結構デアアル、吾々ハソレヲ決シテ彼是ハ言ハナイ、唯、現在ノ案ヲ政友會ガ財政經濟調查會ニ於テ賛成シタモノデアアルノヲ、今日反對スルカノ如ク論ゼラレルカラ、私ガ此處ニ事實ヲ明白ニ呼フ者アリ)ソコデ私共ハデス、此體系ノ上カラ考ヘテ見テ、今ノ政府ノ爲サントスル所ノ稅制案ハドウデアアルカト云ヘバ、豫テ政府ガ説明ヲシテ居ラレルカト云ヘバ、豫テ所得稅ト云フモノヲ中樞トシテ行カレルノデアアル、是ハ吾々モ決シテ反對ハ致サナイ、此所得稅一本デハ工合好ク往カナイト云フノデ、此補完稅——完補所ノ稅トシテ、一面ニ地租ヲ用ヒ一面ニ營業稅ヲ用フル、而シテ是ダケデハ往カナイカラ、資本利子稅ヲ置キ、一面ニ於テ家屋稅ヲ配置シテ行カウ、是レデ體系ヲ整ヘヤウト言ハレル、一通リノ說ハ立ッテ居ナイト思ハナイ、ナイガ折角サウシテ體系ヲ立テ、行カレルナラバ小川君等ノ言ハレルヤウニ、又吾々モ考ヘテ居ルヤウニ、免ニ角暫定的ノモノデアラナラバマダ宜イノデアアルガ、政府ノハサウデハナイ、根本ノ稅制整理ナリト云ヒ之ヲ以テ社會政策ナリト唱ヘ、產業ノ基礎ヲ鞏固ニスルト云ヒ、種々ナ事ヲ言ハレテ、之ガ根本的ノモノデアアルト云テ出サレルカラ、吾々ハ之ニ對シテ色々ノ意見ガ出ル、左様ニシテ體系ヲ立テルナラバ、何故營業稅ト地租ト家屋稅ノ間ニ、モト適當ナ均衡ヲ取ラナイカト吾々ハ論ズルノデアアル(拍手)此事ニ對シテハ只今小川君モ私ノ指摘シタ事ニ同感ダト此席デ言ハレタノデア

ルガ、今回改正ニナル所ノ營業收益稅ハドウ見テモ是ハ今迄ノヤウニ營業場トカ云フモノニ掛ケルノニアラズシテ、其營業ヲ爲ス此純益ニ掛ケテ行クノデアアルカラ、ドウシテモ、是ハ特別所得稅ノ性質ノモノデアアル(拍手)所得稅ヲ二重ニ掛ケル所ノ性質ノモノデアアル、所得稅カラ云ヘバ是ハ二重稅ニナル、ナルケレドモ、營業稅ト云フモノニ對シテ所得稅ヲ單ニ取テハ、收入ナキモノ、如クシテ免レルモノガアッテ、勤勞所得ノ如キモノト均衡ガ取レナイカラ、二重稅ハ承知ノ上デ營業收益稅ヲ掛ケテ行クカラ、言フ迄モナク是ハ補完稅デアアル、サウ云フコトヲ營業稅ニスルナラバ、矢張同ジ道理デアアル所ノ地租ト云フモノヲ賃賃價格デアアルノハ、理窟ガ合ハナイデアハナイカト吾々ハ論ズルノデアアル(拍手)賃賃價格ト云フモノヲ今モ純益ニ近イヤウニ言ハレルノデアアルガ、純益ハ益ニ近イヤウニ言ハレルノデアアル、有ユル經費ヲ差引イタ所ノモノデアアル、處ガ地租ノ賃賃價格ト云フ方ハ、言フ迄モナク之ニ對スル所ノ經費ト云フモノハ差引カレナイ所ノモノデアアル、一方ニ經費ヲ差引イタモノニ稅ヲ掛ケテ、一方ニ經費ノ兩輪ノ如ク補完稅トシヤウトスルノデアアルカラ、體系上當テ居ナイノデアハナイカト吾々ハ論ズルノデアアル(拍手)此質問ニ對シテハデス、元田委員長カラ先刻モ此壇ニ於テ御述ベニナッタ通り、政府ノ答辯甚ダ要領ヲ得テ居ナカッタノデアアル(拍手)是ハ私ガ決シテ自己ノ利益ノ爲ニ言フノデアハナイ、公明デアアルベキ答ノ元田委員長ガ、態其事ハ此壇デ御報告ガアッタ通り、是ハ本當ニ政府ハ答辯ガ出來ナイ答デアアル(拍手)現在無理ガアル、斯ウ云フ無理ガアル、殊ニ私ハ此點ニ對シテ非常ナ無理ガアルト思フノハ、例ヘバ營業收益稅、今言フ通り純益ニ稅ヲ課スル、之ニ對シテ營業ニ使フ所ノ土地ノ地租ハ引カレルコトニナッテ居ル、是ハ當然デアアル、所ガ家屋ニ對シテノ地租ハ引カレテ居ナイノデアアル、家屋ガナクテハ營業ハ出來ナイ、家屋ガナク

テハ營業ハ出來ナイガ、今回地方稅トシテ家屋稅ガ掛カル、之ニ對シテ營業ノ元ガ引ケルカト云フト、必ズ營業ノ純益ヲ見積ルトキニ、已レノ所有シテ居ル家屋ノ賃賃價格マデ積ッテ、純益カラ御引去リニハナリマスマイト思フ、ソレデアアルカラ借家ヲ借りテ營業ヲシテ居ル者ハ、家賃ヲ純益カラ引ケラ、營業收益稅ハ少イケレドモ、已レノ所有シテ居ル家屋デアレバ、其家屋ノ賃賃價格ヲ見積ッテ引イテ吳レナイト云フコトニナレバ、是ハ非常ナ迷惑ナモノニナル(拍手)ソレデサウ云フ類ノ事ヲ段々研究シテ行キマス、只今ノ此體系ニハ餘程無理ガアル、ドウシテモ是ハ外國ナドノ例モ取ッテ、獨逸ノ一部ニ於テハ近頃亦地租ヲ置イタ國モアルヤノ御答辯モアッタノデアリマスガ、世界各國ノ文明國ガ段々研究ヲシテ、ドウシテモ此地租ト云フモノハ國稅トシテハ旨ク行カナイカラト云フノデ、之ヲ地方ニ委譲シタト云フコトハ、吾等尤モナ事デアアルト今日考ヘテ居ル、ソレデアアルカラ財政經濟調查會ナドハ長イ間研究ヲシテ、結局稅制ノ根本的整理ナラレバ、地租營業稅ヲ全廢シテ、之ヲ地方ノ財源ニ充テル、而シテ國家トシテハ別ニ何トカ補完稅トシテ必要デアレバ立派ナ相當ナモノヲ研究シ、或ハ財產稅ガ宜イカ、特別所得稅ガ宜イカ、マダ是ハ別問題デアアルガ、其間ニ考ヘナケレバナラヌ、或ハ單一所得稅ヲ行カウト云フ議論モアル、サウ云フヤウナ事柄ヲ研究シテ、眞ニ此國稅ガ整理サレテ、恰モ灰ノ中ニズット筋ガ行クヤウニ、地方稅マデズト體系ヲ整ヘテ行クニ非ザレバ稅ノ整理ハ出來ナイ(拍手)ソレ故ニ私共ハ此體系ノ上カラシテ、今ノ政府ノ案ト云フモノハ缺陷ガ極メテ多イト云フコトハ吾々ハ考ヘナクチャナラスノデアリマス、殊ニ私ガ決シテ是ハ御修正ニナリ妥協サレタ諸君若彼此レ申スノデアハナイ、全クノ事實上カラ申スノデアアルガ、殊ニ私ガ今回ノ妥協案ト申スカ、委員會ノ修正案ト云フカ、一層此體系ヲ惡クシタモノデアアルト考ヘザルヲ得ヌノデア

(拍手)何故デアルカト云ヘバ地租一分減デアル、是ハ色々政治上デ言ヘバ、長ク政友會ガ唱ヘラレタ主義ヲ捨テタトカ、政府ガ捨テタトカ色々論ジヤウガアラウガ、暫ク私ハサウ云フコトハ言ハナイ、言ハナイケレドモ茲ニ地租一分減ト云フコトヲ掲ゲラレテ、地租ヲ一分減ズルガ故ニ、負擔ノ均衡ヲ得テ租稅ノ體系ガ立ツタト政府ハ言フテ居ラレドヤアリマセヌカ、其中ノ一等骨子デアル、大切ノ地租一分減ハ捨テ、地租ヲ取ルト云フコトニナツタナラバ、是デ果シテ體系ガ立チマスカ(拍手)地租一分減ヲ捨テラバ、捨テラバ、ソレダケ政府ガ最初言明シタ所ノ體系論ヲ打破ルコトニナルコトハ明瞭デアリマス(拍手)所ガ政府ハ今モ大藏大臣ガ此處デ言ハレテ居ルガ——斯ウ云フコトヲ言ハレテ居ル、ソレハ成程サウダ、サウデアルケレドモ一面ニ義務教育費國庫負擔金ヲ一千万圓増ス、是デ市町村ノ均等モ取レル、算盤上宜イカラト云ハレルガ、假ニ政府ノ言ハレルコトヲ其儘信ジタ所ガ、是ハ算盤ズクノ話デ決シテ稅ノ體系デハアリマセヌ(拍手)之ヲ算盤ズク一點デ言ヘバ一面ニ於テ政府カラ言フト、是ハ現在政府ガ提案サレタ案ヨリハ寧ロ地租ヲ一分ダケ増稅ヲシテ、其金ヲ以テ義務教育費ニ與レルト同ジ理窟ニナルノデアリマス(拍手)此理窟ニ背クコトハ出來マコトハ、説明ノ上カラ言ヘバ明瞭デアリマス、後ニ私ハ又色々義務教育費ノコトデ最後ニ論ジマスガ、サウ云フ譯ニナリマスカラ、此地租一分減ヲ捨テラレタト云フコトハ一層不衡ニナリ、或ハ地租ト營業稅ノ間、或ハ家屋稅ノ間、體系ノ上、權衡ノ上ニ於テ益、宜シクナイ、不合理ナモノト相成、タト云フコトヲ私ハ認メザルヲ得ヌノデアリマス(拍手)ソコデ是ハ大體論デアリマスガ、私ハ是カラ一二ノモノニ付テ批評ヲ致シテ、國稅ノ——直接稅ノ中ニ於テ先ヅ批評致シ、ソレカラ間接稅ニ這入、テ見タイト思フノデアルガ、先ヅ地租ノ免稅點デアリマス、是ハ私ハ最初カラ此處デ質問ヲ致シテ居ルノデアルガ、地租ノ免稅點ガ出來

テ、是ガ旨ク行ヘレバ此位宜イコトハアリマス、吾々モ敢テ反對ハ致サナイケレドモ是ハ矢張財政經濟調查會ノ時代カラノ研究デ、公平ニ旨ク行カナイモノデアルト云フコト實ハ相成、テ居ル、ドウシテ行ケルカト今モ考ヘテ見タノデアルガ、是ニハ非常困難ヲ生ズル、譬ヘテ言ヘバ私ガ嘗テ此處デ質問ヲ致シタガ、或村ニ於テ地價百九十圓ヲ持テ居ル人ガアルトスルト、是ハ無論免稅ニナリマス、免稅ニナリマスガ、隣ノ村ニ同ジ人ガ二十圓ノ地價ヲ持テ居ル、之ヲ二ツ寄セラレマスレバ、二百十圓ニナルカラ、全部是ハ稅ヲ取ラレルコトニナツテシマウ、幸ニ隣ノ村ヲ入レラヌデ、自分ノ村ダケナラバ地價百九十圓ダカラ免稅ニナルガ、隣ノ村ニ二十圓持テ居ルノヲ合算スルト二百十圓ニナルカラ全部取ラレルコトニナル、サウ云フヤウナ非常不公平ヲ生ズルモノデアル、又隣接町村ト自分ノ町村トノ關係、種々ナルコトヲ細カク考ヘテ見ルト、此地租ノ免稅點位困難ナモノハナイ、餘程是ハ不公平ヲ生ズルト私ハ言フ、所ガ今回ノ此修正案デ——度ニ此法文ヲ讀ンデ見ルガ、私ガ考ヘ違ヒカモ知レナイガ、マダ是ハ質問ヲシテ御答辯ハ受ケナイガ、今回修正案ニ依テ修正ヲシタ所ニ見ルト、隣接町村ヲ加ヘラレテ居ル、前條ノ規定ニ依リ地租ヲ納ムベキ者ノ住所市町村及隣接市町村内ニ於ケル田地地價ノ合計金額其同居家族ノ分ト合算シ二百圓未滿ナルトキハ——云々トアル、隣接町村ヲ合セルト非常ニ宜イヤウデアルケレドモ、事實今ノヤウナ結果ヲ來サザルヲ得ヌノデアル、例ヘバ我ガ或ル村ニ於テ百八十圓持テ居ル、百八十圓ノ地價ヲ持テ居テ、隣ノ村ニ十圓ダケ持テ居レバ隣ノ十圓持テ居ル者ハ成程恩典ニ浴スル、所ガ今言フ通り私ガ茲ニ百八十圓ヲ持テ居テ、隣ノ村ニ二十圓持テ居ルト、二十一圓ノ隣接町村ヲ入レラレルガ爲ニ、元マデ失テシマウト云フ結果ニ相成ル、私ハドウシテモサウナルモノト思フ、サウ云フ法律ニナルト思フ、ドウシテモサウナルト私ハ思フ(發言者多

シ)サウナラナケレバ御説明ヲ願ヒタイ、(發言者多シ)サウデナケレバ——サウデナケレバ後デ能ク御説明ヲ伺フ、八釜シク御覽ギニナラナクテモ、若シ違フテ居ルナラバモウ私ハ質問ヲシナイ、此席ニ於テ初メテ之ヲ受取ツタノデアルカラ、解釋ガ違フナラバ違フト云フテ後デ辯明御説明ヲ下ス、タ方宜イト思フ(拍手)ソレカラ又小作ト云フモノニ付シタモノハ、免稅シナイト云フノハ、是ハ或ル一面カラ云フト理由ガアルヤウデアルガ、實ハ免稅點ノ範圍ヲ縮メラレタ事ニ相成ル、何處カラ見テモ私ハ却テ此地租ノ免稅點ノ範圍ヲ縮メラレ、決シテ此地租免稅點ノ間ニ起ル所ノ種々ナル不均衡、不公平ト云フモノハ、決シテ是ガ爲ニ除イテ居ラナイト私ハ感ズルノデアリマス(拍手)次ニ私ハ所得稅並ニ營業稅、資本利子稅トノ關係ニ付テ、一言致シタイト思フノデアリマスガ、先刻吾々ノ同僚デアル所ノ武藤君ヨリ、色々詳シク述べラレマシタカラ、私ハ精密ナ事ハ申シマセヌガ、一ツノ例ダケヲ茲デ申シ見タイト思フノデアリマス、例ヘバ茲ニ營業收益稅ヲ納メル者ガアツテ、一面ニ於テハ其人ガ資本利子稅ヲ納メテ居ル、此資本利子稅ト云フモノハ營業收益稅カラ控除セラレル、控除セラレルカラシテ、残りガアリサウナモノデアルガ、或ル場合ハ残りガ無イモノガ出來ル、残りノ無イノミナラズ、寧ロ資本利子稅ノ方ガ多イモノガ出來ル、サウ云フ道理ノ無イヤウナコトニナツト考ヘル、何故デアルト云フコト私ガ申ス迄モナイガ、資本利子稅ト云フモノハ經費ヲ差引イテ居ナイ、資本利子其儘ノ對シテ課稅ヲ致ス、所ガ一面ニ於テ何社ノ利益、營業收益稅ヲ見ル場合ニハ、經費ヲス、カリ差引クノデアル、ソレガ故ニ割合ニ資本利子稅ヲ納メル所ノ材料ヲ澤山持テ居テ、經費ヲ多ク使フ所ノ會社ガ私ガ申スヤウナ結果ヲ生ズル、サウ云フ馬鹿氣タコトニナル、是ハ單リ資本利子稅ト營業收益稅トノ關係ノミナラズ、委員會ニ於テ小川君モ御承認ニナリマシタ通り、此理窟ハ政府モ認メテ居ル、此理窟ハ第一種ノ所得稅ト

第二種ノ所得稅トノ場合ニ於テモ全く同一デアリマス、全ク同一デアルカラシテ矢張第二種ノ所得稅ノ方ガ第一種ノ所得稅ヨリモ多イ場合ガ出來ル、引イテ餘リノ出來ル場合ガ出來ル、斯ウ云フ場合ハドウスルカト政府ニ質問スルト、政府ハ餘計ナモノダケ取ツタノデアルカラ、其餘リノ出ルノハ已ムヲ得ナイト稱シテ居ルノデアルガ、此位ナ不公平ナコトハナイ(拍手)又斯ウ云フモノガ出來ル譯ハ何處デアルカト云フト、今申ス通り一方ハ經費ヲ差引キ、一方ハ經費ヲ差引カナイ、經費ヲ差引イタモノト、引ヲサレルカラ、斯ノ如キモノガ生ズル、是ハ餘程不合理デアル、是ハ原理ヲ段々迪テ申セバ、小川君ノ言ハレル第二種ノ所得稅、第三種ノ所得稅ト一結ニシテ、是ガ本當ノ純理デアルト云フコトニナル、事實取扱上困難デアルカラト云ウテ、謂ハム暫定的ノモノトシテ是ガ設ケテアルノデアルガ、併シ之ヲ設ケル以上ハ今少シ均衡ヲ得ルヤウニ是ハ考ヘナケレバナラヌノデアル、即チ之ヲ精密ニ細カク言フト、其稅ト稅トノ喰合フ所ニ於テ、經費ト云フモノニ對シテ特別ナル其間ニ利害ノ感ズルコトハ、是ハ明瞭デアリマス、餘程不公平ナモノニナルノデアリマスガ故ニ、是等ハ餘程考ヘナクチャナラヌ、ソレカラ又一方ニ於テ、是ハ私共ノ修正ガ幸ニ容ラレテ修正ニナリマシタガ、諸君モ御承知デ、既ニ報告ニモナリマシタ通り、資本利子稅ト云フモノノ營業收益稅カラ引ク結果トシテ、地方ノ附加稅ト云フモノニ對シテ非常ナル原案ハ影響ヲ來スコトニ相成、テ居ル、斯ウ云フコトハ餘程重大ナル政府案ト云フモノノ缺陷デアルト云フコトハ、委員長モ御報告ニナツタ通りデアリマス、サウ云フコトヲ數ヘ來リマスレバ尙ホ隨分アリマスガ、細カク研究ヲ致シテ見ルト、サウ云フコトノ間ニ均衡ノ取レナイ所ノモノガ隨分澤山アル、ソレデ殊ニ私ハ此際一言明瞭ニ此處デ申シテ置キタイト思ヒマスノハ、營業收益稅ノ問題デアリマス、是ハ今迄モ多數ノ

方ニ依テ此演壇ニ於キマシテ論ゼラレ、政府ニ於テハ是ガ總括シテ減税ニナルト云フコトヲ言ハレテ居ルガ、決シテ減税ニハナラナイ、増税ニナルト云フコトヲ唱ヘラレタノデアアルガ、實ハ政府ノ計算ノ仕方ニ對シテ私ハ異論ガアルノデアアリマス、政府ノ計算ト云フモノハ、來年度ニ於テ此儘デ置ケバ當然殖エテ來ル所ノ稅ヲ標的トシテ、是カラ今回決メル所ノ收益稅ヲ積リテ、差引イテ減税ニナルト云フノデアアルカラ、此計算方法ト云フモノハ決シテ私ハ正シキ計算デナイト認メテ居リマス(拍手)併ナガラ假ニ政府ノ言ハレルヤウナコトニ相成ルト假定ヲ致ス、私ハソレハ承知ガ出來ナイガ、假定ヲ致シテ、所デ斯ウ云フコトヲ一ツ考ヘテ見テ貰ヒタイ、一等低イ所ノ營業者ハドウデアアリマセウ、御承知ノ通り政府ノ提案ニ依ルト云フト、最低ノ營業收益稅ノ納稅者ハ純益四百圓、今迄ドウデアアルカト云ヘバ、賣上金額二千圓、之ヲ物品販賣業ニ當テ、考ヘテ見マスト云フト、今迄ハ一千圓ニ付テ三圓ノ稅デアリマスガ故ニ、二千圓ノ最低ノ賣上ノ人ト云フモノハ六圓ノ營業稅デ、之ニ從業者一人居テ、一圓加ヘタ所ガ八圓、二人ノ從業者ヲ斯ウ云フ人デ居ケルハハ無カラウト思ヒマスガ、假ニ二人ノ從業者ガ之ニ加ハルトシテモ尙且ツ十圓ノ税金デ済ムノデアアルガ、今回ノ一等低イ純益四百圓ノ人ガドウデアアルカト云ヘバ、十一圓二十錢ヲ納メナクテハナラヌノデアリマス、ソレデアルカラ最低ノ人ト云フモノハ、ドウシテモ是ハ明瞭ニ増税ニナルノデアリマス、若シ此算盤ガ違フテ居ルト云フナラバ、此演壇デ明瞭ニ數字ヲ計算シテ見レバ明デアリマス、此位明ナル數字ハ、最早何ト大キナ聲ヲ御出シニナシテモ、胡麻化スコトハ出來ナイノデアリマス(拍手)ソコデ斯ウ言フト反對ノ人ヤ或ハ政府ハ斯ウ言フカモ知レナイ、純益ハ成程四百圓デアアルケレドモ、一方ニ於テハ賣上デアアルカラ二割ナドハ利益ハナイノデアアルト言ハレルカモ知レナイ、所ガ一等低イ所ノ營業者ガ、二千圓シカナイ

賣上ノ人ガ、二割ヤソコ等儲ケズニドウシテ食ヘルカト云フコトハ、必ズ是ハ稅務署ノ人ハ言フニ違ヒナイ、今迄一般ノ日本中ノ人ハ皆ソレデヤラレテ居ル、ドウ云フ風ニヤラレルカト云フト理窟デ押付ケラレテ、オ前ノ家ハ家族ガ幾人アル、此位ノ純益ガナクシテ飯ガ食ヘル道理アルカト責メラレルカラ、據ロナク稅務署ノ役人ノ言フ所ニ服スル、ソレデアアルカラ事實ニ於テ二割ソコ等ノ儲ケガナクテ食ヘル苦ガナイ、儲ケガナクテドウナルカト云フコトニナルコトハ明デアリマス、ソレノミナラズ茲ニ最モ諸君ニ訴ヘテ置カナケレバナラヌノハ、此最モ低イ所ノ所得純益ノ中ニハ家庭ノ者ノ實ハ給料ガ這入ッテ居ル、實社デアルトカ、大キナ所ハ人ヲ使ヘバ給料ヲ拂フ、其給料ハ純益カラ當然差引クコトガ出來ル所ガ夫婦二人、子供位使ッテ細カイ商賣ヲヤッテ居ル人ハ、親爺や息子や、細君ニハ給料ヲ拂ッテ居ナイノデアアルカラ、ソレハ生活費トシテ見ラレテ經費カラ差引クコトガ出來ナイ、ソレデアアルカラ極ク低イ人ノ收益ト政府ガ見ル中ニハ、實ハ勤勞ガ這入ッテ居ル、其家ノ人ノ勤勞ガ這入ッテ居ル、是ハ頗ル苛酷ナモノデアアルト云フコトハ吾々ハ思ハナケレバナラヌ(拍手)ソレノミナラズ、只今申上タル通り、家ハドウデアアルカ東京邊リデ見レバ裏店ト云フヤウナ所ノ人ハ、高イ借家デアアルカモ知レナイガ、是ガ少シ地方ニ出レバ隨分小サイ商人デアッテモ、家ダケハ小サイナガラ自分デ所有シテ居ル、此家賃ハ收益カラ引イテ貰ヘナイ、己ノ家ニ對スル此賃賃價格ニ對シテ、結局營業收益稅ヲ拂フト同ジ結果ニナルコトハ、是ハ明瞭デアリマス、斯ウ云フ事柄ト云フモノハ、餘程是ハ政府ニ於テモ御考ヘヲ願ヒ、吾々モ大多數ノ國民ノ爲ニ深ク考ヘナクテハナラヌ所ノコトデアルト思フ、殊ニ私ハ此營業稅ノ免稅點ニ付テ頗ル不公平デアアルト思フハ、所得稅ト鈞合ハヌコトデアリマス、先刻申シタ通り、體系ノ上カラ云ヘバ、營業稅ト云フモノハ所得稅ノ補完稅、所得稅ヲ完カラシムル稅デアリマ

ス、恰モ二重ニ所得稅ヲ課スルト同ジ性質ノモノデアアルト云フコトハ、是ハ總テ認メザルヲ得ザルコトニ相成ッテ居ル、然ルニ所得稅ノ免稅點ハ千二百圓、營業收益稅ハ同ジ純益(課セラルル)ノデアアルノ千四百圓デアアルカラ、營業稅ヲシナイ所ノ人ハ千二百圓以上デナクテヤ所得稅ヲ出サヌノデアリマスガ、細カイ營業ヲスル所謂小商人ト云フモノハ、同ジ純益デアアルノ千四百圓マデ之ニ課セラレルト云フニ至ッテハ、決シテ是ハ所得稅ノ補完稅トシテ公平ナルモノト吾々ハ言フコトハ出來ナイノデアリマス、ソレカラ私ハ間接稅ニ付テ大體ノ批評ヲ致シテ見タイ、煙草ノコトニ付テモ隨分私ハ論ジラレルコトデアアラウト思フカラ、大體私ハ酒ト清涼飲料水ノ稅ノコトニ付テ申シテ見タイノデアアルガ、全體我國ハ酒ノ稅ヲ澤山取ッテ居ル、隨分澤山ノ酒稅ガ上ガル、二億以上デアアル、此酒稅ヲ取ルニ對シテ政府ハ國家トシテ酒——「アルコール」ヲ含ンデ居ル所ノ飲料ニ對シテ國家的政策ガ定テ居ラナイト云フノハ、全體ドウ云フ譯デアリマセウカ、私ハ常ニ考ヘル、亞米利加ノ如キハ御承知ノ通り禁酒ヲ行ッテ——國家ハ政策トシテ一ツノ禁酒ヲ行ッテ、是モ一ツノ主義デアリマス、併ナガラ吾々ハ果シテ日本酒ヲ日本人ガ飲ム、是ガ絶體ニ禁酒ガ行ヘルカドウカト云フコトハ、一ツノ疑問ト私個人ハ致シテ居ル、是ハ私ノ個人ノ意見デアアルガ、亞米利加合衆國ハ如何デアアル、禁酒ヲ行ッテ、ドウシテモ今迄酒ヲ飲ンデ居ル所ノ者ハ酒ヲ廢メテ居ラナイ、其結果ドウナツカト云フト、御承知ノ通り藥屋(行)テ「メチールアルコール」ヲ飲ム、サウシテ是ハ非常ニ身體ニ害ガアルト云フノデアアルハ法令ヲ以テ禁ジテ、其結果ハドウナツテ居ルカ、「コカイン」水ガ盛ニ賣レル、「コカイン」ハ飲ンデ一種ノ魔睡ヲ感ズルモノデアアル、水ノ中ニ溶カシテ、恰モ酒ヲ飲ンダ如ク陶然トシタ氣ニナル、ソレデ亞米利加ハ今「コカイン」ノ輸入禁止ヲスルニ付テハ、政策上非常ニ苦ンデ居ルコトハ私ガ申

スマデモナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマスカラ、酒ト云フモノハ日本人全體ガ、中ニハ禁酒スル人モアリ、私ノヤウニ飲マナイ者モアルガ、大多數ノ飲ム所ノ飲料、殊ニ是ハ衛生上ニ於テハ重大ナル關係ヲ國民ノ保健ノ上ニ持ツモノデアリマスガ故ニ、國家トシテハ、此酒ニ對スル相當ノ政策ガ決マッテ居ラナケレバナラヌ、此政策ハ、ドウシテモ飲マシテハイケナイケレドモ、全ク禁酒ハ出來ナイ、如何ニシテ之ヲヤル、恰モ關稅ト同ジヤウナ性質ニ相成ラネバナラヌモノデアアルト、常ニ私個人ハ信ジテ居ル、酒ノ稅ハ取レバ宜イト云フ收入主義デハイケナイ、政策ト伴フモノデナケレバイカヌガ、私ガ質問シタ結果ニ依ルト、政府ハ之ニ對シテハ政策ナシ、唯、現在有リノ儘ヲ見テ稅ヲ課スルダケデアルト答ヘラレテ居ルガ、此位ナ無方針無定見ハアリマセヌ(拍手)其本カラ眞ニ國家ガ定メテ掛ラナケレバナラヌ、酒ヲ増稅スルカシナイカ、麥酒ヲドウ云フ風ニ扱フカ、清涼飲料水ヲドウ云フ風ニ扱フカ、分ラナイ、政府ハドウデアアリマスガ、酒ノ稅ヲ増ス時ハ何ト云フ、生活必需品デヤナイ、嗜好品デアルカラ稅ハ重クシテモ宜イト言ハレル、此時ニハ稅ガ重クナルカラ國民ガ飲マナイヤウニ減ルコトヲ希望スル意味ニ於テ、増稅ヲスルト云フコトハ明瞭デアアル、然ルニ一方ニ於テ清涼飲料ニ稅ヲ掛ケルニ付テノ答辯ハドウデアアルカ、麥酒ガ賣レナクナルカラ、清涼飲料ニ稅ヲ掛ケテ増ス(拍手)片方デハ酒ノ稅ヲ増シテ、成タケ國民ニ嗜好品ヲ少ク使ハセルヤウナ政策ヲ執ルカノ如ク言ッテ、一面ニ於テハ收入主義カラ麥酒ヲ賣ラセル爲ニ、寧ろ國民ノ衛生ニハ有益デアアル所ノ清涼飲料水ニ稅ヲ掛ケテ、以テ麥酒賣行ヲ圖ラントスル、此位矛盾著シタ遺方ハアリマセヌ(拍手)ソレカラ私ハ此際尙ホ一言申述ベタイト思フノハ、此醬油稅ニ關係致シマシテ——此樺太ノ醬油稅ニ關スル所ノ事デアリマス、明治四十年法律第二十一號ノ改正ト云フモノハ、只今撤回サレズニ當議場ニ上ッテ、私共ノ議題ト相

成テ居ル所ノモノデアル、是ハドウ云フ事
デアルカト云ヘバ、諸君ガ御承知ノ通り、
内地ハ勿論、臺灣、樺太カラ朝鮮ニ將油ヲ
移出スル、此朝鮮ニ移入シタル物ニ關シテハ、
彼方デ將油稅ガ掛カルカラシテ、内地並ニ
樺太、臺灣ニ於ケル所ノ將油稅ハ之ヲ免除
スル、或ハ割戻シヲスルト云フコトノ法律
デアルノデアリマス、然レニ内地ハ悉ク今
回將油稅ガ廢サレカラシテ、此法律モ當
然廢セラレテ宜イノデアリマス、樺太ハ如何
デアリマスカ、豫算ノ上ニ於テハ樺太ニ於
テ將油稅ヲ取ルコトハ豫算ニ組込シテアル
カラシテ、將油稅ヲ廢止セナイ形式ニナ
テ居ル、然レニ先日常議場ニ於テ内地ト均
等ヲ得セシメル爲ニ、樺太ニ於ケル將油稅
ハ全廢スルト云フ法律案ヲ出サレテ、ソコ
デ石坂君カラ色々質問ニナツテ、突込マレタ
結果、政府ハ手違アリト稱シテ此樺太ニ於
ケル將油稅ヲ廢止スルト云フ案ハ撤回ヲサ
レタ、ソレデ豫算ハ殘テ居ル、依然トシテ
樺太ニ於テハ將油稅ヲ取ル所ノ豫算ガ殘
テ居ル、ソレデアルカラ、内地ハ悉ク此法
律案ガ通レバ、其結果將油稅ガ全廢サレル
ノデアル、獨リ樺太ダケハ向ホ一年間今迄
通りノ將油稅ヲ取ラレト云フコトニ相成
ル、是ガ既ニ樺太住民ニ對シテハ海ニ氣ノ
毒ナ事デアルト思フノニ、今回此處ニ出テ
居ル所ノ法律ハドウデアリマスカ、明治
四十年法律第二十一號、之ヲ全廢スル
ト云フ、是ハ撤回サレズシテ今議題ニ
ナツテ居ル、之ヲ全廢シタル結果ハドウナル、
樺太カラ朝鮮ニ移入スル所ノ將油ニ對シテ
ハ、今迄ノヤウニ割戻シハ最早實ヘナクナ
ル、一面ニ於テハ相變ラズ將油稅ヲ取ル、
内地ハ廢シタル樺太デ取ル、廢サレタ内地
ト同ジヤウニ樺太カラ朝鮮ニ將油ヲ移入シ
タ場合ニ、割戻シハ實ヘナイ、内地デモ稅
ヲ取ラレ、朝鮮デモ二重稅ヲ取ラレル結果
ニ陥ルノデアル、サウ云フ事實ニ相成ル、
是ハ如何ナル譯デアアルカト吾々ハ政府ニ質
問シタル所ガ、大藏大臣自ラ斯ウ答ヘラレテ
居ル、樺太ニハ只今朝鮮ニ將油ヲ出ス者ガア
リマセスト答ヘラレテ居ルノデアルガ、是

ハ餘程、不思議ナ答辯デアアル、實ハ樺太ニ
將油ヲ造ル人ガ無イト云フナラバ、マダシ
モデアアル、樺太ニハ將油ヲ造ル人ガアツテ
之ニ對シテハ政府ハ稅ヲ取ツテ、豫算ニ迄
計上シテ居ル、ソレデアアルカラ、此將油ノ
釀造家ハ、明日ニデモ引合サヘスレバ朝鮮
ニ荷物ヲ出シタイケレドモ、政府ガ此戻稅
ヲ與レナイトスレバ、到底臺灣ヤ内地ノ將
油業者ト競争ハ出來ナイ、即チ樺太カラ朝
鮮ニ將油ヲ移出スルコトヲ禁止スルノト全
ク同ジ所ノ結果ヲ來スモノデアアル、此位ナ
不條理ナ法案ト云フモノハデアリマス（拍
手）若シ之ニ理由ガアルナラバ私ハ承リタ
イモノデアアル、此位ナ不條理ナ事ハ無イ、
實ハ此資本利子稅ヲ營業收益稅カラ引クコ
トニ付テノ質問ニ對シテハ、海ニ内務大臣
ハ適當ナル御答辯ニナツテ、私ハ實ニ其心事
ヲ正シテ居ル一人デアアルガ、此問題ニ
對シテモ、矢張明カニ早ク兜ヲ御脱ギニナ
ルノガ、私ハ當然デアアルト思フノデアリ
マス（拍手）次ニ私ハ地方稅ニ這入ツテ一言
ヲ費シテ見タイト思ヒマス、地方稅ニ付テ
ハ色々ナル議論ガアリマスルガ、私ハ先ヅ
斯ウ云フ事カラ地方ヲ觀察シテ見タイト思
テ居ルノデアアル、地方ト云フモノハ中央ト
ハ違フテ、全ク此稅源ニ乏シイノデアアル、
財源ニ乏シイノデアアル、是ハ諸君ガ御承知
ノ通りデアアル、而シテ地方事務ハドウデア
ルカト云ヘバ、諸君ガ御承知ノ通り、府縣
制又ハ市制、町村制ニ於テ定メラレテ居
テ、己ガ爲ス所ノ地方ノ自治體自ラガ爲ス
所ノ自治事務、ソレカラ一面ニ於テハ國家
ノ委任事務、更ニ一面ニ於テハ國家ヨリ管
掌セシメマスル所ノ管掌事務、此三ツノ事
務デアアル、所ガ現在日本ノ自治體ガヤツテ
居ル所ハドウデアアルカト云ヘバ、國家ノ委
任事務又ハ管掌事務ト云フモノガ非常ニ多
クテ、ソレガ爲ニ費用ニ困難ヲ致シテ、自
治體其モノガ當ニ爲スベキ自治事務ト云フ
モノニ非常ニ苦シデ居ルト云フノガ現在ノ
實情デアリマス（ヒヤ）（拍手）即チ只今
豫算ニ於テ地方稅總額ハドレダケデアアルカ
ト云ヘバ、府縣稅、町村稅ヲ集メテ約十三

億、此歲出ハドウ云フ風ニ分レテ居ルカト
云フト、教育費ガ三億五千六百萬圓、土木
費ガ二億一千萬圓、ソレハ最も大ナルモノ
デアアルガ、ソレカラ役所費、役場費ト云フ
ヤウナモノガドレダケデアアルカト云ヘバ、
一億三百萬圓、衛生費ハ僅ニ九千三百萬圓、
殊ニ勸業費ハ幾ラデアアルカト云ヘバ、僅ニ
五千九百萬圓ニ過ギヌノデアリマス、是ハ
何故勸業費ガ斯ノ如ク少イカト云ヘバ、地
方トシテハ此勸業費ヲ殖ヤシテ仕事ヲヤリ
タイノデアアルガ、此勸業費ノ多クハ自治事
務——自治體其モノ、事務、國家ノ管掌事
務、委任事務ガ非常ニ多ク嵩シデ、經費ニ
困難ヲ致ス爲ニ、己レ自ラガヤラナケレバ
ナラヌ、ヤリタイ勸業費ニ多クノ金ヲ使フ
コトガ出來ナイ結果ハ、十三億ノ歲出ノ
中デ、勸業費ニ僅ニ五千九百萬圓ト云フコ
トニ相成テ居ル、之ヲ救済シ救ハウト云フ
ニハ、吾々ハドウシテモ地方ニ相當ノ財源
ヲ他カラ與ヘルニ非ザレバ、本當ノ整理ハ
出來ナイト云フコトヲ常ニ考ヘテ居ルノデ
アリマス（拍手）ソコデ私ハ是ハ政府ノ案ト
比ベテ申シテ見タイガ、先刻小川君ハ色々
之ニ對シテ御說明デアリマシタガ、私ハ理
窟ハ拔キマシテ、事實上カラ之ヲ申述ベテ
見タイト思フ、政府ノ案ハ今回ドウナルカ
ト云ヘバ、斯ウナル、府縣稅ト云フモノ、
中ニ於テ、戶數割ト云フモノヲ全廢シヤウ、
是ハ私共大賛成デアアル、結構デアアル、所ガ
戶數割ニ對シテ先刻モ御批評ガアツタガ、
吾々ハ戶數割ト云フモノヲ今日絕對否認シ
テ居リマセヌ、財政經濟調查會時代カラ之
ヲ市町村ニ殘シテ置クコトハ、其地方ノ事
情ノ許ス程度ニ於テハ、吾々ハ微妙ナ勸キ
ヲ爲スモノデアアルカラ、是ハ吾々ハ財政經濟
調查會ニ於テモ之ヲ論ジタケレドモ、餘リニ
此金額ガ多ク、殊ニ弊害ガアルノハ府縣ニ
於ケル戶數割デアリマスガ故ニ、之ヲ全廢
シタイト云フコトヲ財政經濟調查會以來吾々
ハ唱ヘテ居ル、是ハ政府モ今度止メマス
ト云フカラ、吾々ハ敢テ反對ハナシ、又
政府ハドウ云フ事ヲヤルカト云ヘバ、一面
ニ於テ府縣營業稅ノ改正ヲシ、一面ニ於テ

府縣雜種稅ノ整理ヲスル、是モ洵ニ結構デ、
吾々ハ之ニ反對ハナシ、ケレドモ此財源ヲ
政府ガ何處カラ求メルカト云フト、家屋稅
ニ三千萬圓ヲ求メ、市町村ガ今マデ取テ
居ル所ノ所得稅割、千八百萬圓ヲ府縣ノ方
（委讓セシメ、其足ラズ前ハ更ニ所得稅ヲ
増シテ之ヲヤラウト云フノデアアルカラ、吾
吾ハ之ニ對シテハ地方ガ非常ニ困憊ニ陥ル
ト云フコトヲ明言スルノデアアル（拍手）ソレ
カラ家屋稅ニ對シテモ色々御議論ガアツタ
ガ、吾々モ家屋稅ヲ絕對ニ惡イト云ウタ覺
エハナイ、三土君モ家屋稅ハ或ル程度マデ
ハ宜カラウト云フコトヲ先刻カラ論ジテ居
ラレルノデ、吾々決シテ家屋稅ヲ根本カラ
惡イトハ思ヒマセヌケレドモ、財政經濟調
査會ニ於テ定メタル所ノ金額ハ幾ラデア
カト云ヘバ、千五百萬圓デアアル、千五百萬
圓程度ノ家屋稅デアラナラバ、先ヅ之ヲ認
メヤウト云フノガ、其時ノ議論、吾々モ其
程度マデナラバ或ハ宜カラウト當時思タ
ノデアアル、是ハ私一個ノ意見デアアルガ、當
時私サウ云フコトヲ申シタ、今日モ其通り
ニ私ハ考ヘテ居ル、所ガ府縣ニ於テ、直ニ
家屋稅三千萬圓ヲ茲ニ賦課シ、市町村ニ對
シテ尙且ツ之ト同額ノ附加稅ヲ許スト云フ
コトニナレバ、全部取ラレルナラバ是ダケ
デモ六千萬圓ト云フ家屋稅ヲ取ラレルノデ
アル、千五百萬圓ト云フ家屋稅ト、六千
五百萬圓多イ、サウ云フ三倍ニモ達セント
スルガ如キ家屋稅一時ニ課シタルナラバ、
果シテ我ガ地方ハドウナルカ、是ガ問題デ
アリマス、此新シキ稅ヲ課シテ直ニ之ニ對
シテ六千萬圓ノ稅ヲ許スト云フコトニナレ
バ、是ハ實ニ過重デアアルト云フコトハ小川
君モ實ハ先刻カラ吾々ト御同論デアッタヤ
ウデアアル、更ニ此家屋稅ノコトガ如何ニモ
政府當局ノ御方ニ實情ノ分ツテ居ナイコト
ヲ私ハ深く遺憾トスルモノデアアル、家屋稅
ガ圓滿ニ都合宜ク行ヘマスナラバ、實ハ市
町村ノ事務ニ當テ居ル所ノ者ハ、誰モ之
ヲヤツテ見タイ所ノ稅デアアル、吾々モ實ハ
當テ地方自治ニハ長ク關係シタコトハアル

ガ、戸數割ナド、面倒ナコトヲシテ課スル
ヨリモ、家屋稅ガ行ケルナラバ誰デモ之ヲ
ヤテ見タイト思フコトハ、凡ソ地方事務
ニ關係スルモノニ於テハ齊シク思フ所
デアルケレドモ、然ルニ是ガ今日マデ實際
行ハレテ居ナイノハ如何ナル理由デアリマ
セウカ、洵ニ是ハ困タコトデアリマシテ、
日本ノ家屋ト云フモノハ、必ズシモ貧者ト
富者ト其財產ニ應ジテ家ノ大キイ小サイニ
違入テ居ナイ、比較的財產ノ少イ者ガ比
較的本道家屋デアルト大キイ家ニ居ル、都
ナドハ段々是ハ整理淘汰サレテ、自然競争
ノ結果トシテ——生存競争ノ結果トシテ、
富者ハ立派ナ家ニ居リ、貧者ハ比較的小サ
イ家ニ居ルト云フコトニハ相成テ來ルノ
デアリマスガ、地方ニ行テ見レバ、決シテ
サウハイカナイ、殊ニ小農ノ如キ者、小作
ノ人、諸君ガ非常ニ之ヲ保護サレヤウトス
ル所ノ小作ノ如キハドウデアルカ、成程家
ハ見苦シイ、富ンデ居ル人ノヤウニ立派ナ
家ヤ、或ハ床ノ間ノアル家ニハ這入テ居
ナイケレドモ、建坪カラ言ヘバ相當建坪
ノ家ニ住居致シテ居ル、ソレニ肥小小屋モ
要ル、牛小屋モ要ル、農業ヲヤレバ物置モ
要ル、殊ニ養蠶ヲヤルモノハ養蠶部屋ガ要
ル、ソレデアリマスカラ此小農ナルモノハ非常
ニ是ハ苦痛ヲ爲スニ至テ、一大重稅ニナ
テ、富ンダ者ハ非常ニ少クナリ、貧シキ者ハ
非常ニ殖エルト云フコトハ、是ハ明瞭ナル
事實デアルト吾々ハ思フテ居ル、ソレデス
ウ云フ事カラ考ヘテ見マスルト云フト、今
回ノ政府ノ案デ往クト、餘程是ハ地方民ガ家
屋稅デ苦ナクテナラヌ、更ニ之ヲ町村
ヘ持ッテ行テ見ルトドウナルカ、府縣ノ方
ハマダ幾ラカソレデモ宜イ、忍ベバ忍ベル
點ガアリマスルガ

〔此時「議長」「議長」「退場ヲ命ジロ」ト
呼フ者其發言スル者多シ〕
○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス
〔議長、退場ヲ命ズベシ〕其他發言スル
者多シ
○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス
○大口喜六君(續) 殊ニ府縣ノ方ハ只今モ

申シマス通り尙多少忍ベル點ガアルト致シ
マシテモ、町村ニ至レバ非常ナル困難ニ陷
ルト云フコトハ是ハ明瞭デアルヤウニ思フ
ノデアリマス(拍手)町村ハ只今モ申ス通り
千八百萬圓ト云フ所得稅附加稅、今迄取
テ居タル所ノ所得稅附加稅ハ、之ヲ府縣ニ
委讓シナクテハナラナイ、即チ町村ノ財源
ト云フモノハ千八百萬圓減ズルノデアアル、
其他府縣營業稅、府縣雜種稅ノ整理ノ結果、
足りナクナツテ來ルモノハ……

〔此時「退場ヲ命ズベシ」「議長何故整理
シマセヌ」其他發言スル者多シ〕
○副議長(小泉又次郎君) 只今大口君ノ發
言中デアリマス、暫ク靜肅ニ願ヒマス——
暫時御靜肅ニ願ヒマス

○大口喜六君(續) 此市町村ノ失ツタ所ノ
財源ヲ如何ニシテ之ヲ補填スルカト云フナ
ラバ、言フマデモナク只今申シタ新設ノ家
屋稅ヲ増スカ、然ラザレバ是マデアツタ所
ノ戸數割ヲ増徴スルノ外ハナイコトニナル
ノデアリマス(拍手)即チ現在ノ政府案ト云
フモノノ之ヲ概括シテ言フト、地方稅ニ於
テハ唯、府縣稅ノ戸數割ヲ廢メタ、營業稅
ノ一部分ヲ整理シタ、或ハ雜種稅ノ一部分
ヲ整理シタ、是ハ宜シイガ、之ニ代ルニ重
キ——實ニ重大ナル家屋稅ヲ以テシタト云
フ歸著點ニ相成ルデアリマス、是デハ縣稅附
加稅、戸數割ヲ減ジテ見タル所ガ、其間ニド
レダケノ差ガ國民ニアルカト云フコトヲ吾
吾ハ疑ハザルヲ得ヌノデアアル(拍手)ソコデ
之ヲ根本カラ整理シヤウト云ヘバ、誰ガ考
ヘテモ、地方ニ相當ナル財源ヲ與ヘテ掛カ
ラナケレバナラナイ、地方ニ財源ヲ與ヘテ
地方ノ財政ト云フモノガ鞏固ニナラナケ
レバ、其自治事務ト云フモノハ發達シナイ、
即チ市町村其モノガ自ラ當然爲スベキ所ノ
仕事ガ發達シナイノデアアルガ故ニ、之ヲ發
達セシメテ我國ノ國家ノ基礎ヲ鞏固ニシ、
産業ノ發展ヲ圖ルニハ、如何ニシテモ自
ラ適當ナル財源ヲ與ヘテ、地方ノ稅制ノ根本
的整理ヲ爲シ、其確立ヲ圖ラネバナラナイ
ト云フノガ、吾々ガ地租委讓ヲ唱ヘル所ノ
理由ノ一ツノ骨子ニ相成テ居ルノデアリ

マス(拍手)ソレデニ之ニ對シテ色々稅源ノ御
話ガアルガ、私ハ違フ方面カラ一ツ此稅
源ニ對シテ政府ノ財政ヲ批評ヲ致シテ見タ
イト思フ、之ニ對シテ政府ノ答辯モ、又先
刻小川君ノ言ハレタコトカラ論及シテモ、
色々矛盾ガアル、或ル場合ノ時ニハ剩餘
金ト云フモノハ幾ラデモ出ルヤウナコトヲ
言フ、サウ言フカト思フ、或ル場合ニ於テ
ハ一錢一厘モ無イヤウナコトヲ言ハレル、
然ルニ政府ノ懷口合ハ今ドウナツテ居ルノ
デアラウカ、三文モ無イト云フヤウナコト
ヲ言ツテ居ラレルガ、現ニ吾々ニ與ヘラレテ
居ル參考書ノ中ニ書イテアル通り、三億圓
ニ近キ大金、二億九千何百萬圓デアリマス
カ、三億圓ニ近キ所ノ剩餘金ヲ政府ガウ
ント握ツテ、大藏省ヘ積ンデ、一寸モ手ヲ
著ケズニ持ツテ居ル、何故此金ヲ出サナイ
カト云フト、政府ハ斯ウ答ヘル、ソレハ財
政計畫上、向フ四年間ノ歲入ニ充テタモノ
デアアルカラ、之ヲ取テ置カナケレバ、財
政ノ基礎鞏固ナラズト言ハレル、然ラバ政
府ノ財政計畫トハ如何ナルモノデアアルカト
問ウテ見ルト、何時モ豫算ノ時ニ參考ニ出
サレル十箇年先キノ豫算概計表ト云フモノ
ガアル、此豫算概計表ヲ骨子トシテ何時モ
論ゼラレル、其他ニハ別ニ財政計畫ト云フ
モノハ、吾々ニ御示シニナツタコトガナイ、
是ヨリ外ニ據リ場ガナイ、ソコデ所謂政府ノ
財政計畫トシテ、金城鐵壁ノヤウニ言ハレ
ル此概計表ヲ拜見スルト、ドウデアアルカト云
フニ、成程十箇年先キノ事ヲ書イテアル、
始マリハドウデアアルカト云フト、現在ノ豫
算ヲ一般會計ヲ其總合セテ、ズツト殖ヤス
モ減ラスモ十箇年ヲ以テ限ツテ、其中カラ法
律上或ハ繼續事業ナドノ當然ノ結果トシテ、
減ルモノハ減ラシ、殖スモノハ殖シテ計算
ヲ致シテ、其足りナイ金ニ對シテハ、今ノ
剩餘金ヲ四年分積ンデ、此不足ニ充テルト
云フ遣方、是ハ決シテ眞ノ財政計畫デハナ
イ、大藏大臣ノ言ハレル通り、毎年々々是
カラ殖エル所ノ支出モアル、是ハ少クモ二
年ナリ三年ナリ前マデ、政府ノ責任ノアル
人ハ考ヘテ、海軍ノ支出ガドウナル、二部

教育費ハ是カラ先キドウスル、震災ノ復舊
費ヲドウナルトカ、國家ノ財政總ト事ヲ
考ヘラレ、出ノ方モ考ヘラレ、入ノ方モ矢
張毎年々々殖エテ來ル、歲入ト云フモノモ
相當ニ計算ヲサレ、兩方合セテ十分考ヘラ
レテ、茲ニ計畫ヲ樹テラレタナラバ、是ガ
本當ノ財政計畫デアアル、ソレヲ中ニ來年ノ
事ハ分ルガ、其翌年ハ分ラナイト政府ハ答
ヘテ、斯ウ云フ計畫ハ一切サレナイ、所ガ
茲ニ一ツ隱レタル問題ガアル、ドウ云フ問
題デアアルカト云ヘバ、今言フ剩餘金ノ問題
ガ向ホアル、ドウ云フコトデアアルカト云
ヘバ、今年ノ出入ヲ合セテ、出入ハ無イト
云フコトニナツテ居ルガ、其中ニハ何ゾ知
ラン、必ズ二億ノ剩餘金ガ出ルノデアアル、
斯ウ云フトソレハ剩餘金デアアルカラ、自然
増收ガアツタリ、手ニ取テ見ナケレバ剩餘
金ハ分ラナイト答ヘラレルデアラウガ、是
ハ一ツノ理窟デアリマス、事實ニ於テ必ズ
出ルニ極ツテ居ル、去年モ一文モ出ナイヤ
ウニ言ハレタノニ、昨年ノ豫算ノ決算ヲシ
タ締メハドウデアリマス、矢張二億以上ノ
剩餘金ガ出テ居ル、ソレデアアルカラ二億ノ
剩餘金ヲ含シテ盡スト行テ居ル、其外ニ
毎年々々歲入ハ更ニ其年々々又自然増收ト
云フモノガナクテハナラヌノデアアル、斯ウ
云フ積リ方ト云フモノハ、全體日本ノ大藏
省ノ經濟——豫算ノ組方ガ違フテ居ルノデ
アル、是ハ言フ迄モナク英國流ニヤラレタ
ラ結構デアルト思フノデアリマス、是ハ濱
口大藏大臣モ御認メニナツテ居タヤウダ、
ソレ迄ニ直ニ行カナイニシテモ、吾々ハ今
先ヅ此財政ノ根本ニ立入ツテ、此計畫ヲ變
ヘナクテハナラヌト思フ、本當ニ眞面目ニ、
實際問題ニ觸レルヤウニ、實際ニ合致スル
ヤウニ、之ヲ本當ノ計畫ヲシテ見ナケレバ
ナラヌ、サウスレバ其間ニハ當然又餘格ガ
出ルコトハ吾々ハ明瞭デアアル、成程机上デ
云ヘバ、吾々ガ言フ通り關稅ノ收入ハ吾々
ハ見込ミ得ル、或ハ六千七百萬圓ト云
テモ宜シ、六百萬圓ト云テモ宜シイガ、
震災復興復舊費ヲ混ゼテモ宜イ、道理ハサ
ウデアアルカラ、吾々ハ之ヲ何所マデモ主張

スルノデアリマス、政府ノ懷ロニ遣入ッテ見ルト、今小川君ガ義務教育費言ハレタ通り、紳士トシテ餘裕アルモノデアアル、三千万圓ヤ五千万圓ハ、小川君ノ言ハレタ御論カラ云ヘバ、事實ハ何デモナイ、現ニ鐵道大臣ハ何ト云ハレタ、昨日ノ委員會デ、吾々委員ニ何ト云フテ居ラレカ、鐵道ノ益金ガ三千万圓ヤ二千万圓違フノハ、澤山ノ商賣スレバ當リ前デアアル、此位違フノハ當然デアアル、足ラヌノハドウスルカ、其時ニハ何トデモ又歳入ノ途ガアッテ、公債ヲ募ル、公債ガ出來ナイニシテモ其位ノコトハドウデモナルト云フテ居ル(拍手)今ノ日本ノ財政ハ、演壇ヤ机ノ上デムツカシイ議論ヲスルト、剩餘金ハ恆久の財源デアナイト云フカ言フガ、内情ニ立入ッテ、眞ニ日本ノ財政ノ内部ヲ解剖シテ見ルト、ソナモノデアナイ、之ヲ打破ッテ、吾々ハ根本ニ立入ッテ、此財政ノ改革ヲ致スベキモノデアアル、サウスレバ吾々ノ言フ理窟ナドハ、諸君ガ明瞭ニ御認メニナラレルモノデアアルト私ハ考ヘル、私ハ茲ニソレニ對スル一例ヲ舉ゲテ見タイト思フ(「簡單」ト呼フ者アリ)苟モ大切ナル國民ノ負擔ヲ論ズルノデアリマス、何ト仰シヤッテモ私ハ簡單ニハ致シマス、言フダケノコトハ私ハ此處デ申ス考デアリマス(拍手)私ハ是ハ稅制ノ委員會デ質問シタノデアリマスガ、政府ハ取調ベタ上デ答辯ヲスルト云フコトデアリマシタガ、マダ答辯ハ致シテ居リマセヌ、ケレドモ私ハ茲ニ其全文ヲ讀ミタイノデアリマスガ、是ハ委員會デ讀ンダカラ、私ハ略スルノデアリマス、事柄ハドウデアアルカト云ヘバ、東京ノ日本橋ノ管轄シテ居ル所ノ稅務署ニ於テ、其筋ノ内訓デアアルト云フノデ、マダ決マッテ居ナイ所ノ所得稅ヲ、態決メズニ年度ノ濟ムマデ延期セシメタ所ノ事實ガアルノデアリマス、之ヲ政府ハ無イト言フナラバ、吾々ハ其通牒文マデ讀ミマス、決シテハ嘘デアナイ、斯ウ云フ文書ガ偽造出來ルモノデアナイト云フコトヲ私ハ明瞭ニスルノデアリマスガ、サウスフコトヲ致シテ居ル

(「讀ムベシト」呼フ者アリ)讀ムベシト言ハレルナラバ、讀ミマス(拍手)是ハ讀ミタクテ堪ラヌデ居ル所デアアルノデアリマス、是ハ私茲ニ演壇ニ持ッテ來ンダカラ、後ニ讀ミマス——「直機第八十二號、大正十三年十月十五日、東京稅務監督局長」——局長ノ名前ガアリマスガ、是ハ讀ミマセヌ——「永代橋稅務署長殿、第一種所得稅決定繰延方ノ件、大正十四年度豫算ノ都合上第一種所得稅收入見込額更改方本省ヨリ内示有之候ニ付テハ既定計畫ニ依ル本年度決定見込ノモノ、内左記ニ該當スル未決定ノモノハ其決定ヲ繰延ヘ翌年度ニ於テ決定セラレ候様致度尤モ其調査ハ豫定ノ通り進行スヘキハ勿論ノ儀ニ付併セテ了知相成度、右内牒候也、記、一、半期ノ見込稅額五萬圓以上ノモノ、内本年度四月以降終了シ、又ハ終了スヘキ事業年度分全部」是ガ此永代橋ノ稅務署内ニ幾人アツタカト云フト、其數ハ僅カ八人デアリマス、而シテ其八人ノ人ノ名モ此所ニアルカラ申シテモ宜イガ、是ハ私ハ名ヲ言ハナイ方宜イト思フ、最も多イ所ノ人僅ニ八人、八人ニ對シテ態稅務署ハ之ヲ翌年度ニ繰延ベテ居ル、其歲ニ取レバ宜イモノヲ取ラズニ、態内牒ニ依ッテ繰延ベテ居ル、其稅額ハ幾ラデアアルカト云ヘバ、實ニ九百四十二萬四千圓餘餘デアリマス(拍手)之ヲ少クトモ百八十日間猶豫シタモノト見テ、日歩一錢一厘ト見テ其利息ガ十八萬六千六百圓デアリマス(拍手)此十八萬六千六百圓ノ金ハ、六百圓ヤ七百圓ノ稅ヲ納メル者カラ見レバエライコトデアアル、假ニ八百圓ノ所得稅ヲ納メルモノトスルト、實ニ四百六十六百五十三人分ニ當ルノデアリマス(拍手)是ダケノ稅ヲ八人ノ人カラ延ベテ居ル、吾々之ヲ摘發シテ政府ヲ責メヤウトスル者デアアリマセヌ、サウスフ意味ニ於テ吾々ハ茲ニ持出シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フコトノ内情ヲ發イテ政府ヲ攻撃シヤウト云フ程私ハ小サイ考ハ持タナイ、唯、吾々國民ハドウデアアルカ、平常吾々ノヤウナ小サイ者ハ、非常ニ誅求ヲ受ケテ、一日遅レテモ督促令

狀ヲ向ケラレル、少シ遅レ、バ吾々ハ財產ヲ差押ヘラレナケレバナラヌ、吾々自身モ東京ノ稅務署ニ於テ隨分酷ク誅求ヲサレタコトモアル、決シテ吾々如キ小サイ者ニ對シテハ、一日デモ此納稅額ヲ猶豫致サナイ、然ルニ政府ハ豫算ノ都合デ今年ハ餘リ善ク這入ル、餘リ入レルト又豫算ヤセメデ都合ガ惡イカラシテ、來年度ノ方ハ繰延ベテ豫算ノ調和ヲ圖ラウ、此位自然增收ガ政府ニハ多イ、自然增收ガ餘リ多過ギテハ困ルト云フノデ、取りハ取りタシ、自然增收ヲ入レルノハ豫算上困ルト云フ手加減カラ、僅カ八人ノ人ニ斯ノ如キコトヲ行タト云フニ至ッテハ、其不公平驚クベキモノデアアル(拍手)斯ノ如キコトヲ爲シテ政府ニハ自然增收ガアル、斯ウ云フモノデアアルカラ、吾々日本ノ財政ハ、今ノ内閣トハ申シマセヌ、誰ガ内閣ヲヤッテモ財政ノ根本ノ根本的ニ立入ッテ虚心坦懷ニ眞ノ事實ヲ闡明シテ、此根本カラ改正ヲスルト云フコトヲ今日カラ吾々ハ考ヘナクチャナラヌ、是カラ行ケバ財源等ハソナニ諸君ガ御心配爲サレル、小理窟ヲ並ベル程ノモノデモナカラウト吾々ハ信ジテ居ルノデアリマス(ヒヤヒヤ)最後ニ私ハ小川君ガ頻ニ吾々ノ案ヲ御攻撃等ガアリ、御反對ガアツタカラ、一言小川君ニ酬ヒタイノデアアルガ、實ハ私意外ニ考ヘテ居ル、此頃私ハ食堂デモ小川君ニ御話ヲシタノデアアルガ、私ハ博士トシテ小川君ニ敬服致シ、小川君ノ近來御著述ニナツタ「租稅論」ト云フ此位厚イ本ヲ悉ク讀ンデシマッタノデアアル、サウスルト姉妹編トシテ「稅制整理論」ト云フ本ヲ近頃出サレタ、是モ讀ム必要ガアルト思ヒマシテ、是ハ極ク新シイ御著述デアアルカラ、此頃讀ンダ、成程「租稅論」ノ方ハ學者トシテノ學究的理論、理想ヲ御述ニナツタト見テモ宜シイノデアアルガ、稅制整理論ト云フ此位ノ大キイ本ハ、是ハ實際的ニ今ノ日本ノ稅制ヲ如何ニスレバ宜イカト云フ御意見ヲ書カレタ所ノ本デアアル、之ヲ見ルト何ゾ圖ラン、明瞭ニ地租委讓論ガ書イテアルノデアリマス(拍手)地租委讓ヲ爲スニ非ザレバ眞ニ地方

稅ノ整理ハ出來ナイ、此事ヲ明ニ書イテ居ラレル、併ナガラ是ガ暫定的ノモノデアアルト云フ意味デアアルナラバ、吾々ハ敢テ咎メナイ、小川君ノ御議論ガ暫定的デアアルト云フナラバ敢テ咎メナイガ、ソレナラバ吾々ガ地租委讓論ヲ唱ヘルニ對シテ、先刻ノ如キ御反對ハ少々間違テ居リハシナイカト思フ(拍手)之ヲ以テ私ノ演說ハ終リマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 砂田重政君ヨリ議事進行ニ關スル發議ノ御要求ガアリマス、此場合計シマス、砂田重政君

○砂田重政君 簡單デアリマスカラ此席カラ……

(「登壇」ト呼フ者アリ)

○副議長(小泉又次郎君) 許可致シマス

○砂田重政君 只今大口君ノ重大ナル問題ニ關スル御議論中ニ於キマシテ、憲政會ノ席ニ出掛ケテ參リマシテ、最も重要ナル議論ヲサレテ居ル際ニ當ッテ、鐵拳ヲ揮テ相爭ハレタト云フコトハ、此議場ニ居ル者ノ悉ク認メテ居ル所デゴザイマス(拍手)定メテ其高イ所ニ御坐リニナツテ居ル議長モ、此事實ヲ御認メニナラヌト云フコトハ言ハレマス、而モ此重大ナル議論ガサレテ居ル際ニ、與黨ノ兩君ガ議場ノ眞中ニ於テ騒グト云フコトハ、恰モ野黨ノ演說ヲ妨害スル如クニ見エルノデアリマス(拍手)ソレニ對シテ議長ハ如何ナル處置ヲ御執ニナルノデアリマスルカ、此議場ニ於ケル重大ナル問題ヲ論議スルニ當ッテ、吾々ノ同志ハ是カラ多數ニ論議ヲシナケレバナラヌデアリマス、其時ニ當ッテ斯ノ如キ事ヲ知ラザル眞似ヲシテ打捨テルガ如キ議長ノ下ニ於テ、議事ノ進行ヲ計ルコトハ出來ナイト思フノデアリマス、宜シク議長ノ之ニ對スル明快ナル御答辯ヲ得タイト思ヒマス

○副議長(小泉又次郎君) 砂田君ニ御答ヲ致シマス、只今大口君ノ御登壇御發議中ニ於キマシテ、憲政會ノ議席ニ於テ何カ混雜ヲ生ジタコトハ事實デアリマス、併シ私ハ今砂田君ノ申サレマシタル鐵拳ヲ擲タト

云フコトハ、事實ニ於テ私ハソレヲ目撃致
サナイノデアリマス」(見テ居ルノヲウウ)

「馬鹿ナコトヲ言フナ」ト呼ヒ其他發言スル
者多シ) 暫ク御静肅ニ願ヒマス——暫ク御
静肅ニ願ヒマス——但シ只今砂田君ノ申サ
レマシタル如キ事實アリト致シマスレバ、
議長ニ於テ篤ト調査致シタル後ニ於テ、適
當ナル處置ヲ執ルコトニ致シマス、但シ大
口君ノ御發議中デアリマシタカラ、其時直
ニ取調ベタイト云フ考ハ持テ居リマシタ
ケレドモ、大切ナル御發議中デアリマシタ
カラ、大口君ノ御議論ノ濟ンダ後ニ於テ其
事實ヲ調査シタイト云フ、其考ハ議長ハ
持テ居リタノデアリマス、此故ニ能ク調査
ヲ致シマシテ、適當ナル措置ヲ執ル積リデ
アリマス——田崎信藏君ヨリ議事進行ニ
關シテ發議ノ通告ガアリマス、許可致シマ
ス、田崎信藏君

〔田崎信藏君登壇〕
○田崎信藏君 私共ハ本期議會ニ於テ最も
重大ナル稅制案ノ上程サレタ本日、午後七時
三十五分ニ於テモ食事ノ時間モ致サズニ、
此重大ナル案ニ對シテ傾聴致シテ居ルノデ
アリマス、然ルニ成程大口君ノ發言中、憲政
會ノ席ニ於テ多小吾々ノ見ルニ堪ヘザル行
動ガアリマシタケレドモ、又之ニ對シテ政
友會ノ諸君ノ發言スルコト、恰モ暴ヲ以テ暴
ニ報ユルガ如キ言語道斷ナル言辭ヲ弄スル
ニ至レハ、是亦演說ヲ自ラ妨害スルモノ
デアリマス、若シ議場ノ神聖ヲ保持ントス
ルナラバ、人ヲ咎メルヨリ、自ラヲ咎メ
テ、自ラ省ミテ、サウシテ靜肅ニセラレン
コトヲ此場合ニ於テ——私共ハ——過日私
ニ對シテ政友會ノ而モ總務ノ望月圭介君、
武藤金吉君ニ至レテ、其議席ニ於テノ動作言
語ハ、實ニ言語ニ絶シテ居ルノデアリマス、
故ニ斯様ナコトヲ自ラ省ミルナラバ、敢テ
政友會ノ主張ニモ私共ハ耳ヲ藉スコトガ出
來ナイノデアリマス、願クバ、私ハ議事ノ
進行ニ付テ、本タハ此位ノ程度ニ於テ此論
議ヲ打切ラレンコトヲ希望シマス

〔贊成「ト呼フ者アリ」〕
○作間耕逸君 本員モ只今田崎君ニ依ッテ
議場騷然(贊成)本日ハ此程度ニ……
〔議場騷然(贊成)ト呼フ者アリ〕
○副議長(小泉又次郎君) 只今作間君ヨリ
御發議ガアリマシタガ、議場騷然ノ爲メ議
長ハ聽クコトガ出來ナカッタノデアリマ
ス、モウ一回ノ御發議ヲ請ヒマス——作間
耕逸君

〔作間耕逸君登壇〕
○作間耕逸君 本員モ只今ノ田崎君ノ動議
ノ趣旨ニ賛成ヲ致シマス、即チ……(動議
デナイ)ト呼フ者アリ(動議ト後ニ言ハレマ
シタ)(動議デナイ)ト呼フ者アリ(若シ……
(動議デナイ)ト呼フ者アリ(宜シイ、田崎
君ノ……)(動議デナイ)ト呼フ者アリ(御聽
ナサイ、若シ田崎君ノ發言ガ動議デナイト
云フコトデアリマスナラバ、本員カラ改
メテ動議ヲ提出致シマス、即チ稅制各案ノ
審議ハ、本日ハ此程度ニ止メテ、明日ハ定
刻ヨリ特ニ本會議ヲ開イテ、其審議ヲ繼續
セラレンコトヲ望ムノデアリマス

〔贊成「ト呼フ者アリ」〕
○副議長(小泉又次郎君) 只今作間耕逸君
ヨリ本日ハ此程度デ止メ、明日ハ日曜ニモ
拘ラズ、定刻ヨリ會議ヲ開イテ審議ヲ進メ
ラレンコトヲ望ムト云フ動議ガ出マシタ、
此場合採決ヲ致シマス、作間君ノ動議ニ贊
成ノ御方ノ起立ヲ求メマス

贊成者 起立
〔多數「ト呼フ者アリ」〕
○副議長(小泉又次郎君) 作間君ノ動議ノ
起立ハ多數ト認メマス、仍テ作間君ノ動議
ノ如ク決シマシタ

〔異議アリ「ト呼フ者アリ」〕
○副議長(小泉又次郎君) 成規ノ異議ガア
リマスルカラ投票ヲ行ヒマス、投票ハ記名
投票ヲ以テ行ヒマス、作間君ノ動議ニ贊成
ノ方ハ白票、反對ノ諸君ハ青票ヲ御持參ヲ
願ヒマス——閉鎖——是ヨリ氏名點呼ヲ行
ヒマス

〔書記官氏名ヲ點呼ス〕
○副議長(小泉又次郎君) 投票漏ハアリマ
セヌカ
〔アリマス「ト呼フ者アリ」〕

○副議長(小泉又次郎君) 投票漏ハアリマ
スカ
〔アッタラドウスル「ト呼フ者アリ」〕

○副議長(小泉又次郎君) 投票漏ハナイト
認メマス——投票閉鎖——開匣——開鎖
〔書記官投票ノ數ヲ計算ス〕
○副議長(小泉又次郎君) 投票ノ結果ヲ書
記官長ヨリ報告セシメマス

〔田口書記官長代理朗讀〕
投票總數二百八十三
可トスル者 白票百七十九
否トスル者 青票百四
○副議長(小泉又次郎君) 仍テ作間君ノ動
議ノ如ク決シマシタ
〔參照〕
作間君提出ノ動議ヲ可トスル議員ノ氏名
左ノ如シ

石塚 三郎君 石黒大次郎君
一柳伸次郎君 原 脩次郎君
服部 英明君 土生 彰君
早速 整爾君 濱口 雄幸君
西 英太郎君 戸井 嘉作君
戸田 由美君 戸澤氏十郎君
富田幸次郎君 大津淳一郎君
大島 要三君 大里廣次郎君
小野 重行君 岡本實太郎君
奥村 千藏君 片岡 直温君
川崎 克君 神谷 彌平君
神田 正雄君 神部 爲藏君
加藤 鋼一君 加藤 六藏君
加藤十四郎君 河野 曉君
河波荒次郎君 金田平兵衛君
横山 一格君 横山金太郎君
吉原 義雄君 吉田 磯吉君
高木 正年君 高田 松平君
武内 作平君 武富 濟君
田中 善立君 建部 遷吾君
谷口宇右衛門君 谷口源十郎君
中原徳太郎君 中野 正剛君
中野猪之助君 中野 實君
永井柳太郎君 村上 國吉君
村上紋四郎君 村松龜一郎君
紫安折九郎君 室木彌次郎君

内々崎作三郎君 野村 嘉六君
黒田重兵衛君 工藤 鐵男君
栗延敬太郎君 八並 武治君
山宮 藤吉君 山田 又司君
山田 助作君 山田 道兄君
山口 嘉七君 山根 儀重君
松井 郡治君 深井 功君
降旗元太郎君 藤井 敬慎君
福田 五郎君 小島 證作君
小寺 謙吉君 小池 仁郎君
近藤重三郎君 紺野九右衛門君
寺島 權藏君 手代木隆吉君
淺賀長兵衛君 青木知四郎君
蟻川五郎作君 荒井 建三君
荒川 五郎君 安達 謙藏君
作間 耕逸君 佐竹 庄七君
佐藤球三郎君 齋藤 隆夫君
齋藤仁太郎君 齋藤 金吾君
柵瀬軍之佐君 澤田 利吉君
木村小左衛門君 由谷 義治君
三木 次吉君 三橋四郎次君
宮崎松次郎君 箕浦 勝人君
斯波 貞吉君 清水留三郎君
信太儀右衛門君 鹽田 團平君
下元鹿之助君 廣瀬 徳藏君
平沼 亮三君 平野 光雄君
平井光三郎君 比佐 昌平君
森田 茂君 關矢 孫一君
關 俊吉君 鈴置倉次郎君
鈴木富士彌君 杉浦 武雄君
菅原 英伍君 菅村 太事君
原田 十衛君 星 康平君
富田應之助君 東郷 實君
大城幸之一君 奥野小四郎君
神村 吉郎君 高見 之通君
高木第四郎君 丹下茂十郎君
中林 友信君 中村啓次郎君
中村 嘉壽君 中山 貞雄君
長峰 與一君 植場 平君
上原 好雄君 浦野 謙朗君
則元 由庸君 野村治三郎君
熊谷五右衛門君 藏園三四郎君
栗林 五朔君 山谷徳治郎君

作問君提出ノ動議ヲ否スル議員ノ氏名
左ノ如シ

前田房之助君	松田源治君	小橋一太君	寺田市正君	宣保成晴君	志波安一郎君	清水市太郎君	森肇君	石川長右衛門君	馬場義興君	岡田溫君	堤清六君	永田新之允君	山口政二君	松山兼三郎君	佐々木平次郎君	清瀬一郎君	關直彦君	古林喜代太君	太宰孫九君	菊地謙二郎君
牧山耕藏君	福井甚三君	兒玉實良君	櫻内幸雄君	宮島幹之助君	志村清右衛門君	平田民之助君	元田肇君	坂東幸太郎君	富永孝太郎君	田崎信藏君	土屋清三郎君	野原種次郎君	増田義一君	小屋光雄君	佐藤潤象君	湯淺凡平君	小林彌七君	堀田義次郎君	高島兵吉君	
磯部尚君	板野友造君	今里準太郎君	石坂豐一君	飯村五郎君	井上虎治君	濱田國松君	鳩山一郎君	西澤定吉君	西村丹治郎君	星島二郎君	大口喜六君	小野義一君	岡田伊太郎君	若尾璋八君	渡邊伍君	兼松寅太郎君	河上哲太君	吉津度君	田中定吉君	
磯部保次君	岩崎勳君	石井三郎君	石原正太郎君	井上敬之助君	泰豐助君	濱田精藏君	原惣兵衛君	西方利馬君	本田義成君	土井權大君	小川平吉君	岡崎邦輔君	若尾幾太郎君	若宮貞夫君	加藤久米四郎君	笠原忠造君	川口義久君	竹原模一君	高井商二君	

高木音藏君	高草美代藏君	中村巍君	武藤金吉君	浦山助太郎君	來栖七郎君	黑住成章君	工藤十三雄君	山口義一君	山下谷次君	山崎達之輔君	松岡俊三君	牧野良三君	藤川清助君	木暮武太夫君	神崎勳君	青木精一君	青柳郁次郎君	秋田清君	有馬賴寧君	榊原經武君	佐々木長治君	坂梨哲君	宮本逸三君	志賀和多利君	島本信二君	平山爲之助君	森恪君	瀨沼伊兵衛君	鈴木隆君	隅田豐吉君	柏田忠一君
高橋熊次郎君	中島守利君	中村清造君	内田信也君	野田卯太郎君	熊谷直太君	倉元要一君	山本芳治君	山口恒太郎君	山内範造君	松本眞平君	松實喜代太君	藤田包助君	二木洵君	兒玉右二君	近藤達兒君	青山憲三君	秋田寅之介君	赤間嘉之吉君	東武君	佐々木文一君	坂井大輔君	木戸豐吉君	三土忠造君	嶋居哲君	廣瀬爲久君	森龜君	望月圭介君	砂田重政君	菅原傳君	杉宜陳君	猪野毛利榮君

○副議長(小泉又次郎君) 次會ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後八時二分散會

衆議院議事速記第十八號中正誤

頁	段	行	誤
四五三	三	一二	十斤
四五四	二	六	愈
			猶豫
			千斤
			正